

XL シリーズ

ハードウェアガイド

ページプリンタ XL-4405

製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」(→ P.10)をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

紙幣、有価証券などの印刷禁止について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に関わらず、法律に違反し、罰せられます。

関係法律

- ・ 刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
- ・ 通貨及証券模造取締表 第 1 条、第 2 条等

必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所、通気性の悪い場所、直射日光のあたる場所、振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所、温泉地など硫黄の影響を受ける場所に設置しないでください。プリンタ本体の故障だけでなく、火災、故障、感電などの原因になることがあります。

表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品は、日本工業規格 (JIS C 6950) の漏えい電流基準に適合しております。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

本製品の粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の拡散については、エコマーク No.155「複写機・プリンタなどの画像機器 Version 1.2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。

トナーは本製品にて推奨しておりますトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用し、印刷を行った場合について、試験方法: Blue Angel RAL UZ-171:2012 の付録 S-M に基づき試験を実施しております。

推奨トナーカートリッジやドラムカートリッジについては、「サプライン一覧」(→ P.174)をご覧ください。

梱包物の確認とプリンタの設置は済んでいますか

添付されている梱包物の確認や、プリンタの設置、および動作確認が済んでいない場合は、添付の『設置ガイド』をご覧ください。

第 1 章 お使いになる前に

本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1

第 2 章 プリンタを設置・接続する

本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

2

第 3 章 オプションを取り付ける

本製品のオプションである拡張給紙ユニットの取り付け方法を説明します。

3

第 4 章 日常の操作

本製品を使って印刷するときに必要な、用紙のセット、トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換、プリンタ本体の清掃など、日常的な操作について説明します。

4

第 5 章 オペレータパネルの操作

液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

5

第 6 章 使用できる用紙と保管方法

本製品で使用できる用紙、使用できない用紙、用紙保管上のご注意について説明します。

6

第 7 章 こんなときには

故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

7

第 8 章 付録

本製品を使用するときに補助的に必要となることについて説明します。

8

目次

このマニュアル以外の情報は添付 CD-ROM 内のマニュアルをご覧ください . . .	5
製品に関する注意事項	5
このマニュアルの表記について	7
搭載ソフトウェアの IPv6 対応について	9
安全上のご注意	10
第 1 章 お使いになる前に	
1 本製品の特長	18
2 各部の名称と機能	21
第 2 章 プリンタを設置・接続する	
1 設置時の注意事項	26
本製品のサイズ	26
設置～動作確認までの注意事項	27
電源の入れ方／切り方	30
2 パソコンやネットワークに接続する	32
LAN ケーブル接続の場合	32
プリンタ USB ケーブル接続の場合	35
第 3 章 オプションを取り付ける	
1 取り付け可能なオプションとご注意	38
取り付け可能なオプション	38
取り付け時のご注意	39
2 拡張給紙ユニットの取り付け	40
取り付け	40
取り外し	43
第 4 章 日常の操作	
1 用紙をセットする	46
用紙をセットする向きについて	46
給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする	47
A4SEF 以上の大きい用紙をセットするとき	50
給紙トレイに用紙をセットする	51
はがきをセットする	54
封筒をセットする	55
2 印刷する	57
3 印刷を中止する	59
4 トナーカートリッジとドラムカートリッジの交換と注意事項	60
トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する	60
トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り扱いと保管	68
5 プリンタを清掃する	70
給紙ローラ／分離ローラを清掃する	70
給紙トレイの給紙ローラを清掃する	72
LED ヘッドを清掃する	75
電源プラグについて	76
6 プリンタを長時間使用しないとき	77
7 プリンタを移動するとき	78
近くに移動する	78
梱包して運搬する	80

第5章 オペレータパネルの操作

1 各部の名称と機能	84
2 液晶ディスプレイの表示内容	86
電源を入れたときの表示内容	86
液晶ディスプレイに表示される主な表示内容	86
省電力モード	88
3 操作方法	89
基本的な操作方法	89
設定項目一覧	91
4 代表的な設定項目とその操作方法	107
設定内容の印刷	107
テスト印刷（印字率約5% サンプル）	108
IPアドレスの設定	109
セキュリティに関する設定	112

第6章 使用できる用紙と保管方法

1 使用できる用紙	116
給紙方法と用紙のサイズ	116
使用できる用紙の種類	118
2 使用できない用紙	122
3 用紙保管上のご注意	124

第7章 こんなときには

1 紙詰まりになったとき	126
紙詰まり発生時の状態と発生場所	126
372：カミヅマリ リョウメンが発生したとき	128
380：カミヅマリ キュウシブ／381：カミヅマリ ハンソウブが発生したとき	133
382：カミヅマリ ハイシブが発生したとき	136
390：ピックミス キュウシトレイが発生したとき	140
391：ピックミス カセット1／392：ピックミス カセット2が発生したとき	141
2 故障かなと思ったとき	143
3 印刷品質が低下したとき	147
4 メッセージ一覧	153
オペレータパネルに表示されるメッセージ	153
「FUJITSU Printer Internet Service」で表示されるメッセージ一覧	158

第8章 付録

1 仕様	164
本体仕様	164
インターフェース仕様	170
2 オプション品一覧	171
3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24時間運用について	172
4 サプライ品一覧	174
5 用紙の印刷方向と印刷可能領域について	175
印刷方向	175
印刷可能領域	176
6 TEXTモードに関する情報	178
TEXTモード使用時の留意事項	178
TEXTモードのコマンド一覧	178
TEXTモードの初期状態	181
TEXTモードのキャラクタコード一覧表	183

7	漢字一覧	185
	JIS-90 第一水準漢字一覧表	185
	JIS-90 第二水準漢字一覧表	188
8	アフターサービスについて	191
	本製品の廃棄について	192
	本マニュアルで紹介している URL について	192
9	安全データシート	193
	LB112 シリーズ ドラムカートリッジ (感光体)	193
	LB112 シリーズ トナー (ブラック) (トナー・現像剤)	197

このマニュアル以外の情報は添付 CD-ROM 内のマニュアルをご覧ください

プリンタドライバのインストール方法など、このマニュアル以外の情報については、添付の④「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」内にあるその他のマニュアルをご覧ください。添付の④「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると「FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ」画面が表示されます。ご覧になりたいマニュアル名をクリックすると、マニュアルが表示されます。



製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳しくは、本文をよくお読みになったうえで本製品を正しくお使いください。

製品寿命（耐用期間）について

本製品の耐用期間（寿命）は、次のいずれか早いほうです。

- ・ 40 万ページ印刷（A4 サイズ縦送り（SEF））
「SEF」については、「用紙をセットする向きについて」（→ P.46）をご覧ください。
- ・ 5 年（8 時間 / 日）

詳しくは、「本体仕様」（→ P.164）をご覧ください。

重要

- ・ 耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- ・ 用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ本体の電源オン、オフ頻度や通電時間などにより耐用期間までの印刷枚数が減少します。

サプライ品（消耗品）について

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、用紙などは、本製品専用の純正サプライ品のご使用をお奨めします。

富士通プリンタは、純正のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。

非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。

なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。

非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

詳しくは、「サプライ品一覧」(→P.174)をご覧ください。

サポート OS について

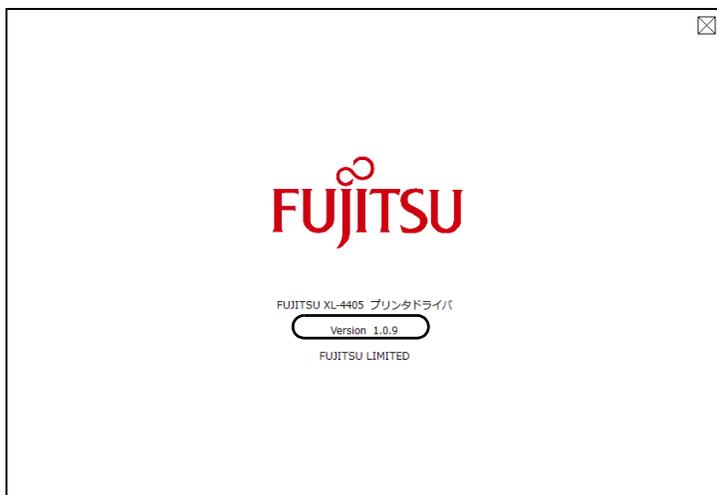
本製品がサポートしている OS は、Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 です。

最新のサポート OS については、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) で確認ください。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本製品に関するお問い合わせをするとき、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンをお聞きする場合があります。

プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。



プリンタドライバのバージョンを確認する方法については、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

冷却ファンについて

冷却ファンは、機内冷却のため回転したままになることがあります。冷却ファン回転中は、電源を切ったり、電源プラグを引き抜いたりしないでください。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

記号	内容
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号	内容
	△ で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	● で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて

- ・ このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- ・ ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- ・ このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例： → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックします。

↓

 (スタート) をクリックし、「すべてのアプリ」をクリックし、「Windows ツール」をクリックする操作を表しています。

「スタート」メニューの「すべてのアプリ」について（Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合）

 をクリックしてアプリの一覧が表示されていない場合は、「すべてのアプリ」をクリックし、アプリの一覧を表示させてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	内容
 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	CD-ROM を表しています。

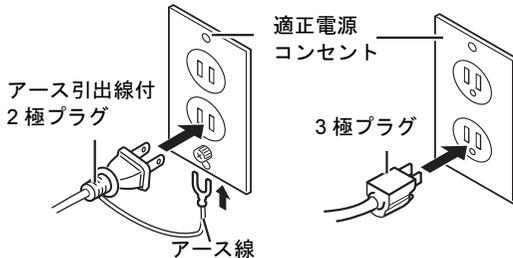
製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows 11 Home	Windows 11	Windows
Windows 11 Pro		
Windows 11 Pro for Workstations		
Windows 11 Enterprise		
Windows 11 Education		
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard	Windows Server 2022	
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019	
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials		

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows 10 Home	Windows 10	Windows
Windows 10 Pro		
Windows 10 Pro for Workstations		
Windows 10 Enterprise		
Windows 10 Education		
Windows 10 Enterprise LTSC 2021		
Windows 10 Enterprise LTSC 2019		
Windows 10 Enterprise LTSC 2016		
Windows 10 Enterprise LTSC 2015		
Windows 8.1	Windows 8.1	
Windows 8.1		
Windows 8.1		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation		
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter	Windows Server 2012 (R2 以外)	
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard		
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials		
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation		

電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源コードの電源プラグは「アース引出線付 2 極プラグ」と「3 極プラグ」の 2 種類です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。コンセントの形状にあわせてご使用ください。

URL / お問い合わせ先について

本文中に記載されている URL、お問い合わせ先は 2025 年 4 月現在のものです。変更されている場合は、「お問い合わせ窓口」(→ P.191) をご覧になり、お問い合わせください。

搭載ソフトウェアの IPv6 対応について



本製品は、IPv6 Ready Logo Phase-2 テストに合格しています。

安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

⚠ 警告

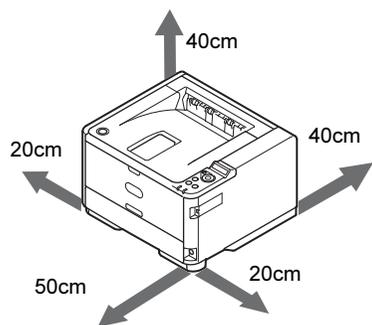


- ・ 次の場所には設置しないでください。感電・火災の原因になります。
火気のある場所
ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、高温になる場所
アルコール、シンナー、ガソリンなどの揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすい物に近い場所
ふる場、シャワー室などの水場、水気のある場所
湿気、ほこり、油煙の多い場所
通気性の悪い場所
直射日光の当たる場所
振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
温泉地など、硫黄の影響を受ける場所
- ・ プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。
花瓶、植木鉢、コップなどの水や液体の入った容器
クリップ、アクセサリなどの金属物

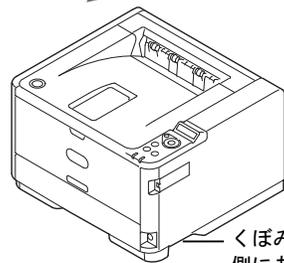
⚠ 注意



- ・ プリンタの吸気口、および排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、右図の設置スペースを確保してください。



- ・ 本製品は、オプションや消耗品、用紙がない状態で約12kgあります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、左右にあるくぼみをしっかりと持ち、ゆっくりと持ち上げてください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
- ・ また、移動するときは足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。
- ・ プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
本製品は本体のみで約12kg、最大で約17kg（フルオプション、消耗品含む）の重さがあります。



くぼみ（左右両側にあります）



- ・プリンタの上に物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因になることがあります。
- ・プリンタを移動する場合は、水平に移動してください。
転倒などによりけがの原因になることがあります。

- ・本製品を設置する場所付近に、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む空間除菌薬の設置はお控えください。また、本製品や設置するエリアを消毒する場合には、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む消毒薬は使用しないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。



- ・プリンタを移動する場合は、接続ケーブルを抜いた後に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。作業中は、足元に充分注意してください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になったり、本製品が倒れたりしてけがの原因になることがあります。

電源に関するご注意

警告



- ・添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

- ・電源プラグは、交流 100V、15A 以上のコンセントに差し込んでください。本製品の定格電源は 100V、7A です。また、タコ足配線はしないでください。
火災や感電の原因になります。

- ・電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
火災や感電の原因になります。

- ・延長コードは、定格 (125V、15A) 未満の物は使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

- ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

- ・UPS など矩形波が出力される機器に接続しないでください。
火災の原因になります。



- ・電源プラグおよびその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると火災の原因になります。

- ・電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
ほこりが付いたりして、火災や故障の原因になります。



- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



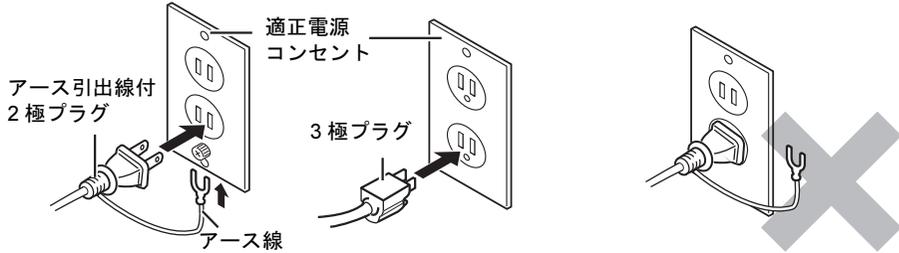
- ・次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。
ガス管 (引火や爆発の危険があります。)

- 電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。)

- 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。)



- ・電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。
電源コンセントのアース線端子
銅片などを650 mm以上地中に埋めたもの
D種（旧：第3種）接地工事を行っている接地端子
- ・アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「お問い合わせ窓口」（→P.191）にご連絡ください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。



- ・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、接続ケーブルを抜き、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因になります。
- ・近くで落雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。
入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

⚠️ 注意



- ・プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。電源が入っている場合は、電源スイッチを押し、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯し、電源が切れていることを確認してください。
電源スイッチを押しても電源をオフにできないときは、5秒以上電源スイッチを長押しして電源をオフにしてください。
プラグが変形し、火災の原因になることがあります。



- ・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。
- ・1ヶ月に一度は、次のようなことを点検してください。
電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
電源プラグに異常な発熱およびさび、変形などはありませんか？
電源プラグやコンセントにほこりが付いていませんか？
電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか？
アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？
なお異常があるときは、「お問い合わせ窓口」（→P.191）にご連絡ください。



- ・長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのままにしておくと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。
- ・プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

警告



- ・プリンタに水をかけたり、ぬらしたりしないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・吸気口や排気口などの開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。
火災や感電の原因になります。
- ・プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。
- ・清掃するときに、塩化ベンザルコニウムを含む消毒薬を使用しないでください。また、製品を取り扱う前の手指消毒は、エタノール系の消毒薬を用いるものとし、塩化ベンザルコニウム成分を含む消毒薬は使用しないでください。手指消毒の後は、手指を充分に乾かしてください。消毒薬が手指に付着した状態では製品に触らないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。



- ・次のようなときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき
異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき
プリンタを落としたり、カバーなどを破損したりしたとき
その後「お問い合わせ窓口」（→ P.191）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- ・プリンタ、オプション品、サプライ品（トナーカートリッジやドラムカートリッジなど）を分解したり改造したりしないでください。このマニュアルで指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になります。また、LEDの光もれにより、失明のおそれがあります。



- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを火中に投じないでください。
トナー粉が跳ねてやけどや粉じん爆発の原因になります。使用済みのトナーカートリッジやドラムカートリッジを処分するときは、使用済みカートリッジの無償回収サービスをご利用ください。詳しくは、「使用済みカートリッジの無償回収サービス」（→ P.191）をご覧ください。

注意



- ・「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）や「高温注意」をうながすラベルの矢印が指す箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。



- ・詰まった用紙を取り除くときは次の点に注意してください。
このマニュアル内の「紙詰まりになったとき」（→ P.126）をよくお読みください。
ネクタイやネックレスなどを身につけている場合は、プリンタ内部に巻き込まれないように、外してから操作してください。また、髪の毛が巻き込まれないよう、注意してください。
鋭利部に触れないよう注意してください。
プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、火災などの原因になることがあります。
定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないでただちに電源を切り、「お問い合わせ窓口」（→ P.191）にご連絡ください。



- ・使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- ・プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因になることがあります。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
- ・換気の悪い部屋で長時間ご使用になる場合や、大量印刷する場合は、十分な換気を行ってください。



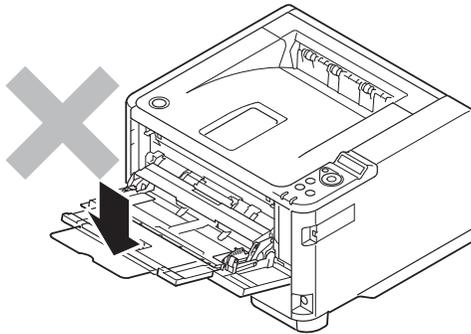
- ・用紙排出部のローラが作動しているときは作動部には触れないでください。指をはさみ、けがをする原因になることがあります。



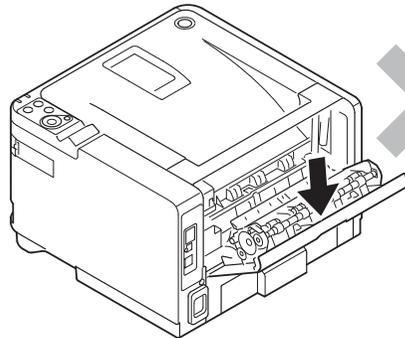
- ・トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



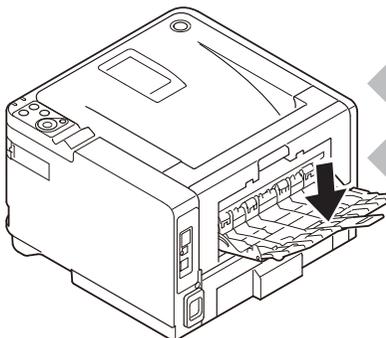
- ・開いた状態の給紙トレイやフェイスアップスタッカ、リアカバーに必要以上の力をかけたり、物を載せたりしないでください。スタッカやカバーの破損の原因になります。また、スタッカやカバーが破損した場合、落下によるけがの原因となるおそれがあります。



(給紙トレイ)



(リアカバー)

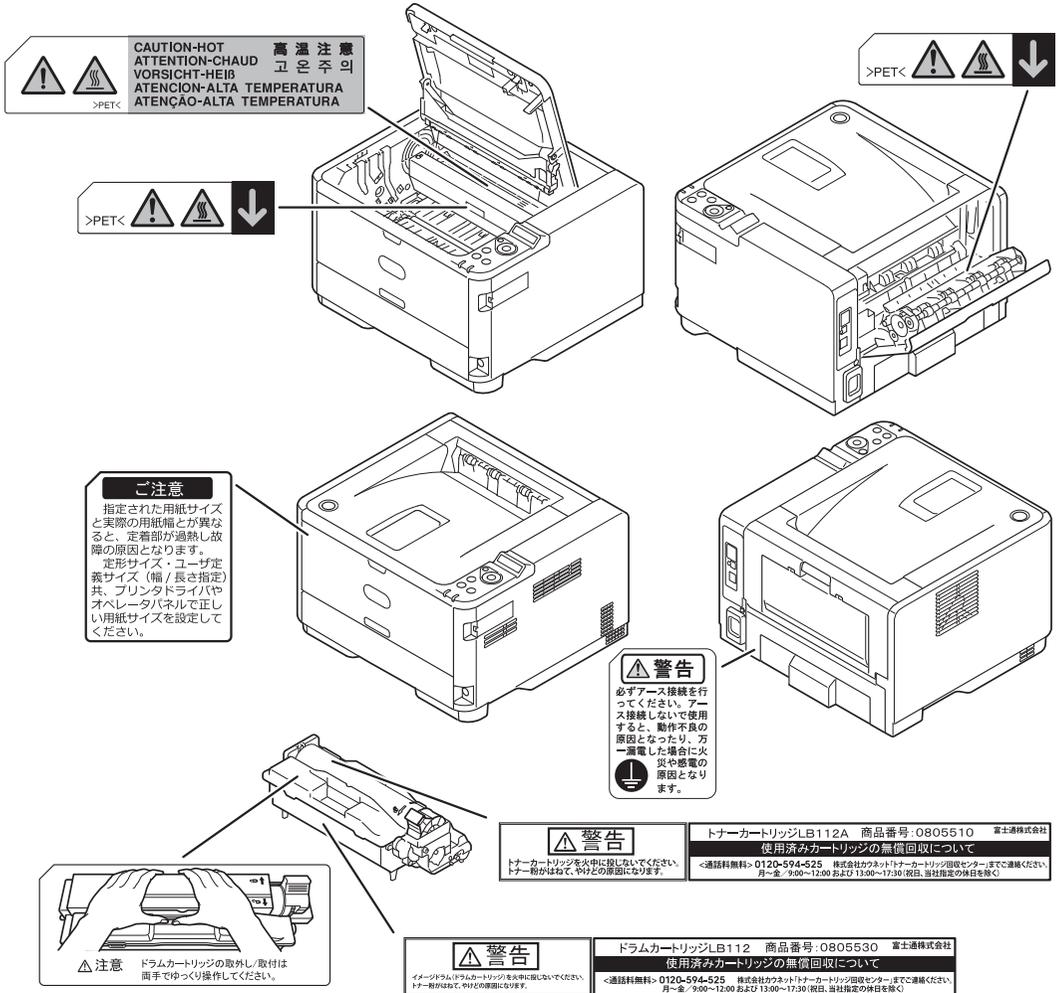


(フェイスアップスタッカ)

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。

なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。



商標および著作権について

ウイングアーク 1st、SVF、Report Director Enterprise は、ウイングアーク 1st 株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

ESC/P、ESC/Page は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2019-2025

1

第 1 章

お使いになる前に

この章では、本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1 本製品の特長	18
2 各部の名称と機能	21

1 本製品の特長

本製品の特長は次のとおりです。

■省エネの実現

スリープモードの採用により、待機時消費電力は約 1.4W です。

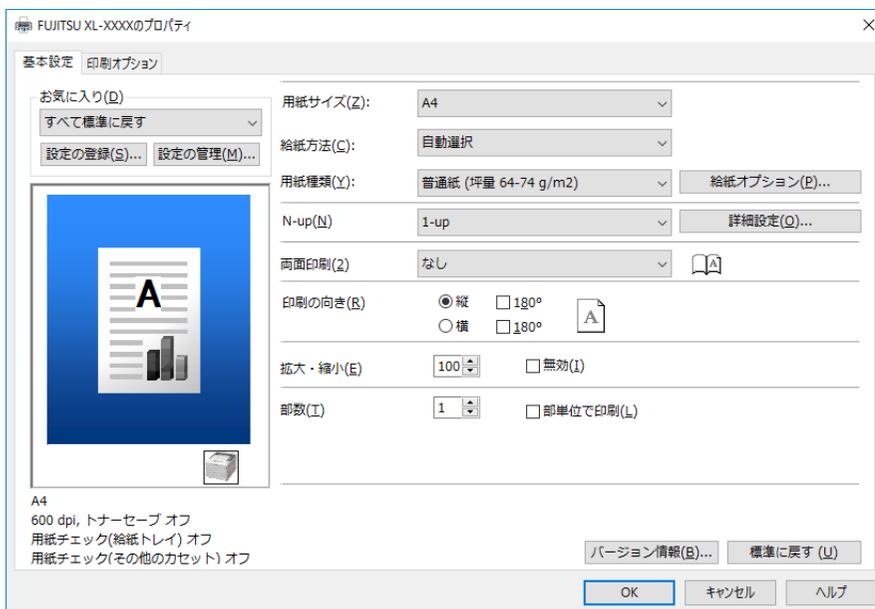
■高速で高品位な印刷

最大 40 ページ / 分の高速での印刷が可能です。また、1200dpi の高解像度で印刷できます。1200dpi でも同じ速度で印刷できます。

■2つのポートに対応

USB2.0、LAN（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応）の 2 つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

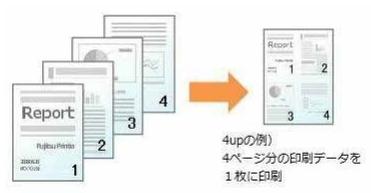
■高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア



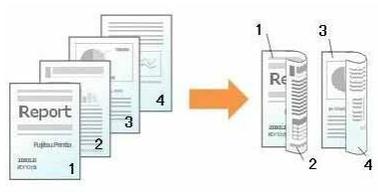
・お気に入り

よく使うドライバの設定を「お気に入り」として登録できます。
登録した設定は 1 クリックで呼び出すことができます。

- ・ N-up
印刷データを 1 枚に印刷できます。



- ・ 両面印刷



- ・ 拡大・縮小
印刷する用紙サイズに合わせてデータを拡大または縮小して印刷します。
- ・ 部単位で印刷
2 部以上印刷をするときに部単位で印刷します。



- ・ スタンプ印刷



■ **さまざまな用紙サイズに対応**

- ・ 給紙トレイ（標準）を使用することで、簡単に用紙サイズを変更できます。

- ・ 定形では、最大リーガルサイズ用の紙への印刷が可能です。また、はがき、往復はがき、封筒、ユーザ定義サイズ（長尺紙を含む）、厚紙（給紙カセットは 90g/㎡～120g/㎡、給紙トレイは 90g/㎡～163g/㎡）といった、さまざまな種類の紙への印刷することも可能です。

■ 便利な機能

給紙カセットからのユーザ定義サイズ（長尺紙除く）の紙への印刷が可能です。

■ 優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。

- ・ 給紙カセット（標準1段+オプションの拡張給紙ユニット）を取り付けることができ、給紙トレイを合わせると最大 900 枚の紙をセットすることができます。

■ 次世代通信プロトコル IPv6 に対応

本製品に割り当てられた IPv6 アドレスや、設定したホスト名を用いることによって、対応アプリケーションから IPv6 通信で印刷できます。詳しくは、「IPv6 アドレスの場合」（→ P.111）をご覧ください。

■ セキュリティ機能の充実

ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザーがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなど、セキュリティ面でも優れた機能をもっています。

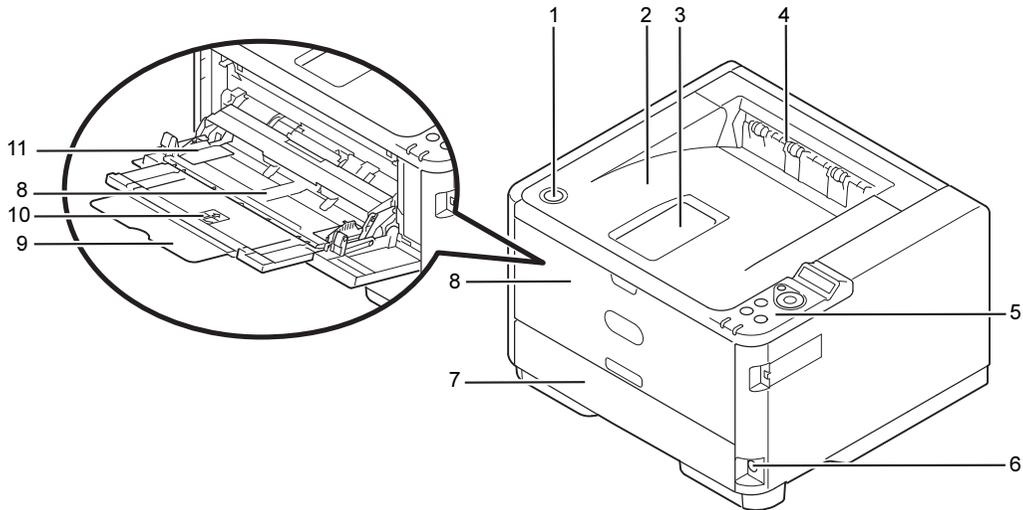
■ E メール送信機能

消耗品の交換要求やハードエラーが発生したときに、設定した E メールアドレスに、E メールを送信してお知らせします。Eメールの送信先は5つまで設定できます。

2 各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能は、次のとおりです。

前面



1 トップカバーオープンボタン

フェイスダウスタッカ（トップカバー）を開くときに押します。

2 フェイスダウスタッカ（トップカバー）

排紙口から排出された用紙が、表面を下にして重なります。

3 排紙延長トレイ

フェイスダウスタッカ（トップカバー）から印刷された用紙が落下しないように開きます。

4 排紙口

印刷された用紙が表面を下にして排出されます。

5 オペレータパネル

操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。詳しくは、「オペレータパネルの操作」（→ P.83）をご覧ください。

表示されるメッセージは、「メッセージ一覧」（→ P.153）をご覧ください。

6 電源スイッチ

電源を入れるときまたは切るときにこのスイッチを押します。約 1 秒押します。

7 給紙カセット（カセット 1）

用紙をセットします。普通紙で最大 250 枚までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙の種類については、「使用できる用紙」（→ P.116）をご覧ください。

8 給紙トレイ

用紙をセットします。普通紙で最大 100 枚までセットできます。

使用できる用紙サイズや用紙の種類については、「使用できる用紙」（→ P.116）をご覧ください。

9 給紙トレイ延長補助ガイド

長い用紙をセットするときに、必要に応じて開きます。

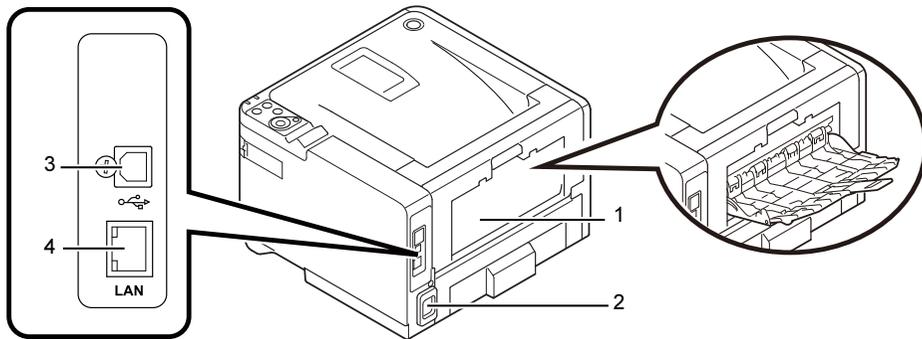
10 給紙トレイ延長ガイド

長い用紙をセットするときに引き出します。

11 用紙ガイド

給紙トレイに用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

背面



1 フェイスアップスタッカ

印刷された用紙の表面を上にして排出するときに開きます。

2 電源コードコネクタ

電源コードを差し込むコネクタです。

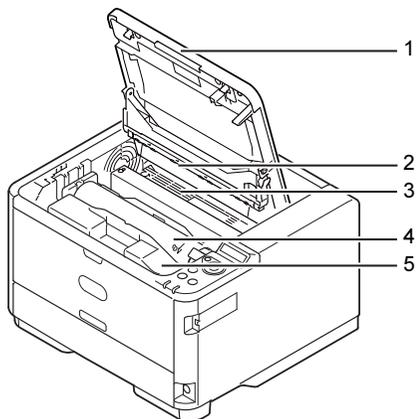
3 プリンタ USB ケーブルコネクタ

プリンタとパソコンを USB ケーブルで接続するためのコネクタです。

4 LAN ケーブルコネクタ

プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。

内部（前面）



1 トップカバー（フェイスダウスタッカ）

トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときや、詰まった用紙を取り除くときにトップカバーオープンボタンを押して開きます。

2 LED ヘッド

印刷するイメージを感光ドラムに書き込む機構です。

3 定着器

用紙にトナーを定着させる機構です。プリンタの使用時、使用直後は高温になっているので、手を触れないように注意してください。

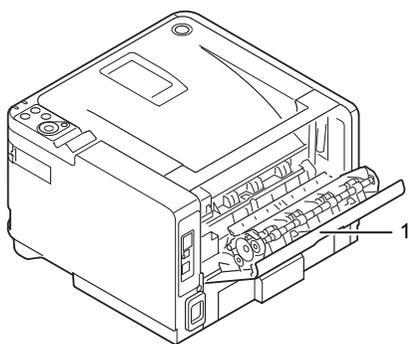
4 トナーカートリッジ

印刷に必要なトナーが入っています。

5 ドラムカートリッジ

感光ドラムに書き込まれたイメージにトナーを付着させ、用紙に転写する機構です。

内部（背面）



1 リアカバー

詰まった用紙を取り除くときに開きます。

2

第 2 章

プリンタを設置・接続する

この章では、本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

1 設置時の注意事項	26
2 パソコンやネットワークに接続する	32

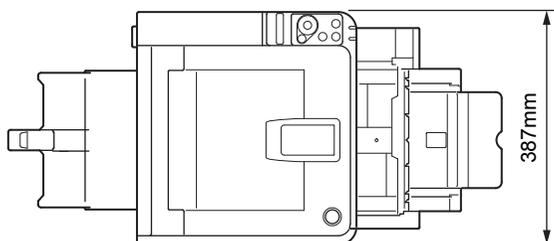
1 設置時の注意事項

本製品を設置し、単体で動作確認する手順については、『設置ガイド』をご覧ください。ここでは、設置時に注意していただきたいことや、補足情報を記載します。

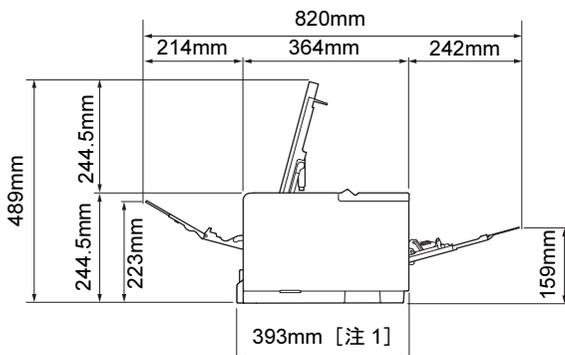
本製品のサイズ

本製品のサイズは次のとおりです。設置時のスペース確認にご利用ください。また、設置スペースについては、「安全上のご注意」(→ P.10)をご覧ください。

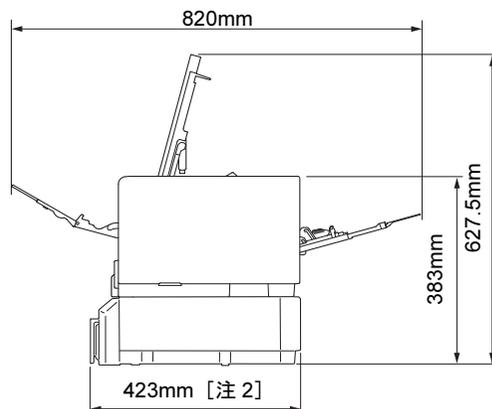
■ 上面図



■ 側面図 (標準構成時)



■ 側面図 (拡張給紙ユニット搭載時)



注1 : A4の場合。ご購入時は378mm。リーガル14の場合452mm。

注2 : A4の場合。ご購入時は405mm。リーガル14の場合481mm。

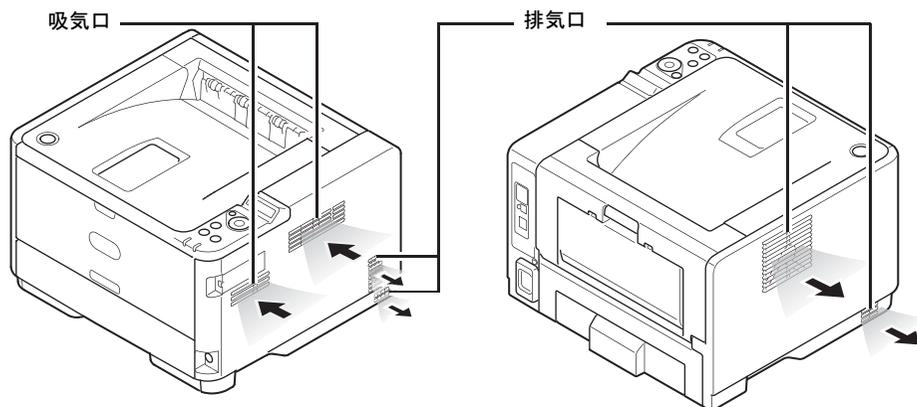
設置～動作確認までの注意事項

設置時

安全に快適に本製品をご利用いただくために、「安全上のご注意」(→ P.10) と共に、次の点に注意して設置してください。

- ・ ご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
温度：10～32℃、湿度：20～80%RH
また、いつも良い状態でご利用いただける温度・湿度（推奨温度／推奨湿度）は、温度：17～27℃、湿度：50～70%RH です。
温度 32℃ のときは湿度 54%RH 以下、湿度が 80%RH 前後のときは温度 27℃ 以下でご利用ください（ただし、結露しないこと）。
冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、プリンタ本体の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
- ・ サーバー接続などにより本製品の 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
- ・ 本製品を前後左右に 5° 以上傾けないでください。
画質障害の原因となります。
- ・ 本製品は凹凸のない、平らな場所に設置してください。
斜行などにより印字ずれが大きくなったり、故障の原因となったりします。
- ・ ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなどの電波や磁気による障害が発生し、原因が本製品であると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
 - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。
 - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。
 - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。
 - 受信アンテナやアンテナ線の配置を換えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。
 - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
- ・ 化学薬品や油・ガスを使用または保管している環境では、本製品を使用しないでください。故障の原因となります。
- ・ 電源コードやインターフェースケーブルの上に、本製品や他の物を載せないでください。
- ・ 次亜塩素酸ナトリウム、二酸化塩素などの塩素を含む薬剤を使用した空間除菌の間近ではお使いになれません。
消毒する場所の付近や、風下（ファンなどを使用している場合）での製品のお取り扱いは、充分ご注意ください。

- ・本製品の左右の側面には吸排気口があります。
吸気口をふさがないように、壁から充分離して設置してください。設置スペースについては、「安全上のご注意」(→P.10)をご覧ください。



- ・本製品を設置する台は、本製品の底面全体が充分載る大きさのものを準備してください。
- ・移転など、本製品を今後運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくとう便利です。

重要

超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器を使用するときに水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出されて本製品の内部に付着し、画像不良の原因となります。使用時は、純水など不純物を含まない水をご使用ください。

トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り付け時

⚠ 注意

- ⊘ トナーカートリッジやドラムカートリッジは、本製品専用の純正品のご使用をお奨めします。富士通プリンタは、純正のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- ・直射日光や強い光に当てないでください。
- ・ドラムカートリッジの取り付け作業は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。
- ・感光体（ドラム）の表面には絶対に手を触れないでください。
- ・トナーカートリッジは振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

電源コード接続時／電源投入時

⚠ 警告



・電源コードを接続するときは、必ずオペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯し、電源が切れていることを確認してください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。



・電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。

電源コンセントのアース線端子

銅片などを650 mm以上地中に埋めたもの

D種（旧：第3種）接地工事を行っている接地端子

・危険ですので、次の箇所にアース線を接続しないでください。

ガス管（引火や爆発の危険があります。）

電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。）

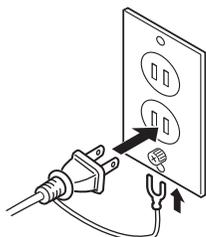
水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。）



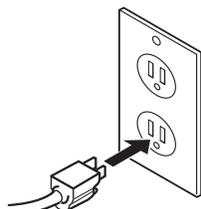
・プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

本製品の電圧定格値は、AC100Vです。

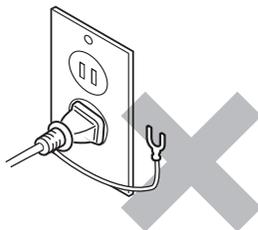
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。



2極コンセントの場合



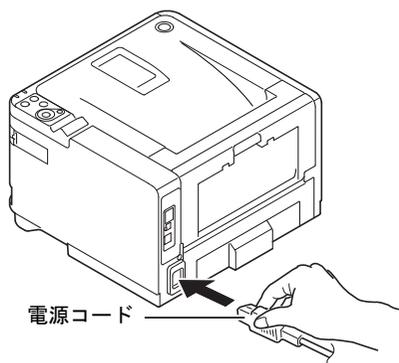
3極コンセントの場合



電源の入れ方／切り方

電源の入れ方

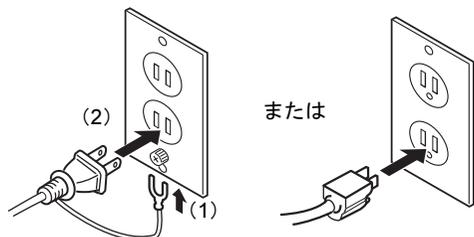
- 1 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込みます。



- 2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

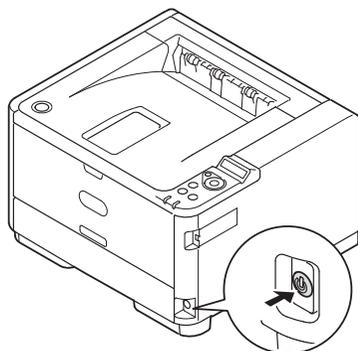
本製品の定格電源は、100V、7A です。

アース引出線付 2 極プラグを利用する場合は、(1) アース接続を行ってから (2) 電源プラグを差し込んでください。



- 3 電源スイッチを 1 秒間押します。

オペレータパネルのオンラインランプが点灯します。



電源の切り方

⚠ 注意



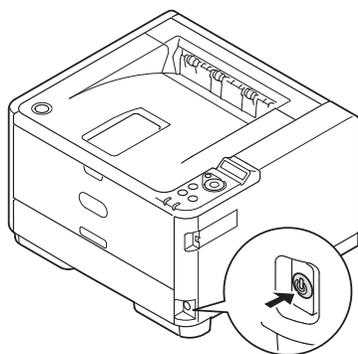
- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

👉 重要

- ・電源を切るときは、電源スイッチを押し続けしないでください。電源スイッチを押し続けると電源が強制的に切れるため、メモリが破損して故障の原因になることがあります。
- ・電源プラグを抜く前に、オペレータパネルの電源ランプが消灯したことを確認してください。
- ・動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
- ・電源が切断されない場合は電源スイッチを5秒以上押し続けてください。オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDがすべて消灯し、電源が切れていることを確認してください。

1 電源スイッチを1秒間押します。

電源切断の処理が終了すると自動的にオペレータパネルの液晶ディスプレイやオンラインランプが消灯し、電源が切れます。



👉 重要

- ・連続印刷直後などファン回転による冷却動作中は、ファン回転が終わってから電源が切れます。
- ・電源をオフ、オンするときは、オフして3秒以上経過してから電源をオンにしてください。

2 パソコンやネットワークに接続する

本製品をパソコンやネットワークに接続する方法を説明します。お使いの環境に合わせて接続方法を選択してください。

POINT

- ・ 接続、運用形態は、次の基準を目安に選択してください。
 - ・ LAN ケーブルで接続
インターネットを利用して印刷する場合に選択します。LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
 - ・ プリンタ USB ケーブルで接続
1台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
- ・ サーバー経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- ・ 本製品は、USB、LAN ケーブルを同時に接続できます。
接続時は、「複数のポートに同時接続するときの注意事項」(→ P.34) もあわせてご覧ください。

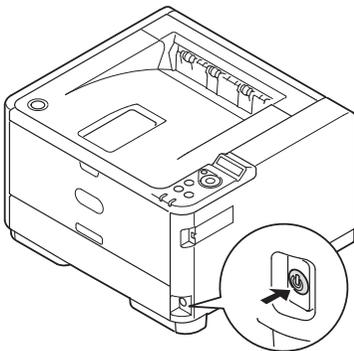
LAN ケーブル接続の場合

本製品をネットワーク経由で接続するときは、ハブユニットとツイストペアケーブルで接続します。通信速度に応じた適切なケーブルを選択してください。

通信速度	利用できる LAN ケーブル
1000Base-T	エンハンストカテゴリ 5 以上に対応したツイストペアケーブル
100Base-TX	カテゴリ 5 以上に対応したツイストペアケーブル
10Base-T	カテゴリ 3 以上に対応したツイストペアケーブル

また、「LAN 接続時の注意事項」(→ P.34) もあわせてお読みください。

1 電源スイッチを 1 秒間押して、プリンタの電源を切ります。

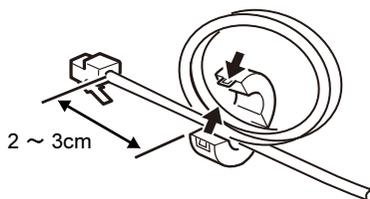


重要

- ・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.153)をご覧ください。
- ・オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯したことを確認してください。

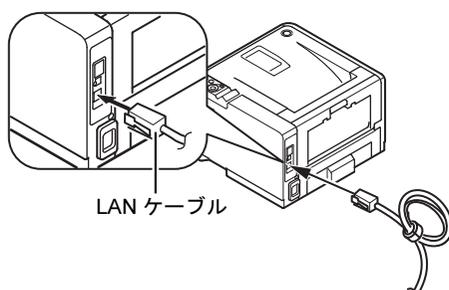
2 LAN ケーブルに添付のコアを取り付けます。

LAN ケーブルのコネクタから 2 ~ 3cm の位置に二重の輪を作り、コアを取り付けます。



3 LAN ケーブルを背面の LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

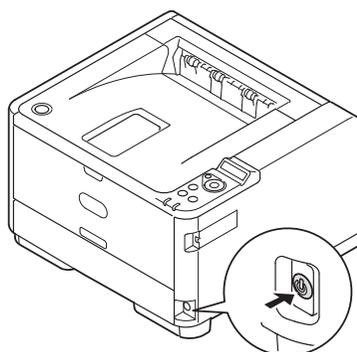
ハブユニット側の接続は、ハブユニットのマニュアルをご覧ください。



4 電源スイッチを 1 秒間押して、プリンタの電源を入れます。

オペレータパネルのオンラインランプが点灯します。

電源が入らない場合は、「こんなときには」(→ P.125) をご覧ください。



この後は、『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

POINT

- LAN ケーブルで接続した場合は、本製品に IP アドレスを設定する必要があります。
- IPv4 アドレスは、オペレータパネルから直接設定することができます。オペレータパネルの操作方法については「オペレータパネルの操作」(→ P.83) をご覧ください。
- IPv6 アドレスは、「リンクローカルアドレス」「グローバルアドレス」の 2 種類の IPv6 アドレスの設定ができます。設定方法については「IPv6 アドレスの場合」(→ P.111) をご覧ください。IPv6 アドレスは手動では設定できません。

LAN 接続時の注意事項

- LAN ケーブルをハブユニットに接続しても、ハブユニット側や本製品のリンクランプが点灯せず、ネットワークサーバーなどに接続できなかつたり、印刷速度が低下したりすることがあります。

このようなときは、プリンタの Ethernet タイプの設定を変更してください。本製品では Ethernet タイプとして「自動」「100BASE-TX FULL」「100BASE-TX HALF」「10BASE-T FULL」「10BASE-T HALF」の中から選択できます。本製品のオペレータパネルのメニューモードで、「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「Ethernet タイプ」を選択し、値を変更してください。オペレータパネルの操作方法については、「操作方法」(→ P.89) をご覧ください。プリンタの Ethernet タイプを変更しても改善されない場合は、プリンタを接続しているハブユニットの設定も変更してみてください。ハブユニットの Ethernet タイプの設定方法については、お使いのハブユニットのマニュアルをご覧ください。

- ハブユニットに STP (スパンニングツリープロトコル) の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。

「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。また、プリンタの IP アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。

- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。

- ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバーなどに接続できないことがあります。
- ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「お問い合わせ窓口」(→ P.191) にご相談ください。ラベルはハブユニットの底面に貼られており、次のように表記されています。

A8の例	A7の例	A6の例
SER.NO.000001 DATE:2007-5 A#B-01234567 89	SER.NO.000001 DATE:2007-5 A#B-01234567 89	SER.NO.000001 DATE:2007-5 A#B-01234567 89

該当するものに消し線 (=) が付けられます。

複数のポートに同時接続するときの注意事項

本製品は、LAN 経由でサーバープリンタとして動作すると共に、他のパソコンを USB ポートに接続することができます。

複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- 使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。

- ・ポートの切り替え時間については、「設定項目一覧」(→ P.91) の「メニュー」→「システム コウセイ メニュー」→「ポートカイホウ ローカル」または「ポートカイホウ ネットワーク」をご覧ください。

重要

- ・印刷中は、プリンタのケーブルを抜き差ししないでください。

プリンタ USB ケーブル接続の場合

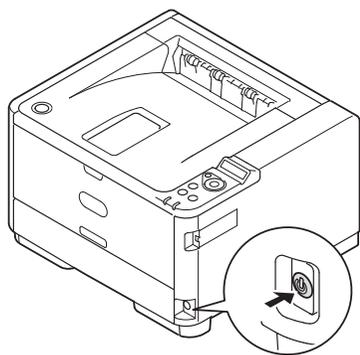
USB インターフェースをサポートする PC/AT 互換機に接続できます。

なお、本製品にプリンタ USB ケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタ USB ケーブル」(→ P.39) をご覧ください。

重要

- ・『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧ください。プリンタドライバをインストールしてから、プリンタ USB ケーブルを接続してください。
- ・パソコンとプリンタの接続に使用するプリンタ USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- ・印刷中にプリンタ USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- ・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- ・本製品と接続したプリンタ USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタまたはセルフパワータイプの USB ハブ(電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ)のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- ・USB2.0 でお使いになるには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。
- ・パソコンが USB3.0 に対応している場合、シャットダウンすると、まれにパソコンが再起動してしまう場合があります。その場合、パソコン側の BIOS 設定にて USB3.0 を無効にすることで回避できる場合があります。

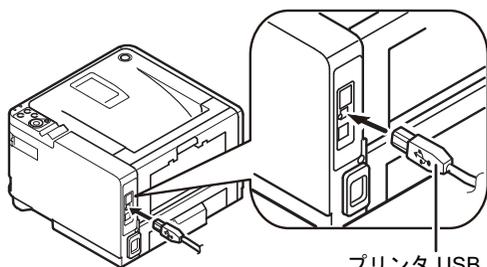
1 電源スイッチを 1 秒間押して、プリンタの電源を切ります。



重要

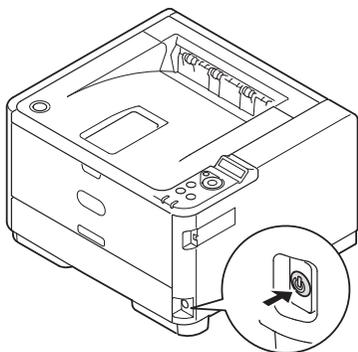
- ・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.153) をご覧ください。
- ・オペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯したことを確認してください。

- 2** プリンタ **USB** ケーブルを、背面の **USB** ケーブルコネクタに差し込みます。
パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。



プリンタ USB ケーブル

- 3** 電源スイッチを **1** 秒間押して、プリンタの電源を入れます。
オペレータパネルのオンラインランプが点灯します。
電源が入らない場合は、「こんなときには」(→ P.125) をご覧ください。



3

第3章

オプションを取り付ける

本製品には、オプションとして拡張給紙ユニットを取り付けることができます。この章では、拡張給紙ユニットの取り付け方法を説明します。

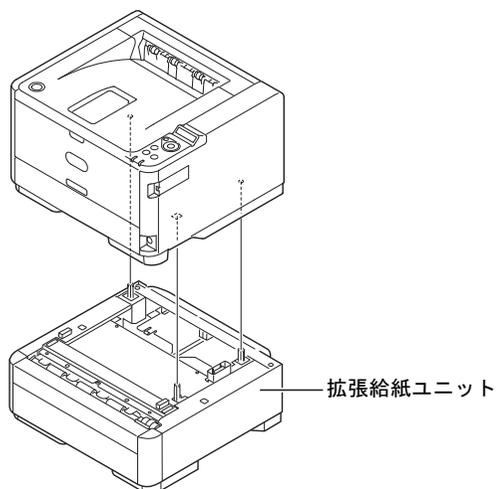
1 取り付け可能なオプションとご注意	38
2 拡張給紙ユニットの取り付け	40

1 取り付け可能なオプションとご注意

本製品に取り付け可能なオプションと、取り付け時に注意していただきたいことを説明します。

取り付け可能なオプション

本製品には、次のオプションを取り付け可能です。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) でご確認ください。



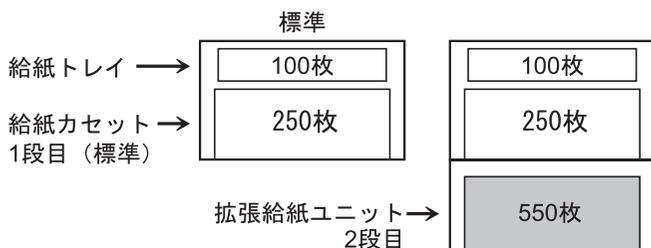
拡張給紙ユニット

2段目の給紙ユニットとして使用できます。大量文書の印刷時にご利用ください。

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF55MI	収容枚数は約 550 枚 (64g/㎡の用紙の場合) です (給紙カセットが拡張給紙ユニット内に入っています)。

■取り付け形態

拡張給紙ユニットは、1段目 (標準) の給紙カセットと合わせて、次の取り付け形態を選択できます。



POINT

- ・異なるサイズ of 用紙を、同時に1つの給紙カセットにセットすることはできません。
- ・印刷中でも、給紙しているカセットより下の段であれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

プリンタケーブル

本製品とパソコンを接続します。

プリンタケーブルは、プリンタ USB ケーブルを使用できます。本製品にはプリンタケーブルは添付されていないので、次の別売ケーブルをお使いください。

■プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	サポート OS が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルはUSB2.0に対応しています (1.5m)。

重要

- ・プリンタ USB ケーブルは、5m 以下の長さのシールドケーブルをお使いください。

取り付け時のご注意

オプションを取り付けるときは、次の点をお守りください。

警告



- ・オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

注意



- ・オプション類の取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因になることがあります。

重要

- ・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ず電源を切った状態で作業してください。

2 拡張給紙ユニットの取り付け

拡張給紙ユニットの取り付け、取り外し方法は次のとおりです。

⚠ 警告



- ・ 拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源が切れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠ 注意

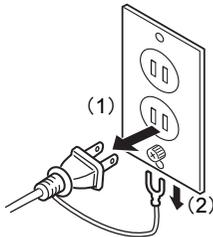


- ・ 拡張給紙ユニットは、本製品専用品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
- ・ 拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
- ・ プリンタと拡張給紙ユニットの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- ・ 本製品は、用紙が入っていない状態で約 12kg あります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。また、移動するときに足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。
- ・ 取り付け時は、指をはさまないように注意してください。

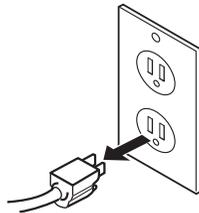
取り付け

1 電源スイッチを 1 秒間押し、電源を切り、ケーブル類を取り外します。

(1) (2) の順で抜いてください（差し込むときは逆の順序）。

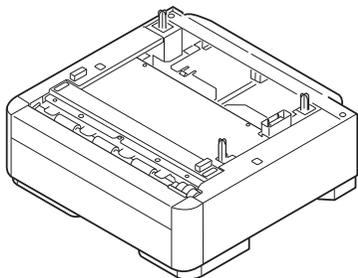


2 極コンセントの場合

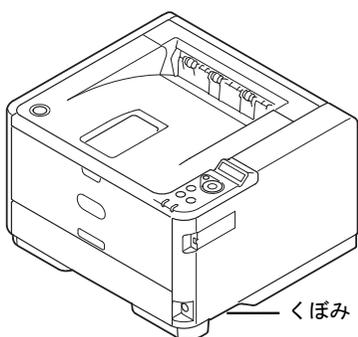


3 極コンセントの場合

2 拡張給紙ユニットを水平の場所に設置します。

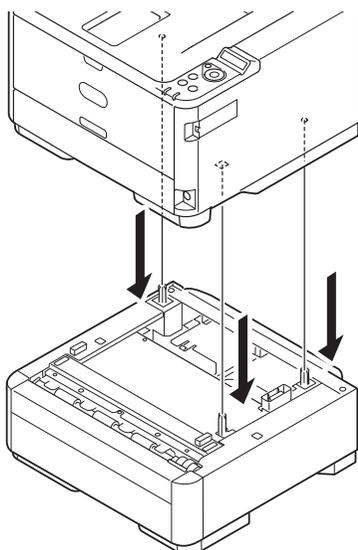


3 プリンタの両側面にある運搬用の取っ手を持ってゆっくりと持ち上げ、拡張給紙ユニットまで水平に運びます。



プリンタ本体を持ち上げるときは、給紙カセットの部分や給紙トレイの下側を持たないでください。

4 拡張給紙ユニットには3本の垂直ピンが付いています。プリンタの底面にある穴に垂直ピンを合わせ、拡張給紙ユニットの上にプリンタ本体をゆっくりと下ろします。



5 プリンタにケーブル類を接続し、電源スイッチを 1 秒間押して電源を入れます。

電源コード、LAN ケーブル、プリンタ USB ケーブルを元通りに接続してください。

6 Windows を起動し、管理者権限をもったユーザーでログオンします。

7 プリンタドライバをインストールしていない場合は、プリンタドライバをインストールします。

インストール方法については、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

8 「デバイスとプリンター」フォルダーを開きます。

■ Windows 11 の場合

1.  → 「すべてのアプリ」 → 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1.  → 「Windows システムツール」 → 「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の  を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何も無いところを右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

9 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、「印刷設定」または「プリンターのプロパティ」をクリックします。

10 「デバイスオプション」タブをクリックし、「拡張給紙ユニット」を☑にして「OK」をクリックします。



重要

- ・ この設定は必ず行ってください。
この設定を行うことで、拡張給紙ユニットを給紙口として選択できるようになります。

POINT

- ・ 拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、プリンタの電源を入れた後に次の操作を行い、取り付けた拡張給紙ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
 1. プリンタのメニューモードから「インフォメーション メニュー」→「セッテイ ノ イチラン インサツ」の順に選択し、「設定内容」を印刷します。
詳しくは、「基本的な操作方法」(→ P.89) および「設定内容の印刷」(→ P.107) をご覧ください。
 2. 印刷した「設定内容」の「メニュー」→「用紙メニュー」欄に「カセット 2」が表示されていることを確認します。
「カセット 2」と表示されていない場合は、拡張給紙ユニットが認識されていません。再度、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか、確認してください。

取り外し

1 電源スイッチを 1 秒間押して電源を切り、ケーブル類を取り外します。

- ・ オペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯していることを確認し、電源が切れたことを確認します。
- ・ LAN ケーブルおよびプリンタ USB ケーブルを外します。
- ・ 電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。

重要

- ・ スリープモード中に節電中 / 解除スイッチが点滅しています。

2 「取り付け」(→ P.40) と逆の手順で、拡張給紙ユニットを取り外します。

4

第4章

日常の操作

この章では、本製品を使って印刷するときに必要となる、日常的な操作について説明します。

1 用紙をセットする	46
2 印刷する	57
3 印刷を中止する	59
4 トナーカートリッジとドラムカートリッジの交換と注意事項	60
5 プリンタを清掃する	70
6 プリンタを長時間使用しないとき	77
7 プリンタを移動するとき	78

1 用紙をセットする

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする方法を説明します。

👉 重要

- ラベル紙、郵便はがき、長尺紙は、給紙トレイから印刷してください。給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）からは印刷できません。詳しくは「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」（→P.47）をご覧ください。
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイが便利です。

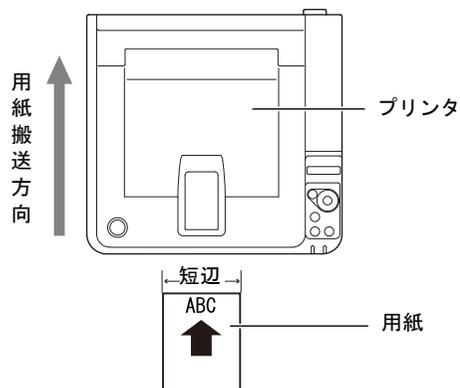
🔍 POINT

- 異なるサイズの内紙を、同時に1つの給紙カセットにセットすることはできません。また、給紙トレイについても、異なるサイズの内紙を同時にセットすることはできません。
- 拡張給紙ユニット（カセット2）から印刷中の場合は、標準の給紙カセット（カセット1）を引き抜くことはできません。印刷が終了するまでお待ちください。上記以外の場合は、印刷中であっても、給紙が行われていない給紙カセットまたは給紙トレイに用紙をセットできます。

用紙をセットする向きについて

給紙カセット、給紙トレイ、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットするときは、用紙を「縦送り」されるように置きます。

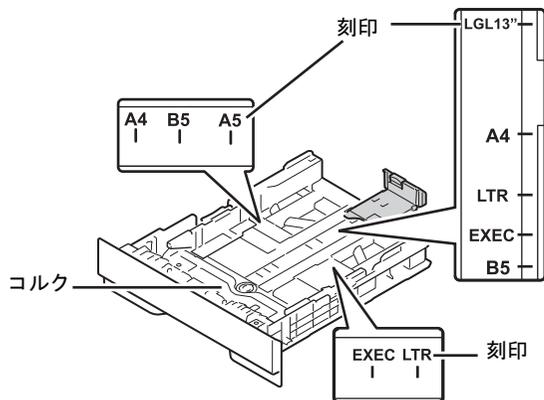
「縦送り」とは、用紙の短辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「SEF（Short Edge Feed）」とも表記されます。



用紙サイズの刻印

給紙カセットや給紙トレイには、さまざまな用紙をセットするときの目安となる刻印が付いています。

本製品では、サポートしていない用紙サイズの刻印があります。使用できる用紙サイズについては、「給紙方法と用紙のサイズ」(→ P.116) をご覧ください。



この刻印は、セットする用紙に合わせて給紙カセットを伸縮したり、用紙の縦／横ガイドのクリップを移動したりするときに使用します。

⚠ 注意



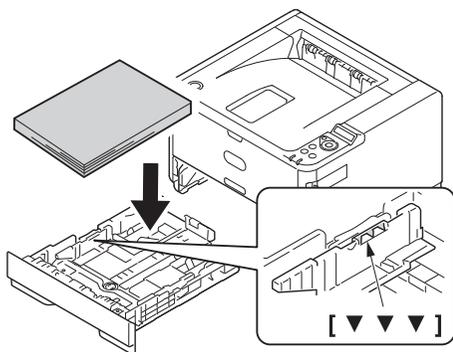
- ・用紙カセットの金属版に付いているコルクは、はがさないでください。

給紙カセット、拡張給紙ユニット (オプション) に用紙をセットする

ここでは、給紙カセットに用紙をセットする手順について説明します。

👉 重要

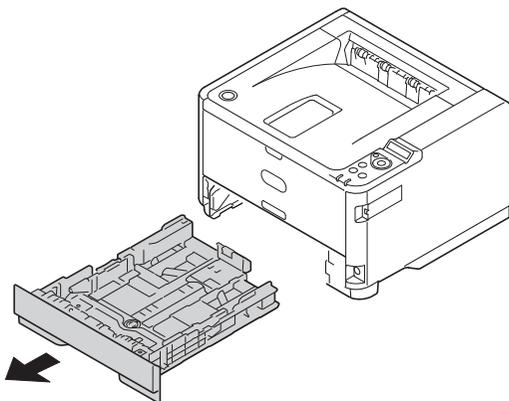
- ・使用する用紙に対応した給紙カセットについては、「使用できる用紙」(→ P.116) をご覧ください。
- ・セットする用紙の量は、給紙カセット内の横ガイドの上限マーク位置を超えないようにしてください。紙詰まりの原因になることがあります。



- ・頻繁に紙詰まりが発生するときは、用紙の表と裏を逆にしてセットしてください。

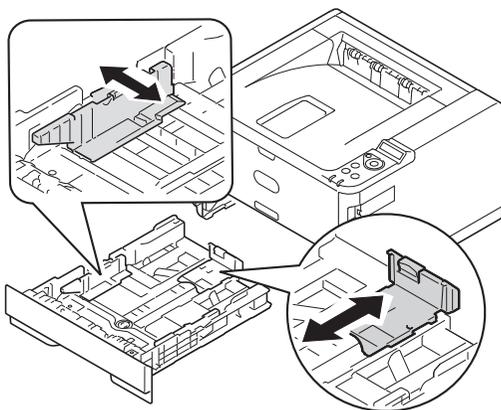
- ・ 1つのカセットに、異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- ・ 給紙カセット内の用紙を使い切る前に、用紙を追加してセットしないでください。紙詰まりの原因になります。
- ・ 横ガイドや縦ガイドを無理に動かさないでください。故障の原因になります。
- ・ 用紙をセットした給紙カセットをプリンタ本体にセットするときは、ゆっくりと入れてください。給紙カセットを勢いよく入れると、給紙カセットの横ガイド、縦ガイド、または給紙トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

1 給紙カセットの手前方向にゆっくりと水平に引き出します。

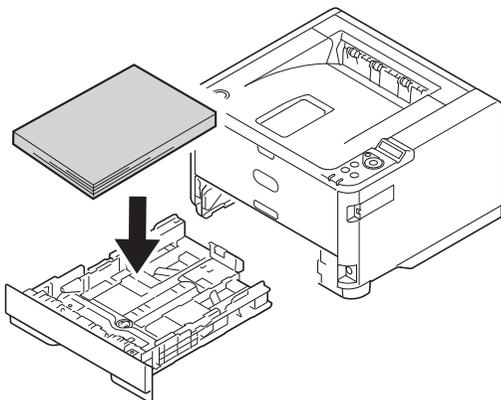


給紙カセットは平らな場所に置いてください。

2 横ガイドと縦ガイドを用紙サイズに合わせます。



3 印刷面を下にして用紙をセットします。



4 横ガイドや縦ガイドの位置をセットした用紙に合わせて調整します。

用紙と横ガイドや縦ガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間があるときは、横ガイドや縦ガイドを操作して調整してください。

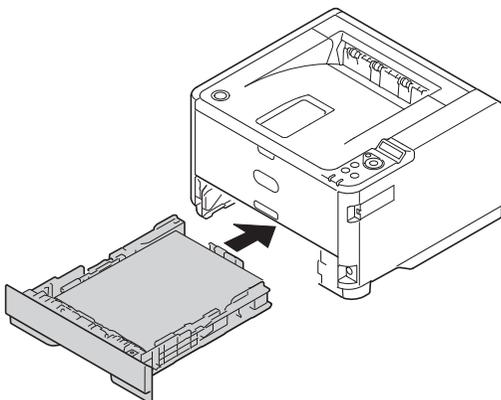
横ガイドや縦ガイドを用紙に強く押し当てすぎると、給紙がうまくいかない原因になるので注意してください。

重要

- ・横ガイドの「▼▼▼」マークを超えて用紙をセットしないでください。

セットした用紙を給紙カセットの中で大きく動かさないでください。カセット底板のすき間に用紙端部が入り、紙詰まりや用紙折れの原因になります。

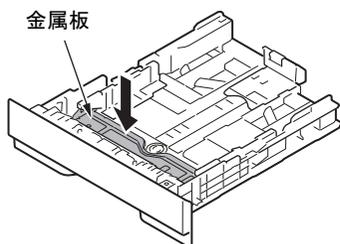
5 給紙カセットとプリンタ本体を水平にして、給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



紙詰まりを防止するため、しっかり奥までカセットを入れてください。

重要

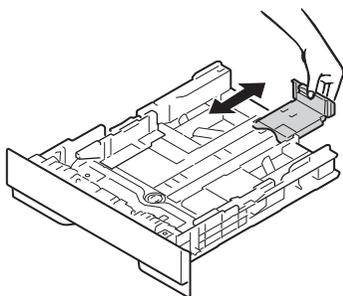
- ・勢いよく押し込まないでください。縦ガイドの位置がずれて紙詰まりとなったり、装置破損の原因となったりします。
- ・用紙カセットの用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに取り付けてください。
金属板が上がったまま取り付けると故障の原因になります。



A4SEF 以上の大きい用紙をセットするとき

給紙カセットの場合

- 1** 給紙カセットを完全に引き抜きます。
詳しくは、「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」の手順 1（→ P.48）をご覧ください。
- 2** A4、リーガルサイズをセットするときは、縦ガイドを給紙カセットの後ろ側へ引き出します。
縮めるときは縦ガイドを給紙カセットの手前側に押し込んで収納します。



拡張給紙ユニット（オプション）の場合

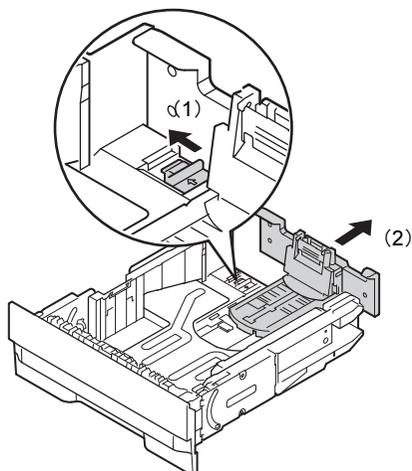
拡張給紙ユニットに A4 以上の大きい用紙をセットするときは、延長カセットを引き出してください。

- 1** 拡張給紙ユニットを完全に引き抜きます。
詳しくは、「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」の手順 1（→ P.48）をご覧ください。

2 A4、リーガルサイズをセットするときは、(1) 延長カセットのロックレバーを矢印の方向へ動かし、ロックを外した状態で (2) 後部を後ろ側へ引き出します。

縮めるときもロックを外し、後部を拡張給紙ユニットの手前側に押し込んで収納します。

延長カセットがきちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。



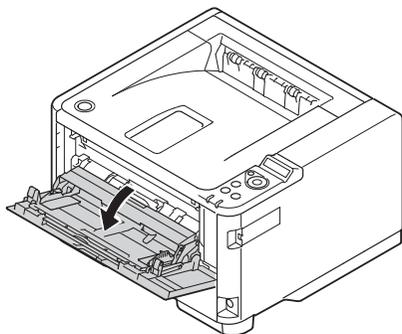
給紙トレイに用紙をセットする

ラベル紙、郵便はがき、長尺紙など、給紙カセットにセットできないサイズや厚さの用紙をセットできます。

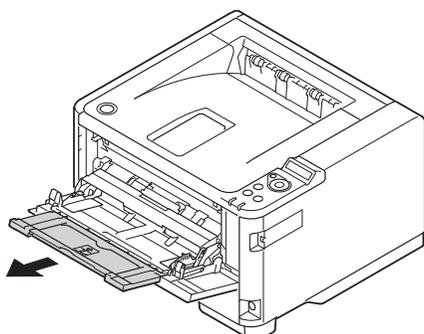
重要

- ・ 用紙ガイドの上限位置を超えない量の用紙をセットしてください。紙詰まりの原因になることがあります。
- ・ 給紙トレイに異なる種類の用紙を混在させてセットしないでください。
- ・ ラベル紙は1枚ずつセットしてください。
- ・ A4 以上の長さの用紙は、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前に使用する用紙で印刷結果を確認してください。
- ・ 給紙トレイに用紙をセットする場合は、プリンタの電源を入れてからセットしてください。
- ・ 給紙トレイから複数枚の用紙を連続して給紙する場合は、プリンタドライバの「基本設定」タブの「給紙オプション」をクリックし、給紙トレイ設定の「手差しとして扱う」を にしてください。設定については、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。
- ・ 給紙トレイの上には、印刷する用紙以外の物を置かないでください。
- ・ 給紙トレイを上から押ししたり、無理な圧力を加えたりしないでください。

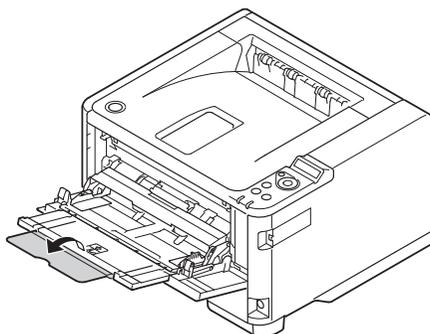
1 給紙トレイを開きます。



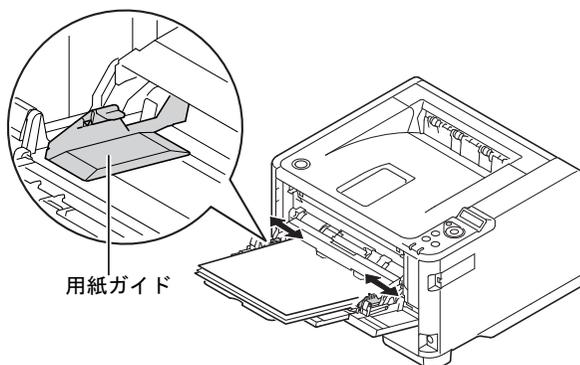
2 給紙トレイ延長補助ガイドを引き出します。



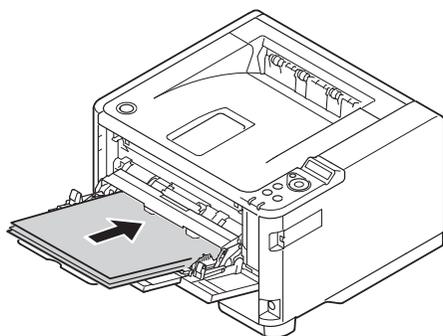
3 必要に応じて給紙トレイ延長ガイドを開きます。



4 用紙ガイドをセットする用紙の幅に合わせて調節します。

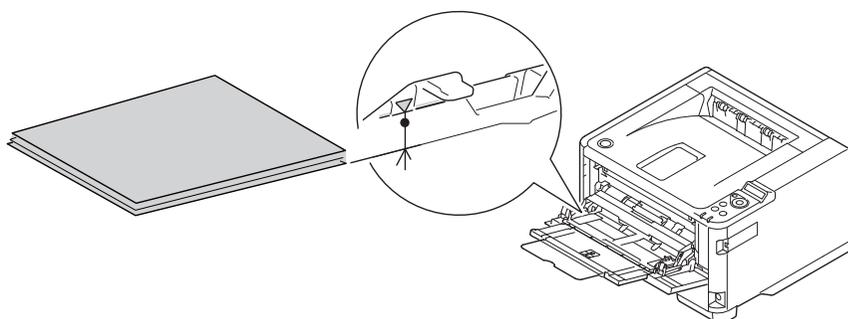


5 用紙の印刷面を上にして、用紙の幅を給紙口まで入れます。



重要

- ・「▽」マークを超えて用紙をセットしないでください。



POINT

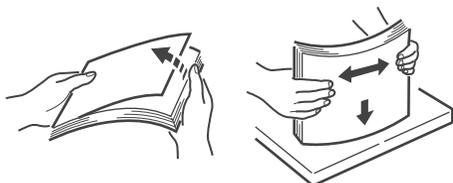
- ・はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。詳しくは、「はがきをセットする」(→ P.54) または「封筒をセットする」(→ P.55) をご覧ください。
- ・用紙ガイドの上限位置を超えないようにしてください。

はがきをセットする

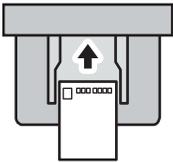
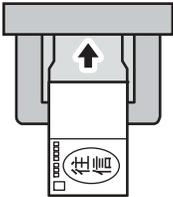
はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- ・郵便はがきがセットできます。
- ・往復はがきは折り目のないものを使用してください。
- ・用紙がカールしていると、紙詰まりの原因になったり、印刷品質に影響が出たりします。トレイ上で上向き反り 2mm 以内、下向き反り 0mm になるように直してからセットしてください。
- ・はがきをセットするときは、バラバラとさばいてから端を揃えてください。



はがきの種類やセットする向きによって、給紙トレイにセットする方法が異なります。はがきに印刷するときは、必ずはがきのセット方向を確認してください。

はがきの種類と向き	給紙トレイ [注]
郵便はがき 	 <ul style="list-style-type: none">・はがきの下辺：手前側・印刷する面：上
郵便往復はがき 	 <ul style="list-style-type: none">・はがきの下辺：左側・印刷する面：上

注：用紙をセットする場合は、最大 25 枚以下でかつ総厚 5mm 以下にしてください。

POINT

- ・はがきに印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。

封筒をセットする

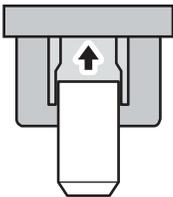
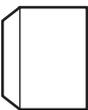
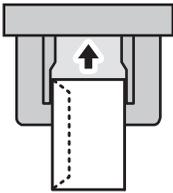
封筒をセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- ・ 窓付き封筒は使用しないでください。
- ・ のり付き封筒は、のりで封筒どうしが貼り付くことがあります。さばいてからセットしてください。封筒どうしが貼り付くときは、1枚ずつセットしてください。
- ・ 封筒のフラップ（ふた）の長さや形状によっては紙詰まりが起こることがあります。
- ・ フラップを開いた状態でセットしたときは、ユーザ定義サイズを指定してください。
- ・ 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っていたり曲がっていたりするときは、鉛筆や定規で上向きへの反りが 2mm 以内、下向きへの反りが 0mm になるように直してからセットしてください。

封筒の形やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。封筒に印刷するときは、必ず封筒のセット方向を確認してください。

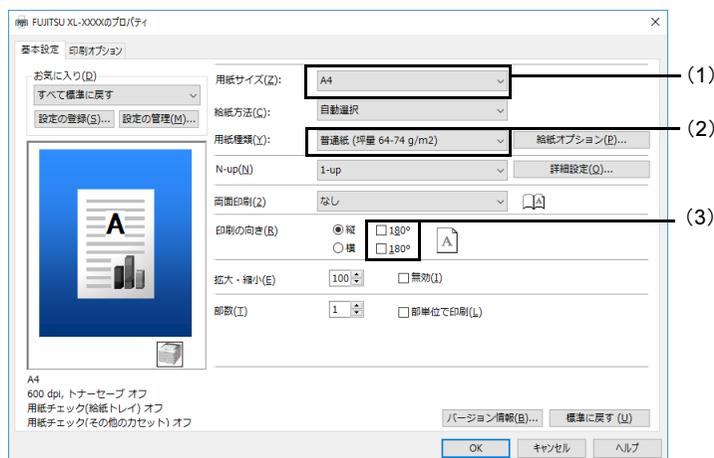
封筒のセット方向

封筒の種類と向き	給紙トレイ [注 2]
角形／長形封筒 [注 1] 	 <ul style="list-style-type: none">・ フラップ：開く・ 封筒の下辺：奥側・ 印刷する面：上
洋形／洋長形封筒 [注 1] 	 <ul style="list-style-type: none">・ フラップ：閉じる・ 封筒の下辺：右側・ 印刷する面：上

注1： 封筒の紙質、厚みなどによってかすれなどが発生する可能性がありますので、必ず事前に試し印刷を行い確認してください。
フラップ（ふた）を開いた状態でセットしたときは、ユーザ定義サイズを指定してください。

＜ユーザ定義サイズでの封筒印刷方法について＞

1. プリンタドライバの「基本設定」タブで、(1)「用紙サイズ」の「ユーザ定義サイズ」を選択し封筒のサイズを指定し、(2)「用紙種類」の「封筒(薄め)」または「封筒(厚め)」を選択します。(3)「印刷の向き」の「180°」にチェックを入れます。



注2： 用紙をセットする場合は、最大25枚以下でかつ総厚5mm以下にしてください。

封筒をセットした後、プリンタドライバで、用紙の種類を「封筒」に設定してください。また、用紙の厚さを設定してください。「給紙方法と用紙のサイズ」(→ P.116)をご覧ください。

使用できる封筒

レーザープリンタ専用封筒（ハート株式会社）は長形3号が使用できます。

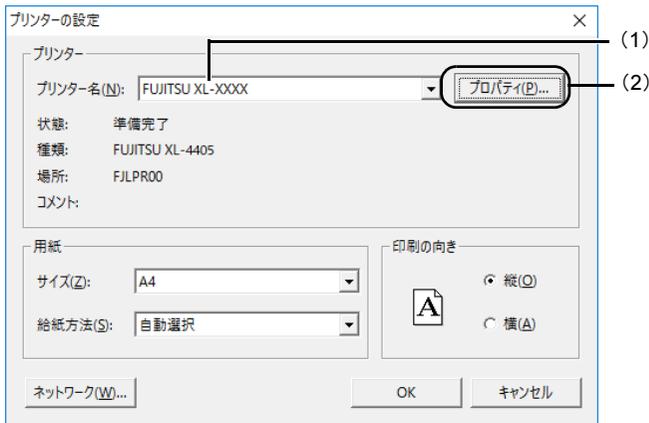
POINT

- ・ 給紙口に一度にセットする封筒は、同じサイズ、同じ用紙種類の封筒にしてください。
- ・ 封筒には両面印刷できません。
- ・ 周囲と異なる厚みの部分があると、均一に印刷できないことがあります。2、3枚通紙して、印刷結果を確認してください。
- ・ 封筒に印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
- ・ 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- ・ 湿気を吸った封筒は使用しないでください。
- ・ 推奨封筒でも、高温になる所や湿気の多い所で印刷すると、シワが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。
- ・ 封筒の長辺の端に細かいシワができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りするときに、封筒の用紙が重なり合っている部分にスジが入ることがあります。
- ・ 洋形／洋長形封筒でシワが発生するときは、封筒のセット方向の表で「長形封筒」と同じ向きに封筒をセットしてください。

2 印刷する

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

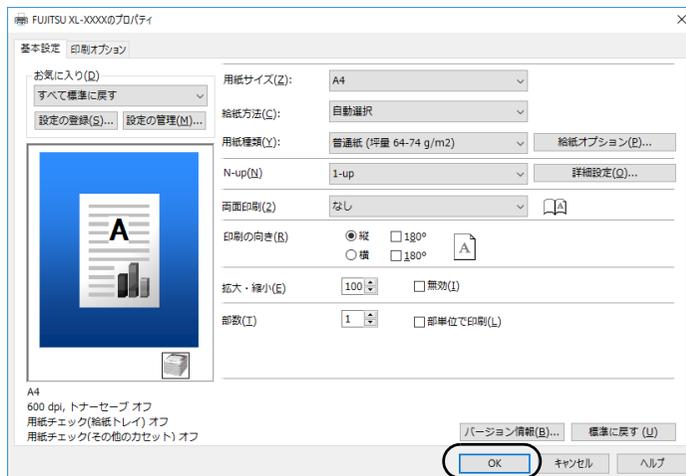
- 1 印刷を行う前に、プリンタドライバをインストールします。
インストール方法は、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。
- 2 本製品が印刷できる状態であることを確認します。
 - ・ 正しく接続されているか
 - ・ 本製品の電源が入っているか
 - ・ 用紙がセットされているか（「用紙をセットする」（→ P.46））
- 3 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。
「印刷」ウィンドウが表示されます。
- 4 (1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2) 「プロパティ」をクリックします。



POINT

- ・ アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティウィンドウのタブが「印刷」ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

5 各項目を設定し、「OK」をクリックします。



各設定項目については、プリンタドライバの「ヘルプ」または『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

POINT

- ・セットした用紙の種類に応じて、「用紙種類」を設定してください。用紙の種類と設定値の対応については、「給紙方法と用紙のサイズ」(→ P.116)をご覧ください。
- ・プリンタドライバの「ヘルプ」をご覧になるには、次のいずれかの操作を行います。
 - ・画面右下の「ヘルプ」ボタンをクリックし、知りたい項目を選択または検索する
 - ・知りたい項目の領域で右クリックする(ただし、部数情報など、キー入力を伴う項目には対応していません)。

6 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

印刷が開始されます。

正常に印刷できないときは、「こんなときには」(→ P.125)をご覧ください。

3 印刷を中止する

オンラインランプが点滅し、印刷が開始された後に、オペレータパネルから印刷を中止する方法を説明します。

印刷を中止にすると、本製品はプリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。

POINT

その他の中止方法について

印刷を中止する方法は、オペレータパネルから中止する方法のほかに、次の3つがあります。

- ・「デバイスとプリンター」フォルダーまたは「プリンタ」フォルダのアイコンから中止する
- ・「FUJITSU Printer Internet Service」から中止する
- ・「FUJITSU LPR ユーティリティ」から中止する

これらの操作方法については、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」－「印刷を中止するには」をご覧ください。

1 印刷中にリセットスイッチを押します。

オペレータパネルの操作については、「オペレータパネルの操作」(→ P.83)をご覧ください。
「ジョブ リセット シマスカ?」「ハイ」と表示されます。

ジョブ リセット シマスカ?
ハイ

2 OK スイッチを押します。

印刷を中止せずに継続するときは、メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチのどちらかを押すことで、表示が「イイエ」に変わりますので、OK スイッチを押します。

3 再度 OK スイッチを押します。

「データ クリアチュウ」と表示され、印刷が中止され、印刷データが削除されます。

データ クリアチュウ

受信データがあると、オンラインランプが点滅します。

印刷が中止されデータが削除されると、オンライン状態に戻ります。

POINT

- ・プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。
- ・次の印刷ジョブを受信するタイミングによっては、次の印刷ジョブもいっしょに削除されてしまう場合があります。

4 トナーカートリッジとドラムカートリッジの交換と注意事項

トナーカートリッジとドラムカートリッジの交換方法と、使用時の注意事項を説明します。

トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する

トナーカートリッジ 1 本あたりの印刷量の目安は、LB112A が約 3,000 ページ、LB112B が約 7,000 ページ (JIS X 6931 (ISO/IEC19752) に基づく)、装置添付のトナーカートリッジ (スターター) の印刷量の目安は、約 2,000 ページ (A4SEF、約 5% 印字率、連続印刷) です。ドラムカートリッジ 1 本あたりの印刷量の目安は、LB112 および装置添付のドラムカートリッジ (スターター) とともに約 30,000 ページ (一度に 3 ページずつ印刷した場合) です。トナー残量が少なくなると、トナーカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されます。また、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあっても、感光体 (ドラム) の寿命が近づいたり、感光体 (ドラム) の寿命に達したり、廃トナーボックスがいっぱいになったりすると、ドラムカートリッジの交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。メッセージが表示されたら、新しいドラムカートリッジに交換してください。サプライ品については、「サプライ品一覧」(→ P.174) をご覧ください。

トナーカートリッジの寿命については、印字率、一度に 1 ページずつの印刷、用紙サイズなどによって、印刷枚数が規定枚数以下になる場合があります。

ドラムカートリッジの寿命については、間欠印刷、電源オン、オフの回数の多さなどによって、印刷枚数が半分以下になる場合があります。

重要

- トナーカートリッジやドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から 24ヶ月 (開封後は 1 年間) の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ、汚れ、かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。
- ドラムカートリッジの交換直後は、一時的に印刷が薄くなる場合があります。しばらく印刷すると回復します。
- 一度使用したドラムカートリッジを、他の同一のプリンタに取り付けての継続的な使用は避けてください。どうしても使用したい場合は数枚程度の印刷にとどめてください。
本製品のドラムカートリッジは、一度プリンタ本体に取り付けるとそのプリンタにて使用状態を管理します。一度使用したドラムカートリッジを、他の同一のプリンタに取り付けると、使用状態を正しく管理できなくなります。
そのため、取り付けたドラムカートリッジがほぼ新品であっても、「マモナク ドラム ジュミョウ」や「ドラム コウカン」のメッセージを表示し、印刷が停止しドラムカートリッジが使用不可になることがあります。
また、取り付けたドラムカートリッジが寿命間際であっても、「マモナク ドラム ジュミョウ」や「ドラム コウカン」が表示されず、そのまま使い続けると廃トナーボックスより廃トナーがあふれる可能性があります。

警告



- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを火中に投げないでください。粉じん爆発やトナー粉が跳ねてやけどの原因になります。
- ・使用済みのトナーカートリッジやドラムカートリッジを処分するときは、「使用済みカートリッジの無償回収サービス」(→ P.68)をご利用ください。



- ・トナーが目や口に入らないように注意してください。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、目や口に入った場合は、ただちに多量の水で洗浄した後、医師と相談してください。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



- ・トップカバーを閉じるとき、カバーとプリンタ本体に手をはさまないように注意してください。けがをすることがあります。
- ・トップカバーが開いているときに、トップカバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手をはさんでけがをする原因になりますので、触れないようにしてください。



- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

注意

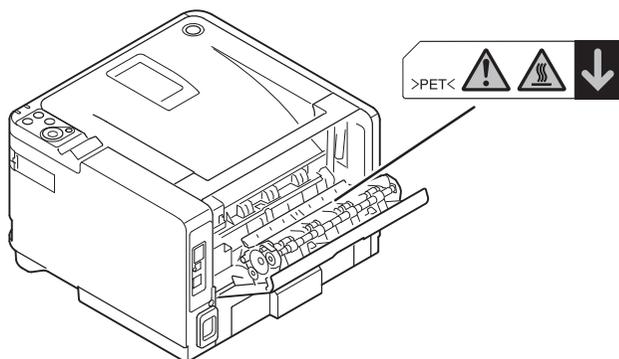


- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジは、純正品のご使用をお奨めします。富士通プリンタは、純正のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。



- ・プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)や「高温注意」をうながすラベルの矢印が指す箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因になることがあります。



交換に関する留意事項

トナーカートリッジやドラムカートリッジは、光に対して非常に敏感です。交換に際しては、次の点に注意してください。

- ・直射日光や強い光（約 1,500lx 以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- ・常に、予備のトナーカートリッジやドラムカートリッジを用意しておいてください。
- ・純正品以外のトナーカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージがオペレータパネルに表示される場合があります。

**XXX: トナーカートリッジ フィッチ
タダ シイ ドラム/トナーヲ セットシテクダサイ**

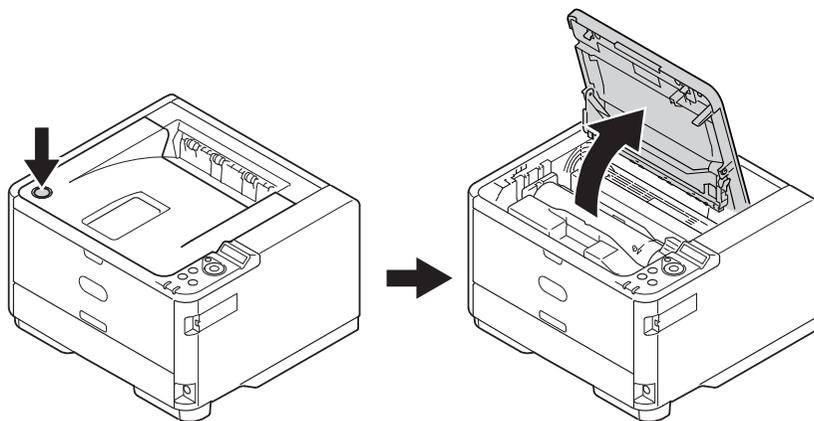
- ・トナーカートリッジ内のトナーがかたよっていると、交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されることがあります。
- ・交換をうながすメッセージがオペレータパネルに表示されない場合でも、次のようなときはトナーカートリッジやドラムカートリッジの交換が必要です。
 - 縦のかすれや部分的なかすれがある場合
強く振ったり、衝撃を与えたりしないように注意してください。トナーがこぼれます。
 - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
 - 適切な用紙に替えて印刷しても改善されない場合

トナーカートリッジを交換する

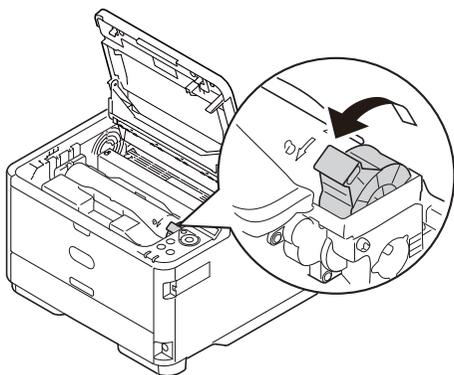
重要

- ・トナーカートリッジは、ドラムカートリッジをプリンタにセットした状態で交換します。

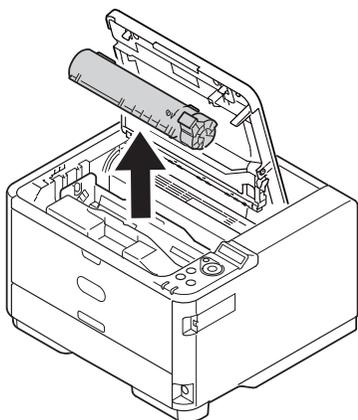
1 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。



- 2** トナーカートリッジの青いレバーを開錠の矢印の方向へ止まるまで回します。



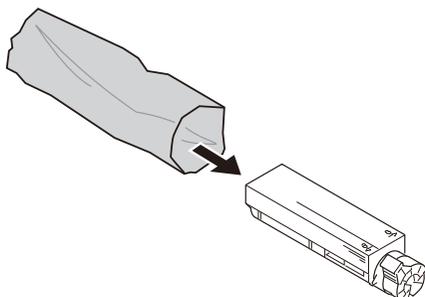
- 3** トナーカートリッジを静かに持ち上げて取り外します。



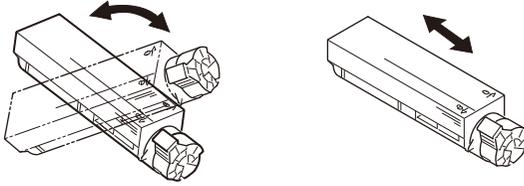
重要

- ・ トナーカートリッジを振ったり、傾けたりしないでください。トナーもれの原因になります。

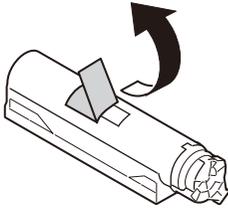
- 4** 新しいトナーカートリッジを包装から取り出します。



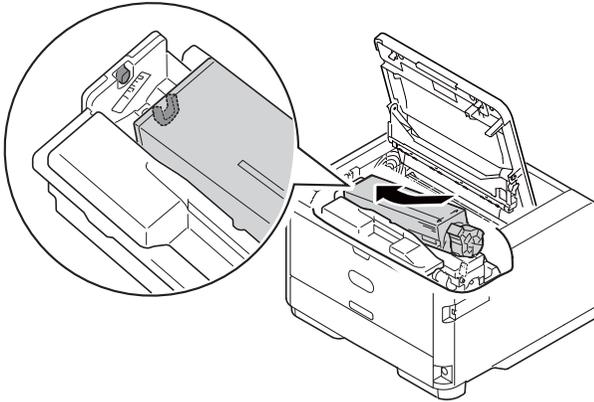
- 5** トナーカートリッジを縦と横に数回振ります。



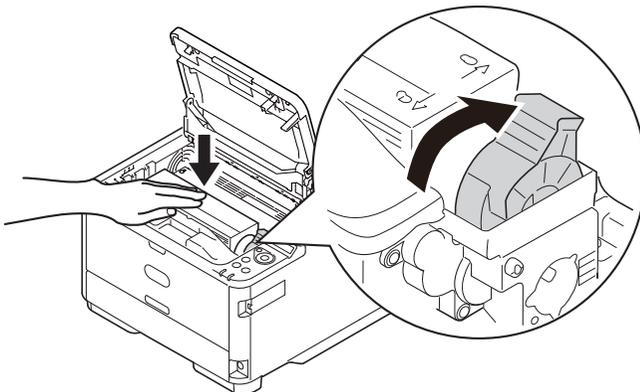
- 6** トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。



- 7** トナーカートリッジの左端をドラムカートリッジ上部のピンに押しつけるように挿入してから右端を下げます。



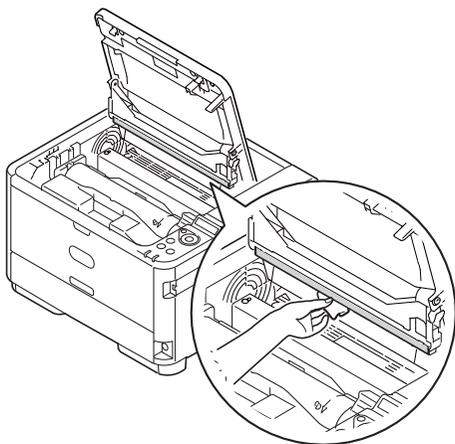
- 8** トナーカートリッジを押さえながら、青いレバーを施錠の矢印の方向へ止まるまで回します。



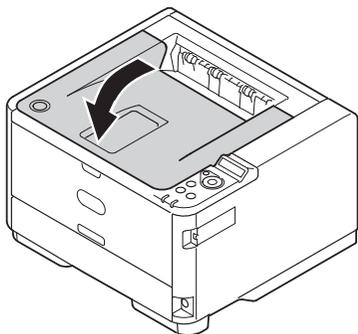
重要

- ・ 青いレバーは、トナーカートリッジをドラムカートリッジにセットしてから、操作してください。

- 9** 柔らかいティッシュペーパーまたは柔らかい布で、**LED** ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。



- 10** トップカバーを閉じます

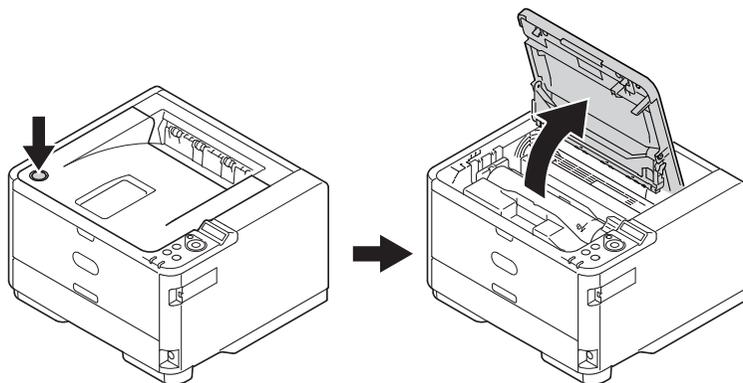


ドラムカートリッジを交換する

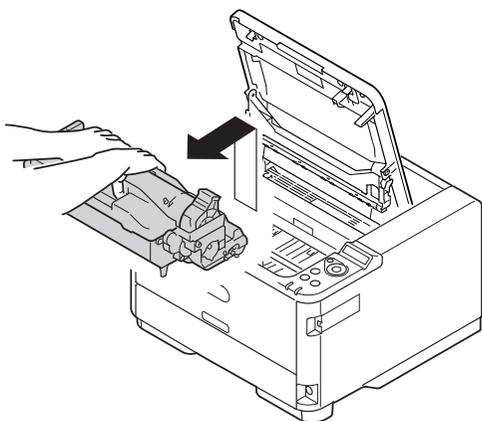
POINT

- ・トナーカートリッジにトナーが残っていれば、今まで使用していたトナーカートリッジを新しいドラムカートリッジに取り付けて使用することができます。

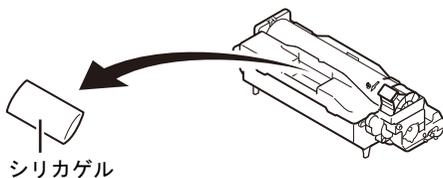
1 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。



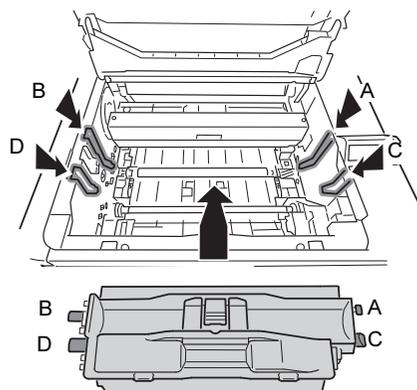
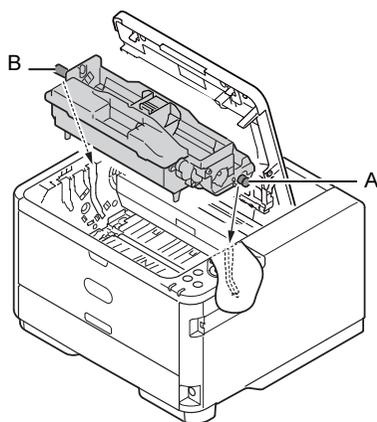
2 プリンタからトナーカートリッジといっしょにドラムカートリッジを取り出します。



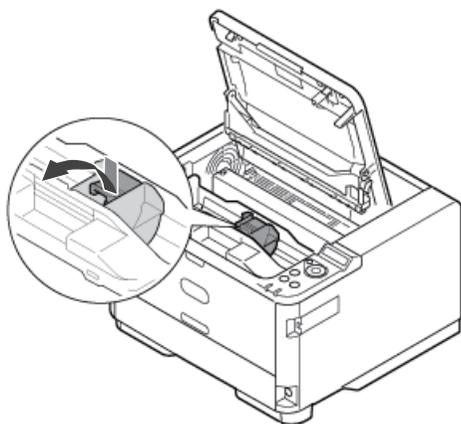
3 包装から新しいドラムカートリッジを取り出し、シリカゲルを取り除きます。



- 4** ドラムカートリッジのピン（A ~ D）と、プリンタ内部の溝（A ~ D）を合わせて、ゆっくりとドラムカートリッジを取り付けます。

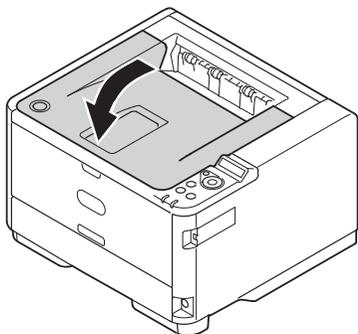


- 5** ドラムカートリッジのトナーカバー（オレンジ色）を、突起部を矢印の方向へ押し、取り外します



- 6** 新しいトナーカートリッジをセットします。
トナーカートリッジのセット方法については、「トナーカートリッジを交換する」（→ P.62）をご覧ください。

7 トップカバーを閉じます



使用済みカートリッジの無償回収サービス

「トナーカートリッジ回収センター」までご連絡ください。回収便にて引き取りに伺います。

- ・株式会社カウネット「トナーカートリッジ回収センター」

<通話料無料> 0120-594-525

月～金：9:00～12:00 および 13:00～17:30

(祝日、株式会社カウネット指定の休日を除く)

回収対象は、富士通製カートリッジまたはカウネットでご購入いただいたレーザープリンタ用のトナーカートリッジ（ドラムカートリッジ含む）のみです。

回収対象外の商品を依頼された場合は、着払いで返却させていただくことがあります。

お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

トナーカートリッジやドラムカートリッジの取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点に注意してください。

- ・ドラムカートリッジを直射日光や強い光（約 1,500lx 以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- ・ドラムカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないように、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- ・寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- ・立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- ・トナーカートリッジやドラムカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できません）。

保管上のご注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- ・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていた袋に入れ、保管してください。
- ・直射日光を避け、次の環境で保管してください。
温度範囲 10～32℃、湿度範囲 15～80%RH（ただし、結露のないこと）
- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- ・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- ・小さなお子様の手が届かない所に保管してください。

5 プリンタを清掃する

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1ヶ月に 1回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時や紙詰まりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠ 注意



・プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



・電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

👉 重要

- ・清掃時には、次の点にご注意ください。
 - ・プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分くらいたって内部の温度が下がってから作業してください。
 - ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形のおそれがあります。
 - ・注油はありません。注油はしないでください。
 - ・トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます）。
 - ・清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は使用しないでください。
 - ・クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。すき間からしみこんだり、プリンタ本体のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。
- ・清掃するときに、塩化ベンザルコニウムを含む消毒薬を使用しないでください。また、製品を取り扱う前の手指消毒は、エタノール系の消毒薬を用いるものとし、塩化ベンザルコニウム成分を含む消毒薬は使用しないでください。手指消毒の後は、手指を十分に乾かしてください。消毒薬が手指に付着した状態では製品に触らないでください。塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

柔らかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水でぬらして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使用して拭きます。水拭き後、から拭きをして水気を充分に取ります。

給紙ローラ／分離ローラを清掃する

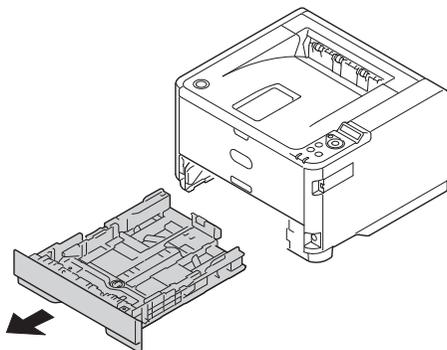
紙粉が多く出て給紙ローラや分離ローラなどが汚れると、紙が重なって送られたり、詰まったりする原因になります。

給紙ローラや分離ローラの清掃方法はどのカセットでも同じです。給紙カセットを例に説明します。

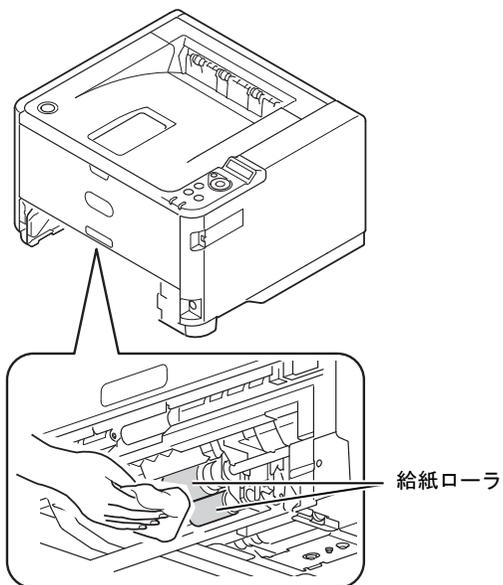
1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

電源の切り方は、「電源の切り方」(→ P.31) をご覧ください。

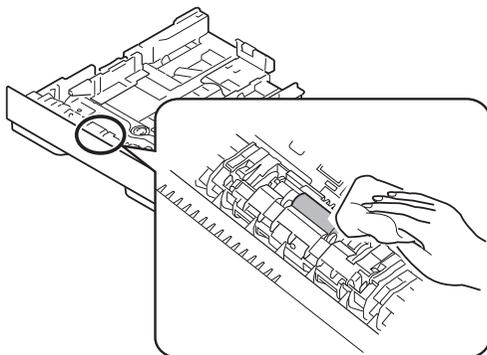
2 給紙カセットをプリンタから引き出します。



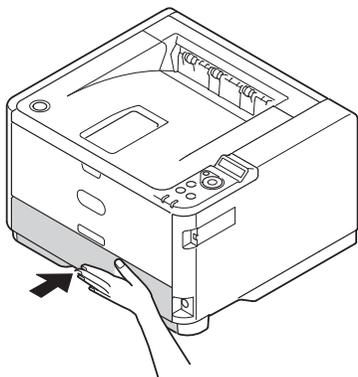
3 水でぬらし固く絞った布で、内部の2個の給紙ローラを回しながら、ローラ全体を拭きます。



4 水でぬらし固く絞った布で、給紙カセットの分離ローラを回しながら、ローラ全体を拭きます。



5 給紙カセットをプリンタへ戻します。



用紙をセットした給紙カセットをプリンタにセットするときは、ゆっくりと入れてください。

給紙カセットを勢いよく入れると、給紙カセットの横ガイドがずれることがあります。

給紙トレイの給紙ローラを清掃する

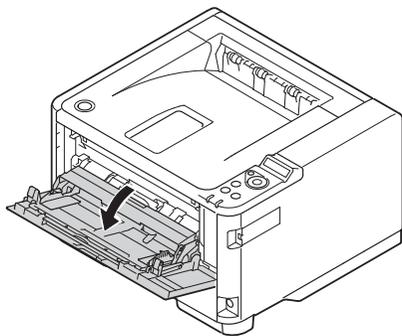
重要

- ・ アルコールや洗剤などは使用しないでください。

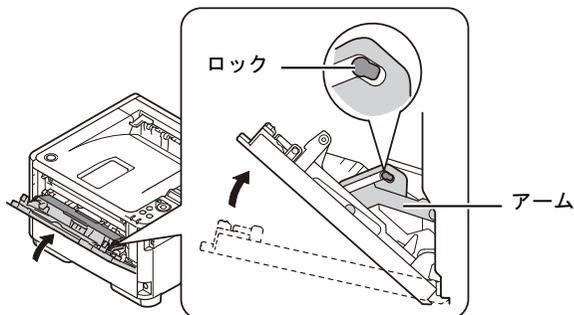
1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

電源の切り方は、「電源の切り方」(→ P.31) をご覧ください。

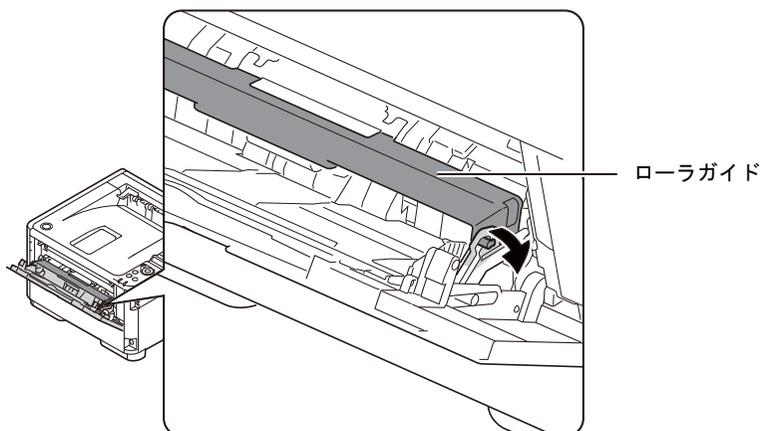
2 給紙トレイを開きます。



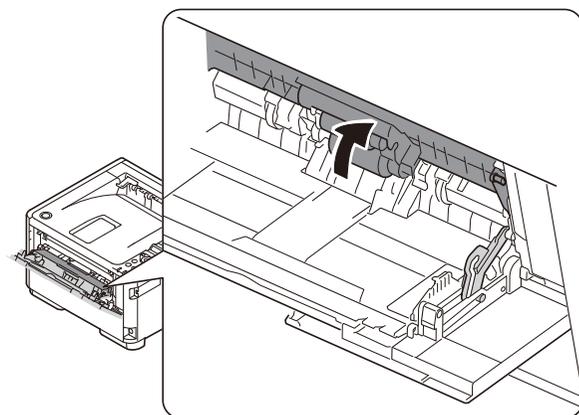
- 3** 左右のロックとアームが離れるよう、給紙トレイを軽く閉じます。



- 4** 左右のアームを外側に開いて、ローラガイドのロックを外します。

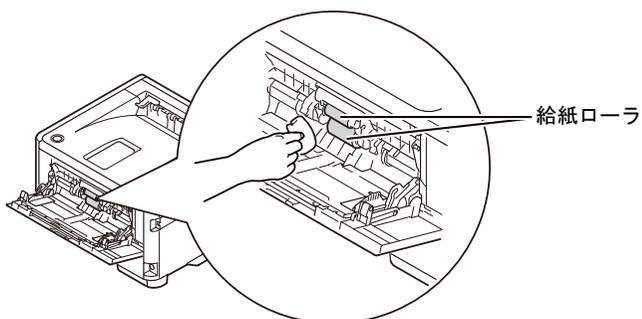


- 5** ローラガイドを上側に持ち上げるように開きます。

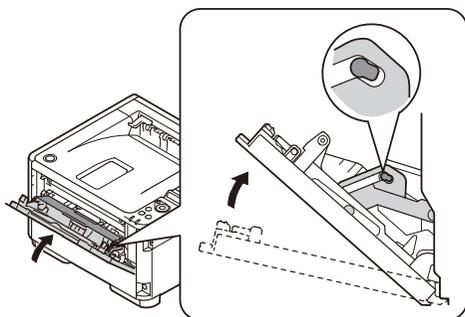


4

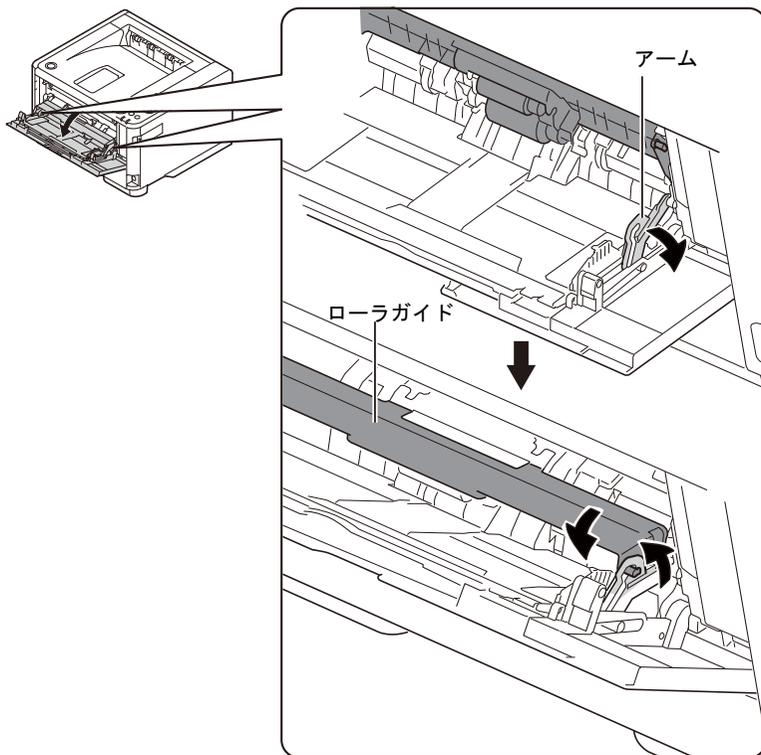
- 6** 水でぬらし固く絞った布で給紙ローラを回しながら、ローラ全体を拭きます。



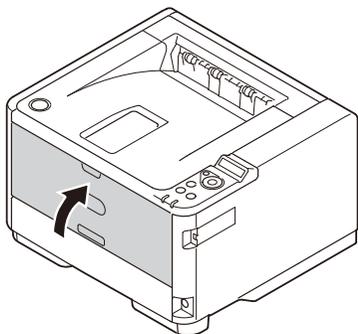
- 7** 給紙トレイを軽く閉じます。



- 8** 左右のアームを外側に開いて、ローラガイドをロックします。



9 給紙トレイを閉じます。



LED ヘッドを清掃する

印刷したときにかすれたり、白いスジが入ったり、文字がにじんだりするときは、柔らかいティッシュペーパーまたは柔らかい布でLEDヘッドを清掃してください。

⚠ 注意

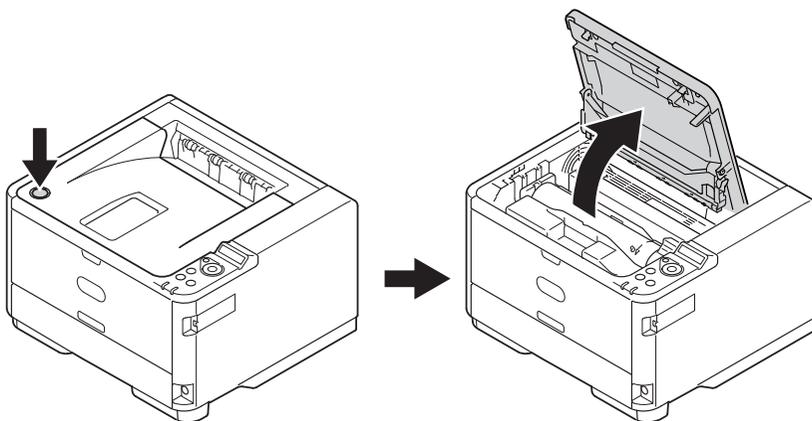


- ・プリンタ本体内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。
- ・LEDヘッドの清掃は、プリンタの電源が切れていて、プリンタ本体が常温である（熱くない）ことを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

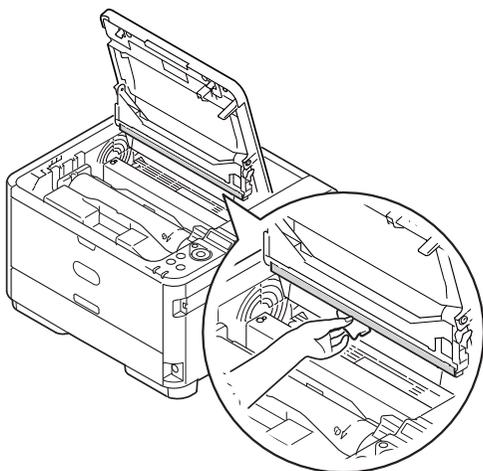
1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

電源の切り方は、「電源の切り方」(→ P.31) をご覧ください。

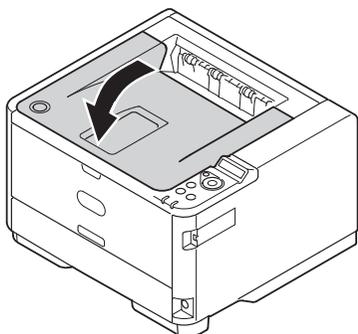
2 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。



- 3** 柔らかいティッシュペーパーまたは柔らかい布で **LED** ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。



- 4** トップカバーを閉じます



重要

- ・ LED レンズの清掃をするときは、周辺の突起物に注意してください。
- ・ 異常画像が発生しますので、LED レンズ面は素手で触らないでください。

電源プラグについて

警告



- ・ 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
 - ・ 電源プラグに焦げ跡がある
 - ・ 電源プラグの刃が変形している
 - ・ 電源コードの芯線の露出、断線などがみられる
 - ・ 電源コードの被膜にき裂、へこみがある
 - ・ 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
 - ・ 電源コードの一部が熱くなる
 - ・ 電源コードが傷んでいる
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

6 プリンタを長時間使用しないとき

1週間以上プリンタを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

警告



・電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 電源スイッチを1秒間押し、オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯し、電源が切れたことを確認します。

電源の切り方は、「電源の切り方」(→ P.31)をご覧ください。

重要

・エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.153)をご覧ください。

2 電源コードを、電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

3 用紙を取り出します。

給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」(→ P.115)をご覧ください。

7 プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

注意



- ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 12kg あります。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。

POINT

- ・拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、拡張給紙ユニットからプリンタ本体を取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷が付かないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくとう便利です。

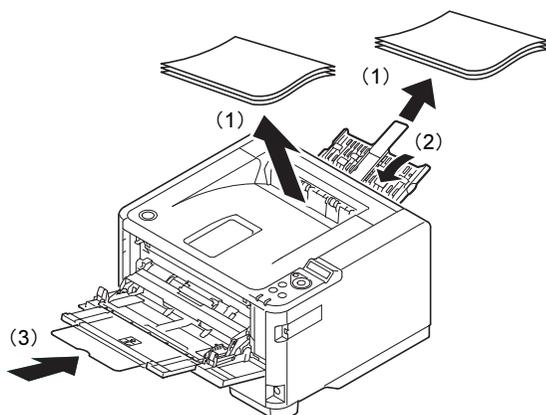
近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、となりの部屋に移動させたりする場合は、次の手順に従ってください。

1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

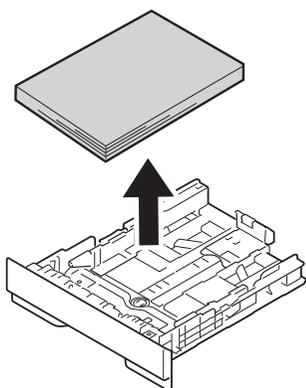
- ・電源スイッチを押し、オペレータパネルの液晶ディスプレイや LED が消灯し、電源が切れたことを確認します。
- ・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- ・LAN ケーブルおよびプリンタ USB ケーブルを外します。

- 2** (1) 排紙先（フェイスダウンスタッカ、フェイスアップスタッカ）に用紙がある場合は用紙を取り除き、(2) フェイスアップスタッカを閉じ、(3) 給紙トレイ延長ガイド、給紙トレイ延長補助ガイドが開いているときは元に戻します。



- 3** 給紙カセットと給紙トレイから用紙を取り除きます。

取り除いた用紙は、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」(→ P.115)をご覧ください。



POINT

- ・用紙の入っている給紙カセットは重いため、注意してプリンタから抜いてください。

- 4** 適切な場所に設置し直します。

設置方法については、『設置ガイド』をご覧ください。

梱包して運搬する

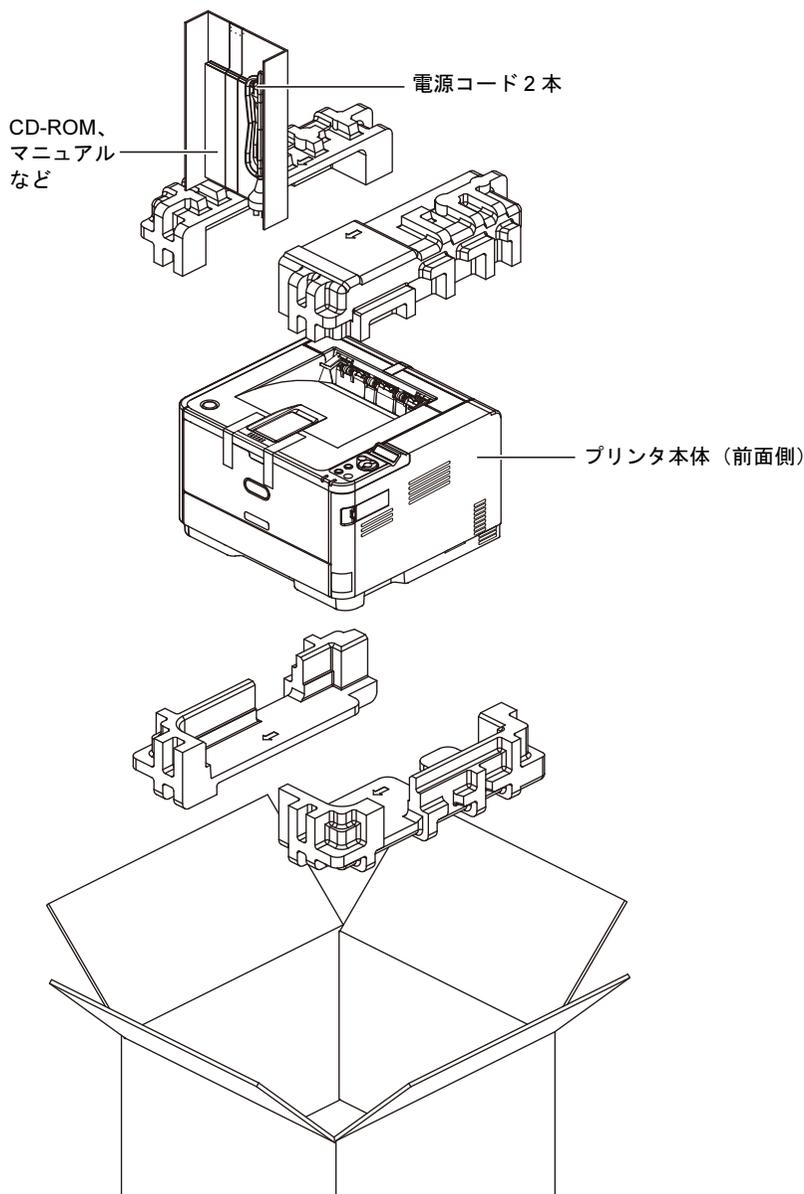
本製品を運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。次の手順に従ってください。

- 1** 「近くに移動する」(→ P.78) をご覧になり、用紙などを取り外します。
- 2** プリンタ本体から、トナーカートリッジとドラムカートリッジを取り外します。

3 次の図のように梱包し直して、運搬します。

精密機械のため、梱包や運搬するときは次の点に注意し、ていねいに取り扱いください。

- ・ 梱包時は、ご購入時に使用していた梱包材を使用してください。



重要

- ・ 運搬のときの振動などで装置内部が汚れた場合は、プリンタを清掃してください。プリンタの清掃については、「プリンタを清掃する」(→ P.70)をご覧ください。
- ・ プリンタ清掃後は、オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れが取れたかどうか確認してください。

5

第 5 章

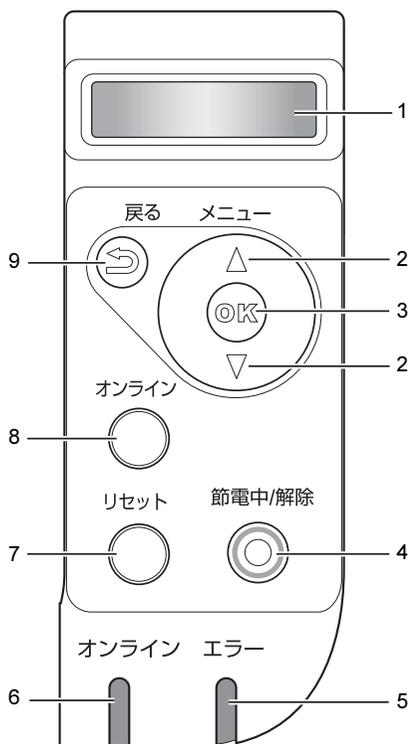
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

1 各部の名称と機能	84
2 液晶ディスプレイの表示内容	86
3 操作方法	89
4 代表的な設定項目とその操作方法	107

1 各部の名称と機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、キー、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。



1 液晶ディスプレイ

プリンタの状態やエラーメッセージが表示されます。

2 メニュー△/▽スイッチ

オフライン中に押すことで、メニューモードを表示します。メニューの表示内容を変更したり、設定値を変更したりするときに使用します。

本書で「△」「▽」と記載されているときは、同方向のスイッチを押します。

3 OK スイッチ

メニューモードのときに設定や選択した値を有効にします。

印刷中にリセットスイッチを押した後、印刷データの削除を確定するときに使用します。

4 節電中 / 解除スイッチ

省電力モード（パワーセーブモード）への移行、解除を行います。

- ・点灯：パワーセーブモード中
- ・点滅（3秒ごと）：スリープモード中
- ・点滅（6秒ごと）：ディープスリープモード中

5 エラーランプ

プリンタの異常を知らせます。

- ・消灯：通常状態です。
- ・点灯：プリンタに警告が発生している状態です。印刷は行えます。

・点滅：プリンタにエラーが発生している状態です。エラーを解除するまで印刷は行えません。

6 オンラインランプ

プリンタの状態を知らせます。

- ・点灯：印刷データを受信できる状態です（オンライン）。
- ・点滅：受信した印刷データの処理中です。
- ・消灯：印刷データを受信できない状態です（オフライン）。

7 リセットスイッチ

押すことで印刷を中断し、印刷データを削除するかどうかの確認メッセージを表示します。

8 オンラインスイッチ

押すごとに「オンライン」「オフライン」状態に切り替えます。メニューモード表示中に押すと「オンライン」になります。

また、液晶ディスプレイに「サイズフィッチ」が表示されている場合に押すと、現在セットされている用紙にて強制的に印刷を行います。

「sss ヲキュウシトレイニイレテオンラインヲオス」あるいは「キュウシトレイヨウシナシ sss ヲイレテオンラインヲオス」と表示されている場合、給紙トレイに用紙をセットした後に押すことで印刷を開始します。

9 戻るスイッチ

メニューモードのときに設定項目や設定値の選択、決定をキャンセルし、前の設定項目や元の設定値に戻ります。

2 液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。

エラーが発生するとエラーランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

POINT

- ・メッセージ（エラーを含む）の表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→P.153）をご覧ください。

電源を入れたときの表示内容

本製品の電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

液晶ディスプレイに表示される主な表示内容

液晶ディスプレイに表示される主な表示内容について説明します。

POINT

ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、次をご覧ください。

- ・「エラーメッセージ一覧」（→P.154）
- ・「警告メッセージ一覧」（→P.157）

液晶ディスプレイに表示される内容		説明
1行目	2行目	
オンライン		オンライン状態です（印刷データを受信可能な状態または受信済中）。
オフライン		オフライン状態です。
ジュシンチュウ		印刷データを受信済中で、印刷処理が開始されていない状態です。
ショリチュウ		印刷データ受信済中または印刷出力中です。
データアリ		印刷データ受信済中または印刷受信バッファにデータが残っている状態です。
インサツチュウ		印刷中です。
	ボタンイ i i i / j j j	部単位印刷中です。i i i は印刷中の部数、j j j は総印刷部数を示します。
	コピー k k k / l l l	コピー印刷中です。k k k は印刷中の枚数、l l l は総印刷枚数を示します。

液晶ディスプレイに表示される内容		説明
1行目	2行目	
リセットジュンビ チュウ		印刷データの削除準備中です。
データ クリア チュウ		印刷データの削除が指示され、印刷データの最後までを受け捨てている状態です。
	テイチャクオンド チョウセイチュウ	定着器のクールダウン動作中です。
	ウォーミング アップ	装置のウォーミングアップ中です。
	パワーセーブ	プリンタの状態が省電力中であることを示します。
	ソウチジュミョウ ノコリ10%	装置の寿命まで残り 10% 以下になったことを示します。
	ソウチジュミョウ	装置が寿命に達したことを示します。
	マモナク トナー キレ	トナーが少なくなった状態です。新品のトナーカートリッジの準備をしてください。
	マモナク ドラム ジュミョウ	ドラムカートリッジの寿命が近づいている状態です。新品のドラムカートリッジの準備をしてください。
	トナー コウカン	トナーカートリッジが空になった状態です。新品のトナーカートリッジに交換してください。 本メッセージは、トナーカートリッジが寿命に達した状態でトップカバーの開閉により印刷を継続したとき、電源を再度入れた後に表示されます。
	トナーカートリッ ジナシ	トナーカートリッジが装着されていない状態です。トナーカートリッジを正しく取り付けてください。
ドラム コウカン	ドラムカートリッジが寿命に達した状態です。新品のドラムカートリッジに交換してください。 本メッセージは、ドラムカートリッジが寿命に達した状態でトップカバーの開閉により印刷を継続したときに表示されます。	
x x x : ドラム/ トナー コウカン	LED ヘッドワ セイソウシテクダ イサイ	ドラムカートリッジが寿命に達した状態です。新品のドラムカートリッジに交換してください。
x x x : ドラム ミソウチャク	ドラムヲ タダシ クセットシテクダ イサイ	ドラムカートリッジが正しくセットされていない状態です。
x x x : トップカ バー オープン	トップカバーヲ トジテクダイサイ	トップカバーが開いている状態です。
x x x : リアカ バー オープン	リアカバーヲ ト ジテクダイサイ	リアカバーが開いている状態です。
シャットダウン チュウ	デンゲンガ キレ ルマデ オマチク ダサイ	プリンタがシャットダウン中の状態です。

省電力モード

省電力モードを設定します。省電力モードとは、一定時間印刷しなかった場合に、自動的に定着器の電源を切るなどの処理を実行することにより、消費電力を節約するための機能です。

プリンタがオンライン状態で一定時間を経過すると、「パワーセーブ」→「スリープモード」→「ディープスリープモード」へと状態が遷移します。

パワーセーブ、スリープモード、ディープスリープモードへの遷移時間はメニューモードの「メニュー」→「システム コウセイ メニュー」→「パワーセーブ イコウジカン」より設定できます。

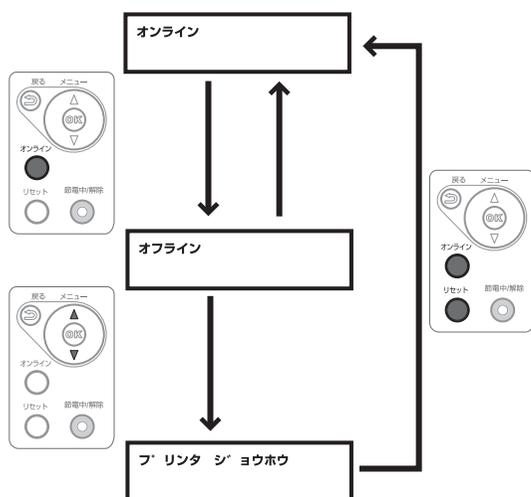
3 操作方法

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

基本的な操作方法

メニューモードにするには、オンラインスイッチを押し、プリンタをオフラインにした後にメニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチを押します。

メニューモードを終了するには、オンラインスイッチまたはリセットスイッチを押します。



メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

POINT

- ・ プリンタがオフライン状態のときに、メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチを押すと、メニューモードに移行します。ただし、印刷中はメニューモードに移行できません。
- ・ 電源を入れてからしばらくたつと、オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されることがありますが、メニューモードに移行できます。
- ・ 「カンリシャヨウ メニュー」はパスワードの入力が必要となります。詳しくは、「オペレータパネルの操作制限」(→ P.113)をご覧ください。

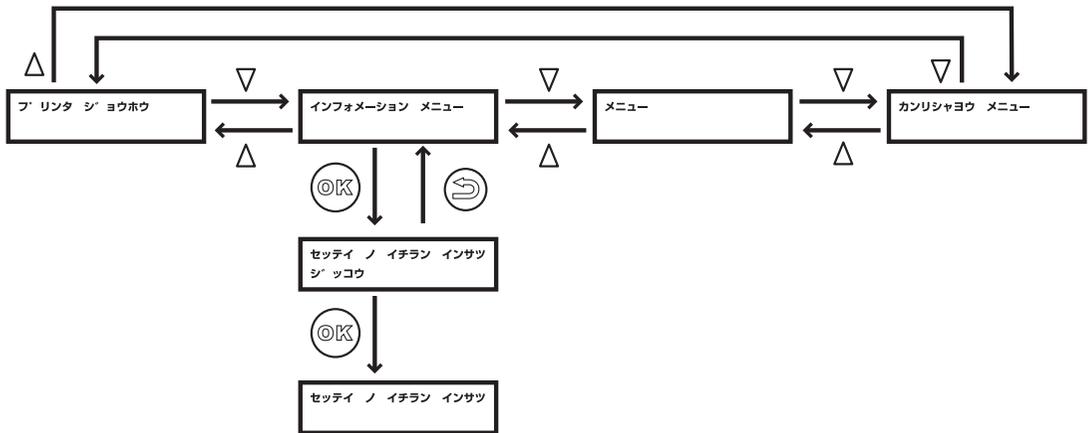
パスワード ニュウリョク

使用するスイッチ

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

スイッチ	説明
メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
OK スイッチ	下のレベルに移動します。表示された値に設定するときや、機能を実行するときにも使用します。
戻るスイッチ	上のレベルに移動します。

■各スイッチによる切り替え例



スイッチの使い分けと設定例

OK スイッチまたは戻るスイッチが桁の移動に対応している場合は、設定値の入力にはメニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチを使用します。

IP アドレスの設定を例に、設定方法を説明します。

- 1** OK スイッチまたは戻るスイッチで、設定する桁にカーソルを移動します。カーソルを移動した桁が点滅します。

IPv4 アドレス			
0.	0.	0.	0

- 2** メニュー△スイッチ（加算）またはメニュー▽スイッチ（減算）で、値を入力します。

メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチを2秒以上押し続けると早送りできます。

IPv4 アドレス			
192.	0.	0.	0

3 OK スイッチを押します。

4 手順 1～3 の操作を繰り返し、すべての桁を設定します。

すべての桁の設定が終了したら、液晶ディスプレイの右端に「*」が表示されます。

IPv4 アドレス
192. 168. 100. 100*

5 オンラインスイッチを押します。

設定が完了します。

重要

- ・「USB メニュー」の項目を設定しても、この時点では反映されません。設定はプリンタの電源を入れ直すことで反映されます。
- ・「ネットワーク メニュー」の項目を変更し、オンラインスイッチまたはリセットスイッチでメニューモードを終了した場合、本製品はリセットされます。

設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧は次のとおりです。設定値に記載された「*」および数値は、ご購入時に登録される初期設定を示します。

各項目を選択して値を設定する方法については、「基本的な操作方法」(→ P.89) をご覧ください。

「カセット 1」は給紙カセット、「カセット 2」は拡張給紙ユニット(オプション)の装着時です。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能(範囲)
プリンタ ジョウホウ	キュウシ カイスウ	キュウシト レイ キュ ウシカイス ウ			nnnnnn	給紙トレイから用紙を給紙した回数を表示します。
		カセット1 キュウシカ イスウ			nnnnnn	給紙カセット 1 から用紙を給紙した回数を表示します。
		カセット2 キュウシカ イスウ[注1]			nnnnnn	給紙カセット 2 から用紙を給紙した回数を(オプションとして取り付けているときのみ)表示します。
	インサツ ページスウ				nnnnnn	プリンタの総印刷ページ数(ただし、紙詰まり時のページ数も含む)を表示します。
	ソウチジュ ミョウカ ウント				nnn%	装置寿命の消耗率を%にて表示します。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
プリンタ ジョウホウ	ショウモウ ヒン ジョ ウホウ	トナー (2.0k/3.0k/7.0k)			100%	トナーの残量を % で表示します。
					90%	
					～	
					20%	
					10% ミマン	
		0%				
		ドラム			0%	ドラムカートリッジの消耗率を % にて表示します。
					10%	
					～	
					90%	
					100%	
					～	
					240%	
					250%	
255%						
ネットワー ク	IPv4 アドレ ス				xxx.xxx.xxx.xx x	IPv4 アドレスを設定します。
	サブネット マスク				xxx.xxx.xxx.xx x	サブネットマスクを設定します。
	ゲートウェ イ				xxx.xxx.xxx.xx x	ゲートウェイを設定します。
	MAC アド レス				xx:xx:xx:xx:xx: xx	MAC アドレスを表示します。
	NETWORK バージョン				xx.xx	ネットワークファームのバージョ ンを表示します。
	IPv6 ローカ ル				xxxx:xxxx:xxx x:xxxx:xxxx:xx xx:xxxx:xxxx	IPv6 アドレス（ローカル）を設定 します。ただし、「カンリシャヨ ウメニュー」→「ネットワークメ ニュー」→「TCP/IP」の設定が無 効のときは表示されません。
	IPv6 グロー バル				xxxx:xxxx:xxx x:xxxx:xxxx:xx xx:xxxx:xxxx	IPv6 アドレス（グローバル）を設 定します。ただし、「カンリシャ ヨウメニュー」→「ネットワーク メニュー」→「TCP/IP」の設定が 無効のときは表示されません。
システム ジョウホウ	プリンタ シリアル バンゴウ				XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX	装置の製造号機を表示します。
	プリンタ カンリ バ ンゴウ				XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXX	お客様のプリンタ管理用に使用で きる管理番号が設定できます。最 大 32 文字の英数字が使用できま す。
	FW バー ジョン				xxx.xx_x_x	ファームの総合バージョンを表示 します。
	CU バー ジョン				xx.xx	コントローラファームのバージョ ンを表示します。
	PU バー ジョン				xx.xx.xx	エンジンコントローラファームの バージョンを表示します。
	RAM ジョ ウホウ				xxMB	RAM 容量を表示します。
	フラッシュ メモリ ジョウホウ				xxMB [Fxx]	フラッシュメモリ容量を表示しま す。

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
インフォメーションメニュー	セッテイ ノ イチラ ン インサ ツ				ジッコウ	現在の設定内容を印刷します。
	ネットワー ク				ジッコウ	現在のネットワーク設定内容を印刷します。
	5%サンプル インサツ	DEMO1 ...			ジッコウ	印字濃度 5% のサンプルを印刷します。
	T E X T モ ー ド フ ォ ン ト イ ン サ ツ				ジッコウ	ESC/P のフォントリストを印刷します。
	シュウケイ ケ ッ カ イ ン サ ツ				ジッコウ	累計印刷ページ数を印刷します。
	エラーログ インサツ				ジッコウ	エラーログを印刷します。
メニュー	ヨウシ メ ニュー	キュウシト レイ セッ テイ	ヨウシサイ ズ		* A4	給紙トレイにセットする用紙のサイズを指定します。
					A5	
					A6	
					B5	
					リーガル	
					レター	
					ユウビンハガキ	
					ユウビンオウ フクハガキ	
					フウトウナガ ガタ 3 ゴウ	
					フウトウナガ ガタ 4 ゴウ	
					フウトウヨウ ガタ 4 ゴウ	
					ユーザーテイ ギサイズ	
			ヨウシサイ ズ ハバ [注2]		3.4inch	給紙トレイにセットする用紙の幅を指定します。
					～	
					* 8.3inch	
					～	
					8.5inch	
					86mm	
					～	
		* 210mm				
		～				
		216mm				

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
メニュー	ヨウシメニュー	キュウシトレイセットイ	ヨウシサイズ ナガサ [注2]		5.5inch	給紙トレイにセットする用紙の長さを指定します。
					～	
					* 11.7inch	
					～	
					14.0inch	
					～	
				52.0inch		
					140mm	
					～	
					* 297mm	
					～	
					356mm	
		～				
		ヨウシフルイ		ウスイカミ	ウスイカミ	給紙トレイにセットする用紙の種類を指定します。
					* フツウシ	
					ヤヤアツイカミ	
					アツイカミ	
					ヨリアツイカミ	
					ゴクアツイカミ	
		ラベルシ				
		トレイノツカイカタ			トレイ トシテ	給紙トレイの使い方を指定します。 ・「トレイとして」 (トレイ選択/切り替え) 通常のトレイとして使用します。 ・「用紙違いのとき」 用紙違い(トレイの用紙サイズ、用紙種類が印刷データと不一致)が発生した場合、指定カセットではなく、給紙トレイから印刷します。 ・「使用しない」 給紙トレイを使用不可とします。
					* ヨウシチガイノトキ	
					シヨウシナイ	
		カセット1セッテイ		ヨウシサイズ		* A4
A5						
A6						
B5						
リーガル						
レター						
ユーザーティギサイズ						

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
メニュー	ヨウシメニュー	カセット1 セッテイ	ヨウシサイ ズ ハバ [注2]		3.9inch	給紙カセット 1 にセットする用紙の幅を指定します。
					～	
					* 8.3inch	
					～	
					8.5inch	
					100mm	
			～			
			* 210mm			
			～			
			216mm			
			～			
			216mm			
		ヨウシサイ ズ ナガサ [注2]		5.8inch	給紙カセット 1 にセットする用紙の長さを指定します。	
						～
						11.0inch
						～
						* 11.7inch
						～
			14.0inch			
			148mm			
			～			
			279mm			
			～			
			* 297mm			
～						
356mm						
ヨウシシ ュルイ		ウスイカミ	給紙カセット 1 にセットする用紙の種類を指定します。			
				* フツウシ		
				ヤヤアツイカ ミ		
				アツイカミ		
				ヨリアツイカ ミ		
カセット2 セッテイ [注1]	ヨウシサイ ズ		給紙カセット 2 にセットする用紙のサイズを指定します。			
				* A4		
				A5		
				B5		
				リーガル		
				レター		
				ユーザーテイ ギサイズ		

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
メニュー	ヨウシメニュー	カセット2 セッテイ [注1]	ヨウシサイ ズ ハバ [注2]		5.8inch	給紙カセット2にセットする用紙の幅を指定します。
					～	
					* 8.3inch	
					～	
					8.5inch	
					148mm	
			～			
			* 210mm			
			～			
			216mm			
			～			
			ヨウシサイ ズ ナガサ [注2]		8.3inch	
		～				
		11.0inch				
		～				
		* 11.7inch				
		～				
		14.0inch				
		210mm				
		～				
		279mm				
		～				
		* 297mm				
		～				
356mm						
ヨウシユ ルイ			ウスイカミ	給紙カセット2にセットする用紙の種類を指定します。		
					* フツウシ	
					ヤヤアツイカ ミ	
					アツイカミ	
キュウシグ チ			キュウシトレ イ	用紙を給紙するカセット、トレイを決定します。		
					* カセット1	
					カセット2	
キュウシグ チ キリカ エ				* オン	カセット1とカセット2(オプション)に同じ用紙をセットしている場合に、片方のカセットの用紙が空になったときに、もう片方のカセットから自動的に給紙を継続するかどうかを設定します。	
				オフ		
リョウメン サイシュ ウページ				* ハクシスキッ プ	印刷データが奇数ページのととき、最終ページを両面とするかどうかを設定します。	
				ジョウジン サツ		

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）	
メニュー	システム コウセイ メニュー	パワーセーブ イコウ ジカン			* 1 フン	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。 エラー発生中でもパワーセーブモードに移行します。	
					5 フン		
					10 フン		
					15 フン		
					30 フン		
					60 フン		
					120 フン		
					240 フン		
		スリープ イコウジカン				* 1 フン	パワーセーブモードからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。起点は、パワーセーブモードとなった時点です。 ただし、下記条件では、スリープモードへ移行しません。 ・ネットワークが 1000Base-T Full/Half スピードで動作中 エラーが発生している場合
						5 フン	
						10 フン	
						15 フン	
						30 フン	
						60 フン	
						120 フン	
						240 フン	
		オート パワー オフ ジカン				1 ジカン	一定時間、印刷動作が行われなかったときに、電源をオフする時間を設定します。
						2 ジカン	
						3 ジカン	
						* 4 ジカン	
						8 ジカン	
						12 ジカン	
						18 ジカン	
						24 ジカン	
エコモード				* オン	<ul style="list-style-type: none"> ・「オン」に設定した場合 1～2 枚の印刷の場合、定着器の温度が規定温度に達していなくても印刷を開始します。 ・「オフ」に設定した場合 定着器の温度が規定温度に達してから、印刷を開始します。 		
				オフ			
ワーニング カイジョ				* オンライン	クリア可能な警告メッセージの表示を消去するタイミングを設定します。		
				ジョブ			

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）	
メニュー	システム コウセイ メニュー	タイムアウト インサ ツ			オフ	ジョブデータを受信しなくなっ てから強制印刷を行うまでの時間を 設定します。	
					5 ビョウ		
					10 ビョウ		
					20 ビョウ		
					30 ビョウ		
					* 40 ビョウ		
					50 ビョウ		
					60 ビョウ		
					90 ビョウ		
					120 ビョウ		
					150 ビョウ		
					180 ビョウ		
					210 ビョウ		
					240 ビョウ		
					270 ビョウ		
	300 ビョウ						
	ポートカイ ホウ ロー カル					0 ビョウ	ローカル印刷完了後、設定した開 放時間を経過すると、すべての ポートからの印刷が可能となりま す。
						5 ビョウ	
						～	
						* 40 ビョウ	
						～	
						290 ビョウ	
						295 ビョウ	
	300 ビョウ						
	ポートカイ ホウ ネット ワーク					0 ビョウ	ネットワーク印刷完了後、設定し た開放時間を経過すると、すべて のポートからの印刷が可能となり ます。
						5 ビョウ	
						～	
						* 90 ビョウ	
						～	
						290 ビョウ	
						295 ビョウ	
	300 ビョウ						
	ト ナ ー ジュンビ					* ケイゾク	トナーロー検出時のプリンタ動作 を設定します。 ・ 継続 オンラインのまま印刷継続が 可能になります。 ・ 停止 オフラインとなります。
						テイシ	
	ジャム リ カバリ					* オン	紙詰まり解除後にリカバリ印刷を 行うかどうかを設定します。 ・ オン 紙詰まりが発生したページから 印刷を再開します。 ・ オフ 最初のページから印刷を再開し ます
						オフ	

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）				
メニュー	システム コウセイ メニュー	エラー レ ポート				オン	内部エラーの発生時に、エラーレ ポートを印刷するかどうかを設定 します。			
					*	オフ				
	プリント チョウセイ メニュー	インサツ イチ ホセ イ			キュウシト レイ	X ホセイ	*	0.00mm	給紙トレイから給紙した用紙に対 して、印刷イメージ全体の印刷位 置を用紙の走行方向に対して垂直 な方向に補正します（0.25mm 間 隔）。	
								+0.25mm		
								～		
								+2.00mm		
								-2.00mm		
								～		
						Y ホセイ	*	0.00mm		給紙トレイから給紙した用紙に対 して、印刷イメージ全体の印刷位 置を用紙の走行方向に補正します （0.25mm 間隔）。
								+0.25mm		
								～		
								+2.00mm		
								-2.00mm		
								～		
						リョウメン インサツ X ホセイ	*	0.00mm		給紙トレイから給紙した用紙に対 して、両面印刷時の印刷イメージ 全体の印刷位置を用紙の走行方向 に対して垂直な方向に補正します （0.25mm 間隔）。
								+0.25mm		
								～		
								+2.00mm		
								-2.00mm		
								～		
	リョウメン インサツ Y ホセイ	*			0.00mm	給紙トレイから給紙した用紙に対 して、両面印刷時の印刷イメージ 全体の印刷位置を用紙の走行方向 に補正します（0.25mm 間隔）。				
					+0.25mm					
					～					
					+2.00mm					
					-2.00mm					
					～					
	カセット 1					X ホセイ	*	0.00mm	カセット 1 から給紙した用紙に対 して、印刷イメージ全体の印刷位 置を用紙の走行方向に対して垂直 な方向に補正します（0.25mm 間 隔）。	
								+0.25mm		
								～		
								+2.00mm		
			-2.00mm							
			～							
Y ホセイ			*	0.00mm		カセット 1 から給紙した用紙に対 して、印刷イメージ全体の印刷位 置を用紙の走行方向に補正します （0.25mm 間隔）。				
				+0.25mm						
				～						
				+2.00mm						
				-2.00mm						
				～						
	-0.25mm									

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）		
メニュー	プリント チョウセイ メニュー	インサツ イチ ホセイ	カセット 1	リョウメン インサツ X ホセイ	*	0.00mm	カセット 1 から給紙した用紙に対して、両面印刷時の印刷イメージ全体の印刷位置を用紙の走行方向に対して垂直な方向に補正します（0.25mm 間隔）。	
						+0.25mm		
						～		
						+2.00mm		
						-2.00mm		
						～		
					-0.25mm			
				リョウメン インサツ Y ホセイ	*	0.00mm		カセット 1 から給紙した用紙に対して、両面印刷時の印刷イメージ全体の印刷位置を用紙の走行方向に補正します（0.25mm 間隔）。
						+0.25mm		
						～		
						+2.00mm		
						-2.00mm		
					～			
				-0.25mm				
			カセット 2 [注 1]	X ホセイ	*	0.00mm	カセット 2 から給紙した用紙に対して、印刷イメージ全体の印刷位置を用紙の走行方向に対して垂直な方向に補正します（0.25mm 間隔）。	
						+0.25mm		
						～		
						+2.00mm		
						-2.00mm		
						～		
					-0.25mm			
				Y ホセイ	*	0.00mm	カセット 2 から給紙した用紙に対して、印刷イメージ全体の印刷位置を用紙の走行方向に補正します（0.25mm 間隔）。	
						+0.25mm		
						～		
	+2.00mm							
	-2.00mm							
	～							
	-0.25mm							
リョウメン インサツ X ホセイ	*	0.00mm	カセット 2 から給紙した用紙に対して、両面印刷時の印刷イメージ全体の印刷位置を用紙の走行方向に対して垂直な方向に補正します（0.25mm 間隔）。					
		+0.25mm						
		～						
		+2.00mm						
		-2.00mm						
		～						
	-0.25mm							
リョウメン インサツ Y ホセイ	*	0.00mm	カセット 2 から給紙した用紙に対して、両面印刷時の印刷イメージ全体の印刷位置を用紙の走行方向に補正します（0.25mm 間隔）。					
		+0.25mm						
		～						
		+2.00mm						
		-2.00mm						
		～						
	-0.25mm							

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）	
メニュー	プリント チョウセイ メニュー	フツウシ クロ セッ ティング			* 0	温度差による印字のバラツキを補正します。かすれる場合に値を変更します。	
					+1		
					+2		
					+3		
					-3		
					-2		
					-1		
		インサツノ ウド				* 0	印刷濃度を設定します。
						+1	
						+2	
						-2	
		SMR セッ ティング				* 0	湿度環境および印刷濃度、印刷頻度の差による印刷結果のバラツキを補正します。画質にムラがある場合に設定を変更します。
						+1	
						+2	
	+3						
	-3						
	BG セッ ティング				* 0	湿度環境および印刷濃度、印刷頻度の差による印刷結果のバラツキを補正します。地カブリが目立つ場合に値を変更します。	
					+1		
					+2		
					+3		
					-3		
					-2		
	ドラム ク リーニング				オン	紙粉などの影響により、印刷結果に横白スジが発生する現象を軽減するため、印刷開始前にドラムの空回しを行うかどうかを設定します。ただし、空回しによりドラムの寿命が短くなります。	
					* オフ		
	タシツ セ イギョ				* オフ	多湿環境に応じた印刷モードの設定を行います。 ・モード0 湿気を吸って用紙カールが大きい場合に設定します。 ・モード1 A5用紙など幅の狭い用紙の連続印刷を行ったときの定着性の安定化を図ります。 ・モード2 A5用紙連続印刷時、湿気を吸ってこするとトナーが取れるときに設定します。 ・モード3 普通紙連続印刷時、こするとトナーが取れるときに設定します。	
					モード0		
					モード1		
					モード2		
モード3							
セイオン セイギョ				オン	印刷動作音を低減するため、低速にて印刷します。		
				* オフ			

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）	
メニュー	プリント チョウセイ メニュー	HEX ダン プ [注 5]			ジッコウ	印刷データを16進数のダンプデータとして印刷します。	
カンリシャ ヨウ メ ニュー [注 4]	ネットワー ク メ ニュー	TCP/IP			* ユウコウ	TCP/IP プロトコルの有効、無効を設定します。	
					ムコウ		
		DHCP ジド ウシュトク [注 5]			* ジドウ	IP アドレスの設定方法を設定します。ただし、「TCP/IP」の設定が有効時に限ります。	
					シユドウ		
		IPv4 アドレ ス [注 5]				xxx.xxx.xxx.xx x	IP アドレスを設定します。ただし、「TCP/IP」の設定が有効時に限ります。
		サブネット マスク [注 5]				xxx.xxx.xxx.xx x	サブネットマスクを設定します。ただし、「TCP/IP」の設定が有効時に限ります。
		ゲートウェ イ [注 5]				xxx.xxx.xxx.xx x	ゲートウェイアドレスを設定します。ただし、「TCP/IP」の設定が有効時に限ります。
		Web [注 5]				* ユウコウ	WEB の有効、無効を設定します。ただし、「TCP/IP」の設定が有効時に限ります。
						ムコウ	
		SNMP [注 5]				* ユウコウ	SNMP の有効、無効を設定します。ただし、「TCP/IP」の設定が有効時に限ります。
						ムコウ	
		ネットワー クノキボ				* フツウ	<ul style="list-style-type: none"> 「フツウ」 スパニングツリー機能をもつハブに接続しているときでも、プリンタは効果的に動作します。ただし、パソコンが2、3台の小規模な LAN に接続されていると、プリンタの起動時間は長くなります。 「ショウキボ」 パソコンが2、3台の小規模な LAN から大規模LANまでカバーできますが、スパニングツリー機能をもつハブに接続しているときは効率的に動作しないことがあります。
						ショウキボ	
ギガビット ネット ワーク					ユウコウ	ギガビットネットワークのサポートを設定します。無効にした場合、1000Base-T Full/Half の接続ができません。 なお、「有効」に設定されている場合、1000Base-T Full/Half の高速スピードでの接続が可能となりますが、この環境で運用されている状態では、スリープモードには切り替わりません。	
				* ムコウ			
Ethernet タイ プ					* ジドウ	ハブとのリンク方法を設定します。ジドウに設定すると、すべてのハブに対して自動的に接続方法を選択して接続を試みます。	
					100BASE-TX FULL		
					100BASE-TX HALF		
					10BASE-T FULL		
					10BASE-T HALF		
ネットワー ク ショキ カ					ジッコウ	ネットワークメニューの初期化を行います。	

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）	
カンリシャ ヨウメ ニュー [注4]	USB メ ニュー [注6]	USB			* ユウコウ	USB インターフェースの有効、無効を設定します。	
					ムコウ		
		SPEED			* 480Mbps	USB インターフェースの最大転送速度を設定します。	
					12Mbps		
	ソフト リ セット			ユウコウ	ソフトリセットコマンドの有効、無効を設定します。		
				* ムコウ			
	シリアルナンバ			* ユウコウ	USB シリアルナンバーの有効、無効を指定します。USB シリアルナンバーは、パソコンが接続されているUSBデバイスを識別するために使用されます。		
				ムコウ			
	インサツ メニュー	エミュレー ション			* ジドウ	受信するプリンタ言語を選択します。 ・「ジドウ」 受信する言語に合わせて設定を自動的に変更します。 ・「WIN」 本製品の専用プリンタドライバから送信されるデータのみを受信します。	
					WIN		
					TEXT		プリンタ言語を TEXT モードに設定します。TEXT モードでは、DOS アプリケーションから送信される TEXT 系データ（ESC/P 相当）と、本製品の専用プリンタドライバから送信される印刷データの両方を印刷できます。ただし、印刷途中にプリンタの電源を切って入れ直したり、印刷をキャンセルしたりすると文字化けします。
		コピー マ イスウ				* 1	コピー枚数を設定します。
						～	
						999	
		リョウメン インサツ				オン	両面印刷を指定します。
						* オフ	
リョウメン トジカタ					* ヨコトジ	両面印刷時のとじ方を指定します。	
					タテトジ		
ヨウシナガ サ チェッ ク				* ユウコウ	印刷データの用紙サイズとカセットの用紙長さの不整合をチェックするかどうかを設定します。定型サイズの用紙のみがチェック対象です。		
				ムコウ			
A4/レター オキカエ				イイエ	・プリンタドライバの設定がA4サイズで、プリンタに A4 用紙がセットされていない場合 もし、レター用紙が存在すれば、そのトレイから印刷します。 ・プリンタドライバの設定がレターサイズで、プリンタにレター用紙がセットされていない場合 もし、A4 用紙が存在すれば、そのトレイから印刷します。		
				* ハイ			
トナーセー プ [注7]				ユウコウ	トナーセーブの有効、無効を設定します。		
				* ムコウ			
インサツ ホウコウ				* タテ	印刷方向を設定します。		
				ヨコ			

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）		
カンリシャ ヨウメ ニュー [注4]	インサツ メニュー	1 ページ ギョウスウ			5 ギョウ	1 ページに印字可能な行数を設定 します。給紙トレイ、給紙カセット にセットされている用紙サイズ に連動して値が変化します。		
					～			
					60 ギョウ			
					～			
					* 64 ギョウ			
					～			
	128 ギョウ							
		TEXT モー ドメ ニュー	カンジ フォント			* ジドウ	使用する漢字書体を設定します。 内蔵フォントは平成明朝と平成角 ゴシックの2種類です	
						ミンチョウ		
						カクゴシック		
			ANK フォン ト			* ジドウ	使用する ANK 書体を選択します。 内蔵フォントはローマンとサンセ リフの2種類です。	
						ローマン		
						サンセリフ		
			シンボル セット			* カタカナ	ANK 文字コード表の拡張グラ フィック、カタカナコードを設定 します。	
						グラフィック		
			ZERO CHARACTE R			* ノーマル	ANK のゼロ文字 (0) に対して、ス ラッシュの有無を設定します。	
						SLASHED		
			シュクショ ウインサ ツ				* トウバイ	用紙の縮小方法を設定します。
							A4x2->A4	
							B4->A4	
							15 インチ->A4	
			アタマダシ イチ				5mm	印刷の書き出し位置を設定しま す。実際の印刷位置は ±2mm 程度 の範囲で変化することがあります。
							* 8.5mm	
							22mm	
		ヨコ オフ セット				-1.0mm	全体の印刷位置を 0.5mm 単位で横 方向に補正します。プラス方向に 設定すると印刷位置を右に補正し ます。	
						～		
* 0.0mm								
～								
タテ オフ セット					-15.0mm	全体の印刷位置を 0.5mm 単位で縦 方向に補正します。プラス方向に 設定すると印刷位置を上へ補正し ます。		
					～			
					* 0.0mm			
					～			
ミギマー ジ					* ヨウシハバ	右余白を設定します。 用紙幅を選択した場合は、使用す る用紙の印刷可能領域となります。 136 桁と選択した場合は、用紙サイ ズに関係なく 136 桁 (13.6 インチ) となり、用紙の印刷可能領域を越 える印刷データを切り捨てます。		
	136 ケタ							
CR ドウサ				* CR ノミ	CR コード受信時の動作を設定し ます。			
				CR+LF				
オートフッ カイキノ ウ				* CR+LF	右余白を越える文字がある場合の 動作を設定します。			
				ムコウ				

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）		
カンリシャ ヨウメ メニュー [注4]	パネルメ ニュー	ニアライフ ステータ ス			* ユウコウ	ドラムカートリッジが寿命に近づいたときに警告をオペレータパネルに表示するかどうかを設定します。ただし、一度寿命となり、カバー開閉で一時復旧動作中は対象外です。		
					ムコウ			
		ニアライフ LED					* ユウコウ	ドラムカートリッジが寿命に近づいたときにLEDを点灯させるかどうかを設定します。ただし、一度寿命となり、カバー開閉で一時復旧動作中は対象外です。
							ムコウ	
	デンリョク メニュー	オートパ ワーオフ				ユウコウ	オートパワーオフの動作を設定します。 ・「ユウコウ」 LAN 接続、USB 接続の場合、共にオフモードに移行します。 ・「ジドウセッテイ」 LAN 接続している場合はオフモードに移行しません。USB 接続の場合はオフモードに移行します。 ・「ムコウ」 時間経過によるオフモード移行を無効とします。	
						* ジドウセッ テイ		
						ムコウ		
	デンゲン フッキュウ					* シュドウ	停電復旧後の電力供給方法を設定します。	
						ケイゾク		
	トレイメ ニュー	ユーザテイ ギサイズ				inch	不定形サイズ用紙の幅、長さの単位を設定します。	
						* mm		
		デフォルト ヨウシサイ ズ					* A4	デフォルト用紙サイズを設定します。
レター								
ソノタノ メニュー	ブザー				オフ	アラームの発生時にブザーを鳴らすかどうかを設定します。		
					* オン			
	フラッシュ セッテイ	フラッシュ ショキカ				ジッコウ	フラッシュメモリを初期化します。	
		フォーマッ ト				* PCL COMMON	フラッシュメモリをフォーマットします。	
	ストレージ セッテイ	ショキカ ジッシカ ノウ				* イイエ	フラッシュメモリの初期化に伴う設定変更を許可するかどうかを設定します。	
						ハイ		
	フォント セッテイ	シュツリョ クモード				JIS90 ジタイ	フォントの出力モードを設定します。	
						* JIS2004 ジタイ		
	ジョブ キャンセル セッテイ	キャンセル ボタン ノウサ				* ミジカイ	印刷ジョブをキャンセルするときのリセットスイッチを押したときの動作を設定します。 ・「ミジカイ」 短押し（2秒以下）で印刷ジョブのキャンセルを実行します。 ・「ナガイ」 長押し（2～5秒）で印刷ジョブのキャンセルを実行します。 ・「オフ」 リセットスイッチを押しても印刷ジョブをキャンセルしません。	
						ナガイ		
オフ								

表：設定項目一覧

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層	第五階層	設定値	機能（範囲）
カンリシャ ヨウメニュー [注4]	ソノタノ メニュー	ジョブ キャンセル セッテイ	トイアワセ ノヒョウ ウジ		* オン	印刷ジョブをキャンセルするときの問い合わせをオペレータパネルに表示するかどうかを設定します。 ・「オン」 問い合わせ画面を表示します。 ・「オフ」 問い合わせ画面を表示せずに印刷ジョブをキャンセルします。
					オフ	
			フォーカス ノイチ		* ハイ	印刷ジョブのキャンセルの問い合わせ画面の選択肢の「ハイ」、「イエ」のどちらをデフォルトにするかを設定します。
					イエ	
			ヒョウジ タイムアウト		60	印刷ジョブのキャンセルの問い合わせをオペレータパネルに表示する時間を設定します。タイムアウトした場合は、キャンセル操作を無効として印刷を実行します
					～	
					* 180	
					～	
				300		
			セッテイチ	セッテイ シヨキカ		
パスワード ヘンコウ メニュー	アタラシイ パスワード				*****	パスワードを変更できます。新しいパスワードを入力します。
	パスワード サイニュ リョク				*****	新しいパスワードを再度入力します。

注1： 拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けている場合にのみ、表示されます。

注2： サイズの指定時は、「幅×長さ」となるようにしてください。

注3： 本機能を実行する場合は、プリンタドライバの設定で双方向通信を無効に設定してください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

注4： 管理者メニューにつき、選択時はパスワードの入力が必要です。

注5： 「カンリシャヨウメニュー」の「ネットワークメニュー」の「TCP/IP」を「ムコウ」に設定している場合は、表示されません。

注6： 設定を有効にするには、プリンタの電源を切り、入れ直す必要があります。

注7： トナーセーブ率は、印刷データの内容によって変わります。なお、プリンタドライバの「印刷オプション」タブで「トナーセーブする」設定を行った場合も、同じ条件となります。

4 代表的な設定項目とその操作方法

ここでは、オペレータパネルで行える、代表的な機能の設定方法や操作方法について説明します。

設定内容の印刷

プリンタおよび LAN ポートの、現在の設定内容の一覧を印刷します。設定の一覧は、メニューモードの「インフォメーション メニュー」→「セッテイノ イチラン インサツ」で印刷します。

■印刷例

設定内容 XL-4405

装置機種:LD
Firmware version:F01.10_0_4 CU version:F1.10 [101.16 U00.37 56.01.1c 801.09 L01.07 ARM 66 F65]
PU version:00.F1.01 [P103.20 L000.00.00] ET:0100A804 04050613 31230500 41000001 80E00000 00000000 K-0
Program version:06.23 [04.34 X05.16]
メモリ容量512 MB
両面印刷:installed カセット1:A4
LCD:T1 PNL:T1
Network version:F0.03 Internet Service:F0.13 IM version:01.05
ENGINE:7 K:7, T:0 I:0, D:9 W:1186
EMBEDDED LANGUAGE VERSION:1.00
DOWNLOADED LANGUAGE VERSION:1.03
Language:JAPANESE

<p>プリンタ情報</p> <p>給紙回数 給紙トレイ給紙回数: 0 カセット1給紙回数: 7 総印刷ページ数: 7 装置寿命カウンタ: 0 % 消耗品情報 トナー (2.0K): 残り 100 % ドラム: 使用量 0 %</p> <p>ネットワーク</p> <p>IPv4 アドレス: 192.168.100.100 サブネットマスク: 255.255.255.0 ゲートウェイ: 0.0.0.0 MACアドレス: 00:25:36:91:48:29 Network FRバージョン: F0.03 IPv6 アドレス (ローカル): fe80:0000:0000:0000:0225:36ff:fe91:4b29 IPv6 アドレス (グローバル): 0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000</p> <p>システム情報 プリンタ管理番号:</p> <p>インフォメーション メニュー 設定の一覧印刷 ネットワーク S&Sサンプル印刷 TEXTモードフォント印刷 集計結果印刷 エラーログ印刷</p> <p>メニュー</p> <p>用紙メニュー 給紙トレイ設定 用紙サイズ: A4 用紙種類: 普通紙 トレイの使い方: 用紙違いの時 カセット1設定 用紙サイズ: A4 用紙種類: 普通紙 給紙口: カセット1 給紙口切替え: オン 両面紙検出ページ: 白紙スキップ</p> <p>システム構成メニュー パワーセーブ移行時間: 1分 スリープ移行時間: 1分 オートパワーオフ移行時間: 4時間 エコモード: オン ワーニング解除: オンライン タイムアウト印刷: 40秒 ポート開放 ローカル: 40秒 ポート開放 ネットワーク: 90秒 トナー準備: 継続 ジャムリカバリ: オン エラーレポート印刷: オフ</p> <p>プリント調整メニュー 印刷位置補正 給紙トレイ X補正: 0.00 mm / Y補正: 0.00 mm 両面印刷 X補正: 0.00 mm / Y補正: 0.00 mm カセット1 X補正: 0.00 mm / Y補正: 0.00 mm 両面印刷 X補正: 0.00 mm / Y補正: 0.00 mm 普通紙果設定: 0 印刷濃度: 0 SNP設定: 0 B0設定: 0 ドラムクリーニング: オフ 多湿制御: オフ 静音制御: オフ HEX ダンプ</p> <p>管理者用メニュー</p>	<p>ネットワークメニュー TCP/IP: 有効 DHCP自動取得: 自動 IPv4 アドレス: 192.168.100.100 サブネットマスク: 255.255.255.0 ゲートウェイ: 0.0.0.0 Web: 有効 SNMP: 有効 ネットワークの種類: 普通 ギガビットネットワーク: 無効 Ethernetタイプ: 自動</p> <p>USBメニュー USB: 有効 SPEED: 480 Mbps ソフトリセット: 無効 シリアルナンバ: 有効</p> <p>印刷メニュー エミュレーション: 自動 コピー枚数: 1 両面印刷: オフ 用紙長さチェック: 有効 A4/レター置き換え: はい トナーセーブ: 無効 印刷方向: 縦 1ページ行数: 64行 TEXTモードメニュー 漢字フォント: 自動 ANK フォント: 自動 シンボルセット: カタカナ ZERO CHARACTER: ノーマル 縮小印刷: 等倍 露出し位置: 8.5 mm 横オフセット: 0.0 mm / 縦オフセット: 0.0 mm 右マージン: 用紙幅 CR動作: CRのみ オート復次機能: CR+LF</p> <p>トレイメニュー ユーザー定義サイズ: mm デフォルト用紙サイズ: A4 その他のメニュー ブザー: オン</p>
---	--

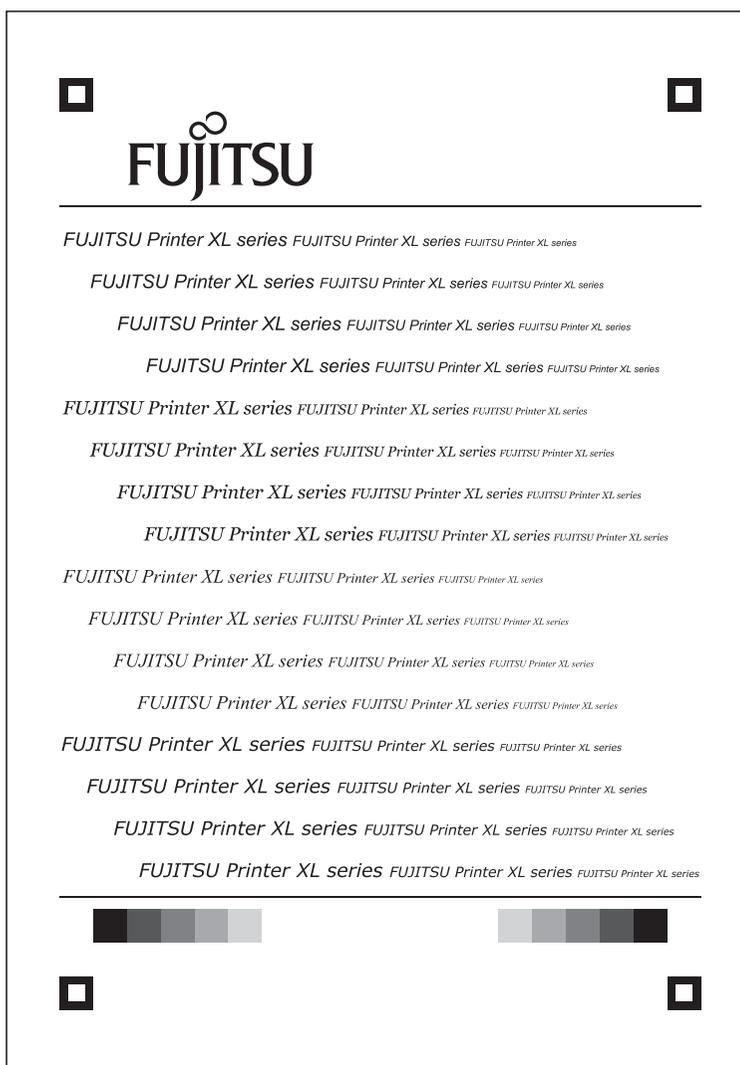
POINT

- ・ 設定内容の印刷は、A4 サイズの用紙に印刷されます。
- ・ 給紙口の用紙サイズ設定が A4 サイズ以外の場合は、「EEE : XXXX サイズフイッチ」（EEE はエラーコード、XXXX は給紙口）と表示されますので、「ヨウシ メニュー」から給紙カセットの用紙サイズを「A4」に設定してください。
- ・ ただし、給紙トレイから印刷する場合は、どの用紙サイズでも印刷が可能です。
- ・ 用紙がない場合は、「EEE : XXXX ヨウシナシ」（EEE はエラーコード、XXXX は給紙口）と表示されますので、用紙をセットしてください。
- ・ 設定内容の印刷を中止するにはリセットスイッチを押してください。

テスト印刷（印字率約 5% サンプル）

印字率約 5%のサンプルを印刷します。印字率約 5%のサンプルは「インフォメーションメニュー」→「5% サンプル インサツ」で印刷します。

■ 印刷例



IP アドレスの設定

ここでは、プリンタに IP アドレスを設定する方法を説明します。
設定方法は、IPv4 アドレス環境か IPv6 アドレス環境かにより異なります。

IPv4 アドレスの場合

本製品に IPv4 アドレスを設定する場合、次の 2 種類の方法があります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

- ・プリンタに直接設定する手動設定
- ・プリンタの電源を入れたときに DHCP サーバーから自動的に取得する自動取得設定

■手動設定の場合

メニューモードの「カンリシャヨウ メニュー」で DHCP 自動取得設定を手動にしてから、IPv4 アドレスの設定を行います。次の手順で設定してください。

1 オペレータパネルのオンラインランプが点灯している場合は、オンラインスイッチを押します。

プリンタがオフライン状態になり、液晶ディスプレイに「オフライン」と表示されます。

2 液晶ディスプレイに「カンリシャヨウ メニュー」が表示されるまで、メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチを繰り返し押します。

カンリシャヨウ メニュー

3 OK スイッチを押します。

パスワードの入力が要求されます。

4 パスワードを入力し、OK スイッチを押します。

パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。入力方法については、「オペレータパネルの操作制限」(→P.113)をご覧ください。

パスワード ニュウリョク

5 「ネットワーク メニュー」が表示されるので OK スイッチを押します。

ネットワーク メニュー

>

- 6 液晶ディスプレイに「**DHCP** ジドウシュトク」が表示されるまで、メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチを繰り返し押します

DHCPジドウシュトク
ジドウ *

- 7 OK スイッチを押します。

- 8 DHCP 自動取得を解除します。

1. メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチを押して、「シュドウ」と表示させます。
2. OK スイッチを押します。
右端に「*」が表示され、DHCP 自動取得設定が手動になります。

DHCPジドウシュトク
シュドウ *

3. メニュー▽スイッチを押します。

- 9 IPv4 アドレスを設定します。

1. OK スイッチを押します。
IPv4 アドレスの1桁目が点滅します。

IPv4 アドレス
0. 0. 0. 0

2. OK スイッチまたは戻るスイッチで桁 (IP アドレス 1 ~ 4) を選択し、メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチで値を入力します。
メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチを2秒以上押し続けると早送りできます。

IPv4 アドレス
192. 0. 0. 0

3. OK スイッチを押します。
選択した桁の設定値が確定します。
4. 手順1~3の操作を繰り返し、すべての桁を設定します。
すべての桁の設定が終了したら、液晶ディスプレイの右端に「*」が表示されます。

IPv4 アドレス
192. 168. 100. 100*

POINT

- ・サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスを設定するときも、メニュー△スイッチまたはメニューマスを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」をそれぞれ選択し、IPアドレスの設定手順と同様の方法で設定してください。

10 オンラインスイッチを押します。

設定したIPアドレスが反映されます。反映後、ネットワーク機能が再起動し、オンライン状態に戻ります。

■DHCPによる自動取得の場合

メニューモードの「カンリシャヨウメニュー」→「ネットワークメニュー」→「DHCPジドウシュトク」を「ジドウ」に設定します。いったん本製品の電源を切ってから、DHCPサーバーと本製品をネットワークに接続し、本製品の電源を入れてください。

POINT

- ・DHCPによりTCP/IP構成情報を自動的に取得する場合は、本製品の電源を再度入れたときに同じIPアドレスを取得できるように、DHCPサーバーにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタのMACアドレスについては、メニューモードの「プリンタジョウホウ」→「ネットワーク」→「MACアドレス」をご覧になるか、設定内容を印刷してください。
- ・DHCPによる自動取得の場合、IPv4アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。取得したIPv4アドレスは、メニューモードの「プリンタジョウホウ」→「ネットワーク」→「IPv4アドレス」で確認することができます。
- ・IPアドレスが取得できなかった場合や、表示されたIPv4アドレスが以前手動設定した値の場合は、「カンリシャヨウメニュー」→「ネットワークメニュー」→「DHCPジドウシュトク」が「ジドウ」になっているか確認します。「シュドウ」の場合は「ジドウ」に変更してください（初期値は「ジドウ」です）。

IPv6アドレスの場合

本製品には、「リンクローカルアドレス」、「グローバルアドレス」と呼ばれる2種類のIPv6アドレスを設定できます。

- ・リンクローカルアドレス
同一ネットワーク内での通信に使用されるアドレスです。「fe80::」から始まるプレフィックスと本製品のMACアドレスが用いられ、自動的に設定されます。
なお、本製品に設定できるリンクローカルアドレスは1つです。
- ・グローバルアドレス
インターネット経由の通信に使用されるアドレスです。グローバルアドレスの設定には、RA (Router Advertisement) と呼ばれるパケットを送信できるルーターとの接続が必要です。グローバルアドレスは、ルーターから送信されたRAに含まれるプレフィックスと本製品のMACアドレスが用いられ、自動的に設定されます。
なお、本製品に設定できるグローバルアドレスは1つです。

重要

- ・IPv6アドレスを使用する場合は、IPv4のIPアドレスを必ず設定してください。
- ・リンクローカルアドレスは、ルーターを越えた通信はできません。
- ・グローバルアドレスは、DHCPv6を用いたステートフルアドレスを設定できません。ステートレスアドレスのみ設定できます。

■ 自動設定された IPv6 アドレスの確認方法

自動設定された IPv6 アドレスは、オペレータパネルの「インフォメーション メニュー」→「セッテイノ イチラン インサツ」で設定内容を印刷し、「プリンタ情報」の「ネットワーク」欄で確認できます。

セキュリティに関する設定

ここでは、本製品を使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

POINT

- ・セキュリティに関するすべての機能は、「FUJITSU Printer Internet Service」から設定することができます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。
「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、「FUJITSU Printer Internet Service」からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート／サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効／無効を設定します。
設定は、メニューモードの「カンリシャヨウ メニュー」→「ネットワーク メニュー」→「Web」、「SNMP」から行います。

POINT

- ・各設定を無効にした場合については、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」のネットワークサービスの説明をご覧ください。

IPv4 アドレスによるアクセス管理

プリンタにアクセスできるパソコン (IPv4 アドレス) を制限するかしないかを設定します。
IP アドレスを制限する場合は、「FUJITSU Printer Internet Service」の「管理者設定」カテゴリの「ネットワークメニュー」→「セキュリティ」→「IP フィルタリング」で設定します。
詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。

POINT

- ・IP アドレスによるアクセス管理は、IPv4 アドレスのみ使用できます。
- ・IPv4 アドレスを制限する場合は、あらかじめ「FUJITSU Printer Internet Service」のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザーによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワードで制限します。

パスワードの初期値は、「aaaaaa」です。パスワードの変更は、メニューモードの「カンリシャヨウ メニュー」→「パスワードヘンコウ メニュー」→「アタラシイ パスワード」から行ってください。

パスワード ニュウリョク

メニュー△スイッチまたはメニュー▽スイッチで数字を選択し、OK スイッチを押すと次の桁に移ります。6桁のパスワードを入力したら、最後に OK スイッチを押します。

POINT

- ・パスワードを忘れた場合は、「お問い合わせ窓口」(→ P.191) に連絡してください。

消耗品の管理

「インフォメーション メニュー」→「シュウケイケッカ インサツ」より、消耗品の交換回数を出力することができます

POINT

- ・トナーカートリッジの交換時期が近づいたときには印刷を停止させる方法もあります。メニューモードの「メニュー」→「システム コウセイ メニュー」→「トナー ジュンビ」で「テイシ」を選択してください。

6

第 6 章

使用できる用紙と保管方法

この章では、本製品で使用できる用紙とその保管方法について説明します。

1 使用できる用紙	116
2 使用できない用紙	122
3 用紙保管上のご注意	124

1 使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

POINT

- ・ 対応用紙の最新情報は、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) の「関連情報」の「サプライ品・オプション品・対応用紙・定期交換部品」をご確認ください。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係は、次の表のとおりです。

◎：両面印刷、片面印刷共に可能、○：片面印刷のみ可能、×：不可

用紙サイズ	用紙種類	用紙の厚さ (坪量)	プリンタ		オプション	フェイス アップ (表排出)	フェイス ダウン (裏排出)
			給紙ト レイ	給紙カ セット	拡張給紙 ユニット		
A4 B5 レター リーガル A3 ⇒ A4 B4 ⇒ A4	薄い紙	60 ~ 63g/ m ²	◎	◎	◎	○	◎
	普通紙	64 ~ 74g/ m ²	◎	◎	◎	○	◎
	やや厚い紙	75 ~ 89g/ m ²	◎	◎	◎	○	◎
	厚い紙	90 ~ 104g/ m ²	◎	◎	◎	○	◎
	より厚い紙	105 ~ 120g/ m ²	◎	◎	◎	○	◎
	ごく厚い紙	121 ~ 163g/ m ²	○	×	×	○	○
	ラベル紙	厚さ 0.1 ~ 0.15mm	○	×	×	○	×
A5	薄い紙	60 ~ 63g/ m ²	○	○	○	○	○
	普通紙	64 ~ 74g/ m ²	○	○	○	○	○
	やや厚い紙	75 ~ 89g/ m ²	○	○	○	○	○
	厚い紙	90 ~ 104g/ m ²	○	○	○	○	○
	より厚い紙	105 ~ 120g/ m ²	○	○	○	○	○
	ごく厚い紙	121 ~ 163g/ m ²	○	×	×	○	○
	ラベル紙	厚さ 0.1 ~ 0.15mm	○	×	×	○	×
A6	薄い紙	60 ~ 63g/ m ²	○	○	×	○	○
	普通紙	64 ~ 74g/ m ²	○	○	×	○	○
	やや厚い紙	75 ~ 89g/ m ²	○	○	×	○	○
	厚い紙	90 ~ 104g/ m ²	○	○	×	○	○
	より厚い紙	105 ~ 120g/ m ²	○	○	×	○	○
	ごく厚い紙	121 ~ 163g/ m ²	○	×	×	○	○
	ラベル紙	厚さ 0.1 ~ 0.15mm	○	×	×	○	×

用紙サイズ	用紙種類	用紙の厚さ (坪量)	プリンタ		オプション	フェイス アップ (表排出)	フェイス ダウン (裏排出)
			給紙ト レイ	給紙カ セット	拡張給紙 ユニット		
ユーザ定義	薄い紙	60 ~ 63g/ m ²	◎ [注 1] [注 4]	◎ [注 2] [注 4]	◎ [注 3] [注 4]	○	◎
	普通紙	64 ~ 74g/ m ²	◎ [注 1] [注 4]	◎ [注 2] [注 4]	◎ [注 3] [注 4]	○	◎
ユーザ定義	やや厚い紙	75 ~ 89g/ m ²	◎ [注 1] [注 4]	◎ [注 2] [注 4]	◎ [注 3] [注 4]	○	◎
	厚い紙	90 ~ 104g/ m ²	◎ [注 1] [注 4]	◎ [注 2] [注 4]	◎ [注 3] [注 4]	○	◎
	より厚い紙	105 ~ 120g/ m ²	◎ [注 1] [注 4]	◎ [注 2] [注 4]	◎ [注 3] [注 4]	○	◎
	ごく厚い紙	121 ~ 163g/ m ²	○ [注 1]	×	×	○	○
	ラベル紙	厚さ 0.1 ~ 0.15mm	○ [注 1]	×	×	○	×
	封筒 (薄め)	75 ~ 89g/ m ²	○ [注 1]	×	×	○	×
	封筒 (厚め)	105 ~ 120g/ m ²	○ [注 1]	×	×	○	×
長尺紙	ごく厚い紙	121 ~ 163g/ m ²	○ [注 5]	×	×	○	×
はがきサイズ	普通紙	64 ~ 74g/ m ²	○	×	×	○	×
往復はがきサイズ	普通紙	64 ~ 74g/ m ²	○	×	×	○	×
郵便はがき	郵便はがき	郵便はがき	○	×	×	○	×
郵便往復はがき	郵便はがき	郵便はがき	○	×	×	○	×
封筒長形 3 号	封筒 (薄め)	75 ~ 89g/ m ²	○	×	×	○	×
	封筒 (厚め)	105 ~ 120g/ m ²	○	×	×	○	×
封筒長形 4 号	封筒 (薄め)	75 ~ 89g/ m ²	○	×	×	○	×
	封筒 (厚め)	105 ~ 120g/ m ²	○	×	×	○	×
封筒洋形 4 号	封筒 (薄め)	75 ~ 89g/ m ²	○	×	×	○	×
	封筒 (厚め)	105 ~ 120g/ m ²	○	×	×	○	×

注 1 : 片面時 Width=86mm ~ 216mm、Length=140 ~ 356mm

注 2 : 片面時 Width=100mm ~ 216mm、Length=148 ~ 356mm

注 3 : 片面時 Width=148mm ~ 216mm、Length=210 ~ 356mm

注 4 : 両面時 Width=182mm ~ 216mm、Length=257 ~ 356mm

注 5 : Width=210mm、Length=356.1 ~ 1321mm

重要

- ・用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷を行い、支障がないことを確認することをお勧めします。
- ・はがきは、郵便はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- ・ラベル紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
- ・ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定に合わせてください。
- ・プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- ・厚紙を印刷する場合は、厚紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。
指でこすると、印字がはがれることがありますので、「薄い紙」、「普通紙」は選択しないでください。
- ・ユーザ定義サイズ用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、本製品が故障するおそれがあります。
- ・ユーザ定義サイズ用紙に印刷する場合は、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。詳しくは、「ユーザ定義サイズ（普通紙）および長尺紙（ごく厚い紙）を印刷する場合の印刷速度」（→ P.166）をご覧ください。
- ・幅が210 mm未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- ・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
- ・湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。また、夜間や休日などのプリンタ停止時は、給紙カセットや給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
- ・用紙（特に再生紙）は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。
- ・シワ、斜行、角折れ、二重送り、紙詰まりなどが発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール、反りを直してから用紙をセットしてください。
また、高温／高湿環境や低温／低湿環境を避けて、保管、運用してください。
- ・用紙の状態によっては、紙詰まりやシワ、カールが発生する場合があります。次のように対処することで軽減できる場合がありますので、お試しください。改善されない場合は、「用紙保管上のご注意」（→ P.124）をご確認ください。
 1. 印刷方向を変えてみる（180°）。
 2. 用紙を裏返して印刷する面を変えてみる。
 3. プリンタドライバの「用紙種類」の設定を「薄い紙」（トナーの定着温度を少し低くする設定）にしてみる。
- ・「縦目」の用紙をお勧めします。
- ・封筒使用時は印刷品質が低下する場合があります。

使用できる用紙の種類

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用できます。本製品での印刷に適した普通紙の仕様について、次の表でご確認ください。

一般の市販品には、本製品に適さないものもあります。用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷を行い、支障がないことを確認してください。

項目	測定方法	推奨仕様【注】
坪量	—	64 ~ 68g/ m ²
連量	—	55 ~ 58 kg

項目	測定方法	推奨仕様 [注]
紙厚	JIS P-8118	88 ~ 94 μ m
密度	—	0.68 ~ 0.74g/cm ³
平滑度	JIS P-8119	表：23 ~ 47 秒、裏：20 ~ 37 秒
剛度(クラーク式)	JIS P-8143	主走査：70 ~ 123cm ³ /100、副走査：28 ~ 60cm ³ /100
水分	JIS P-8127	4 ~ 5%
摩擦係数	JIS P-8147	静止：0.45 ~ 0.75、動：0.40 ~ 0.70
紙質	—	中性紙
すき目方向	—	「縦目」の用紙を使用してください。

注：開封直後の用紙を常温常湿環境（23℃、50%RH）で測定した値

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 230℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものを使用してください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、紙詰まり、装置破損の原因となります。また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送/印刷/定着に関係する部品が汚損/変質/摩耗する場合があります。定期的に清掃または部品の交換を行ってください。プレプリントされた用紙を使用する場合は、プレプリントは、ベタ印刷ではなく、網点印刷された用紙をお使いください。

重要

- ・ 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
 - ・ 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
 - ・ 位置精度：A4 サイズで ± 2 mm程度
 - ・ 用紙の傾き：100 mmあたり ± 1 mm程度
 - ・ 画像の伸縮：100 mmあたり ± 1 mm程度
- 対応用紙以外の用紙では、バラツキはより大きくなります。

再生紙

- ・ 本製品に適した銘柄を選定し、用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷を行い、支障がないことを確認してください。
- ・ 再生紙は、吸湿しやすい傾向にあるため、夏場の空調が入らないような高温、高湿環境で使用することは避けてください。

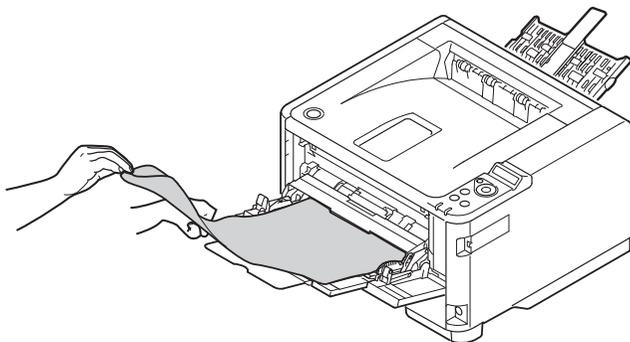
長尺紙

- ・ 縦や横に長いデータ（1320.8 mmの長さまで）を印刷することができます。印刷は FUJITSU Printer ドライバのみ使用可能です。
- ・ 長尺紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。給紙トレイに用紙をセットする方法は、「給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする」（→ P.47）をご覧ください。

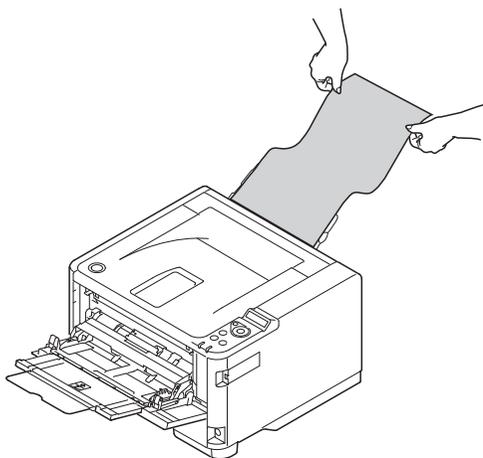
- ・長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

重要

- ・幅が210 mm未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。
- ・アプリケーションによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- ・長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）または左端（用紙方向：横の場合）余白を十分に（10 mm以上）取って印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。
- ・長尺紙は、1枚ずつセットしてください。
- ・長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。



- ・長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- ・印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙詰まりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。

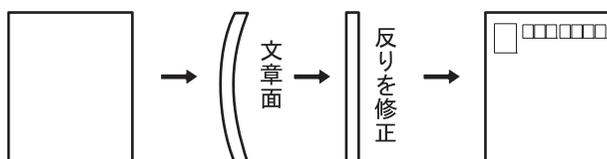


郵便はがき

郵便はがきは、郵便局から発売されている通常はがきをご使用ください（ただし、絵入りはがき、インクジェット用はがきは除く）。はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください（両面印刷機能には、対応していません）。

宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2mm以内の反りになるように修正してから印刷してください。

1. 文章面を印刷
2. 反りがあるときは修正
3. 宛名面を印刷

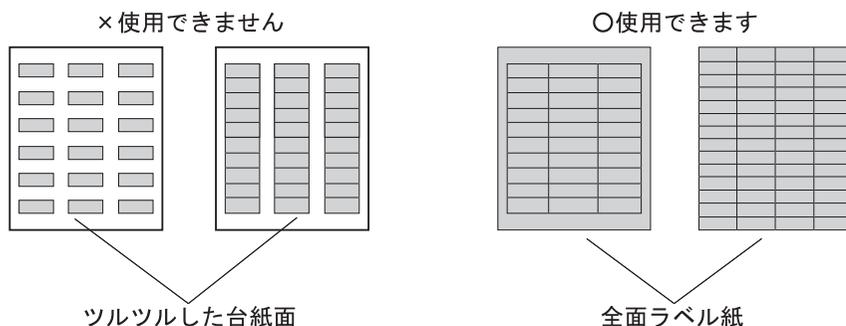


郵便はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

- ・印刷面を上にしてセットしてください。
- ・使用するアプリケーションの設定内容と印刷方向に合わせて郵便はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザープリンタ用のものを使用してください。また、粘着剤が定着時の熱（約230℃）で溶けたり変質したりしないものを使用してください。



重要

- ・ラベル紙を使用するときは、レーザープリンタ用のものをご購入ください。市販品の中には本製品に適さないものがありますので、試し印刷などで確認したうえで使用してください。
- ・ラベル紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。
- ・ラベル紙に「用紙をセットする向き（用紙の送り方向）」の指定があるものは、その指定に合わせてください。

封筒

封筒は、給紙トレイからのみ印刷できます。

また、レーザープリンタ専用封筒（ハート株式会社）は、封筒（長形3号）が使用できます。

2 使用できない用紙

次の用紙は、本製品では使用できません。

紙詰まり、二重送り、斜行を起こしやすい用紙

- ・厚すぎる用紙（163g/ m²より厚い用紙）や、薄すぎる用紙（60g/ m²未満）
- ・湿っている用紙、ぬれている用紙、乾燥しすぎている用紙
- ・一度印刷された用紙（複写機や、他のプリンタで印刷された用紙、本製品で印刷済みの用紙）
- ・カール（反り）・シワ・折り目・角折れのある用紙・破れている用紙・波打っている用紙
- ・表面が平滑（ツルツル）すぎる用紙
- ・静電気で用紙どうしが密着している用紙、静電気を帯びている用紙
- ・四角い形状（長方形、正方形）でない用紙
※ 四角形でも、ひし形や平行四辺形などの用紙は使えません
- ・裁断部のバリが大きい用紙
- ・バインダー穴や、ミシン目のある用紙
- ・用紙の搬送方向と異なるすき目の用紙
「縦目」の用紙をお勧めします。

印刷品質低下の原因となる用紙

- ・ざら紙や和紙、繊維質の多い用紙、表面が滑らかでない用紙
- ・酸性紙（中性紙を使用してください）

プリンタの故障の原因となる用紙

- ・表面を加工または特殊なコーティングを行った用紙（感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、メールシール紙など）
- ・貼り合わせた用紙や、のりなどが付いている用紙
- ・ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙など）
- ・紙粉の多い用紙
- ・インクジェット専用紙、インクジェットプリンタ共用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用はがき
- ・水転写紙、布地転写紙
- ・絵入りはがき
- ・クリーンルーム用の用紙（無じん紙）
- ・炭酸カルシウムを多く含んだ用紙
- ・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザープリンタ用以外の「ラベル紙」（→ P.121）
- ・タックフィルム
- ・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、230℃の熱でガスが発生したりするインクを使用したプレプリント用紙
- ・230℃の熱で溶けたり、変質したりする用紙

両面印刷できない用紙

次の用紙は両面印刷では使用できません。

- ・ 厚紙 (120g/ m²より厚い紙)、ラベル紙、長尺紙、郵便はがき、往復はがき、封筒

給紙カセットで使用できない用紙

厚紙 (120g/ m²より厚い紙)、ラベル紙、長尺紙、郵便はがき、郵便往復はがき、封筒は、給紙カセットでは使用できません。給紙トレイを使用してください。

3 用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性をもっているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。次の保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

保管場所

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・ 暗く、湿気の少ない、平らな書棚のような場所
- ・ 平らなパレットの上
- ・ 温度 20℃、湿度 50%RH の環境

■保管場所として適さない場所

次のような場所は避けてください。

- ・ 床の上（直接置く）
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 外壁の内側の近く
- ・ 段差や、曲がりのある場所
- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- ・ 複写機、空調機、ヒーター、ダクトの近く

保管方法

次のような状態で保管してください。

- ・ 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・ 本製品を長期間にわたり使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

POINT

- ・ 長時間放置した用紙を使用した場合、次のような現象が発生し、うまく印刷できない場合があります。
 - ・ 印刷した用紙が丸まり、排出不良となる
 - ・ 印刷した用紙にシワが発生する
 - ・ 紙詰まりが発生する
- ・ 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
- ・ 用紙（特に再生紙）は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で十分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。

7

第7章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

1 紙詰まりになったとき	126
2 故障かなと思ったとき	143
3 印刷品質が低下したとき	147
4 メッセージ一覧	153

1 紙詰まりになったとき

紙詰まりが発生したときの対処方法は、次のとおりです。

紙詰まり発生時の状態と発生場所

発生時の状態

紙詰まりが発生するとエラーランプが点灯し、液晶ディスプレイに「カミヅマリ」と表示されます。また、エラーメッセージには、「キュウシブ」「ハンソウブ」「ハイシブ」などのように紙詰まりが発生した場所も表示されます。

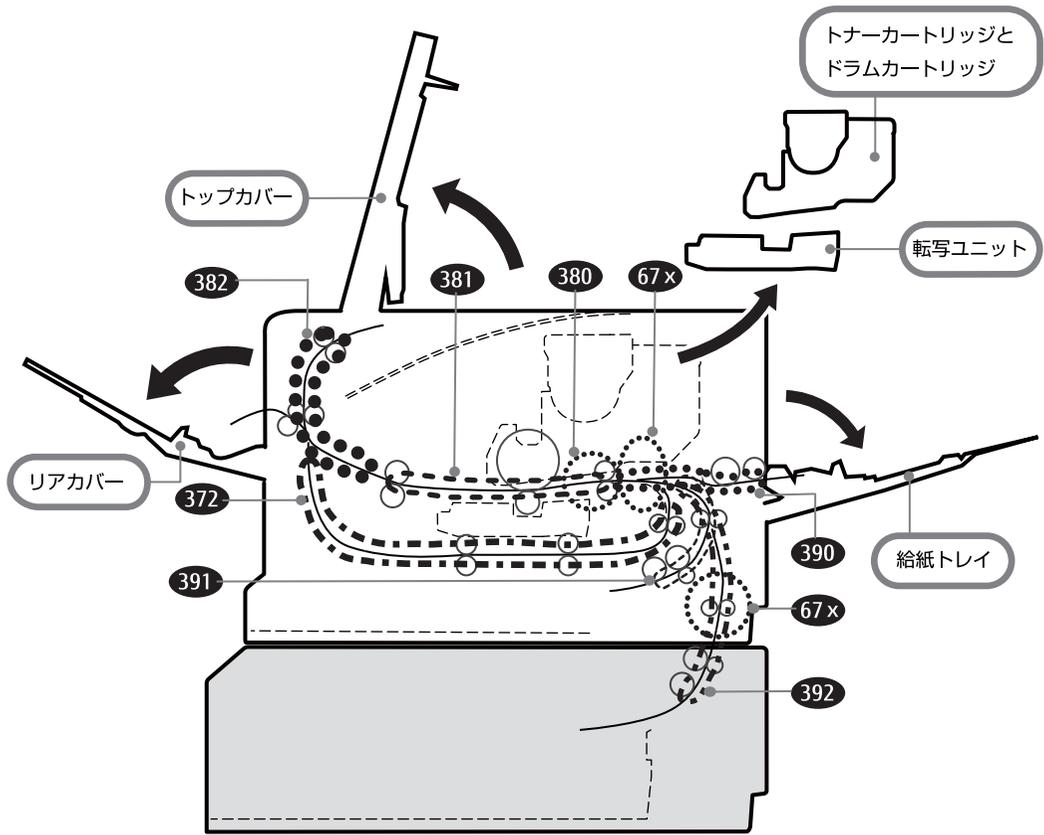
紙詰まりに関するエラーメッセージと対処時の参照先については、次の表をご覧ください。

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	参照先
372：カミヅマリ リョウメン [用紙サイズ] /リア/トップカバーリアケ テンシヤユニットノ シタヲ カクニン	「372:カミヅマリ リョウメンが発生したとき」(→ P.128)
390：ピックミス キュウシトレイ [用紙種類] [用紙サイズ] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	「390:ピックミス キュウシトレイが発生したとき」(→ P.140)
391：ピックミス カセット1 [用紙サイズ] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	「391:ピックミス カセット1 / 392:ピックミス カセット2が発生したとき」(→ P.141)
392：ピックミス カセット2 [用紙サイズ] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	
380：カミヅマリ キュウシブ [エラーコード] - [用紙サイズ] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	「380:カミヅマリ キュウシブ / 381:カミヅマリ ハンソウブが発生したとき」(→ P.133)
380：カミヅマリ キュウシブ [エラーコード] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	
381：カミヅマリ ハンソウブ [エラーコード] - [用紙サイズ] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	
381：カミヅマリ ハンソウブ [エラーコード] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	「382:カミヅマリ ハイシブが発生したとき」(→ P.136)
382：カミヅマリ ハイシブ [エラーコード] - [用紙サイズ] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	
382：カミヅマリ ハイシブ [エラーコード] /トップカバーリアケ ヨウシジョキョ	

発生場所

次の図の \cdots で囲まれた位置で、紙詰まりが発生する可能性があります。



グレーで塗られている部分はオプションです。

紙詰まりを防ぐために

紙詰まりを防ぐため、次の点を確認してください。

- ・ プリンタを水平に設置する
- ・ 適切な用紙を使用する
- ・ 給紙カセットや給紙トレイに用紙を正しくセットする
- ・ カールしていない用紙を使用する
- ・ 給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

詰まった用紙の取り除き方

オペレータパネルで紙詰まりが発生した場所を確認し、以降で説明する部位ごとの取り除き方をご覧になり、詰まった用紙を取り除いてください。

詰まった用紙をすべて取り除いてカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。

重要

- ・詰まった用紙を取り除いてカバーを閉じてメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、詰まった用紙を完全に取り除いてください。
- ・詰まった用紙を取り除いた後に、必ずトップカバーを一度開き、内部に紙が残っていないことを確認します。その後、トップカバーを閉じてください。
- ・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。
- ・用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。
- ・用紙は破れないように確実に取り除いてください。プリンタ本体の内部に紙片が残ると、再び用紙が詰まったり、故障の原因になったりします。
- ・何度も用紙が詰まるときは、次の原因が考えられます。
 - ・給紙カセットまたは拡張給紙カセットの横ガイドや縦ガイド、または給紙トレイの用紙ガイドの位置がずれている。詳しくは、「用紙をセットする」(→ P.46)をご覧ください。
 - ・給紙ローラ、分離ローラが汚れている。詳しくは、「給紙ローラ/分離ローラを清掃する」(→ P.70)をご覧ください。
 - ・上記の内容を確認したうえでも用紙が詰まるときは「お問い合わせ窓口」(→ P.191)に連絡してください。
- ・詰まった用紙を取り除いた後の印刷再開ページ付近は、再度印刷される場合があるので、二重に印刷されているページを取り除いてください。

注意



- ・詰まった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。ネクレスやネクタイなどを身につけていると、プリンタ内部に巻き込まれ、けがの原因になることがあります。必ず外してから操作してください。

プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。けがの原因になることがあります。

- ・詰まった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「お問い合わせ窓口」(→ P.191)にご連絡ください。



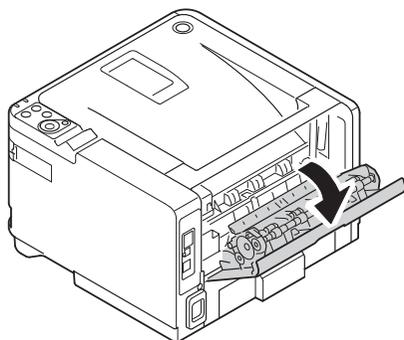
- ・プリンタ本体内部には高温の部分があります。紙詰まりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。



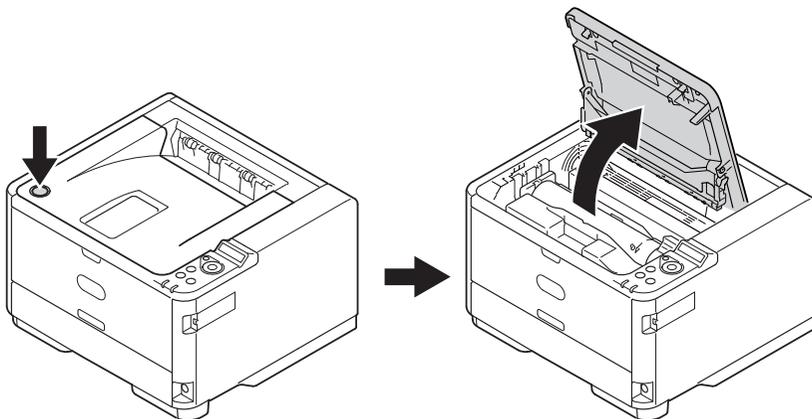
- ・紙詰まりを取り除くときは、指をはさんだり、けがをしないように注意してください。

372 : カミツマリ リョウメンが発生したとき

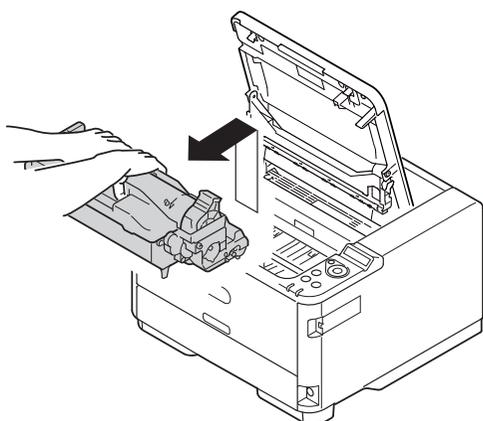
1 リアカバーを開きます。



2 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。

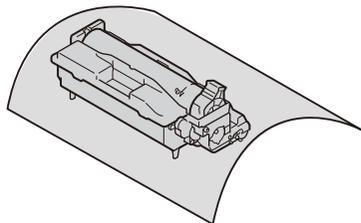


3 ドラムカートリッジを取り出します。

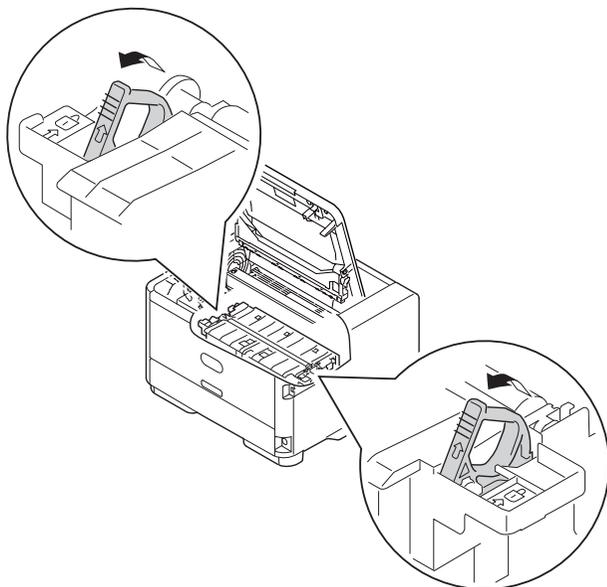


重要

- ・ドラムカートリッジ（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには充分注意してください。
- ・ドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500lx 以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上放置する場合は、ドラムカートリッジに光が当たらないように、紙を重ねてかぶせてください。
また、紙をかぶせた状態で、1 時間以上は放置しないでください。

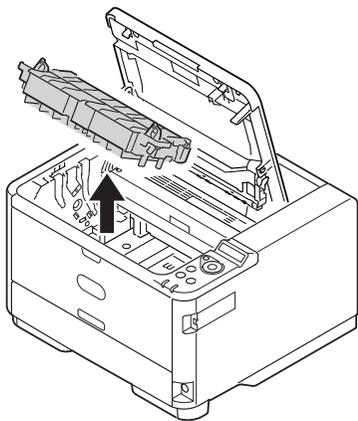


4 転写ユニットの両端の取っ手を手前に回転させ、ロックを解除します。

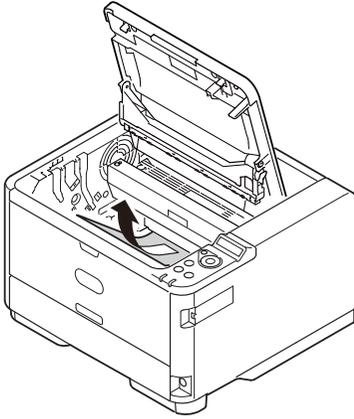


5 転写ユニットを取り出します。

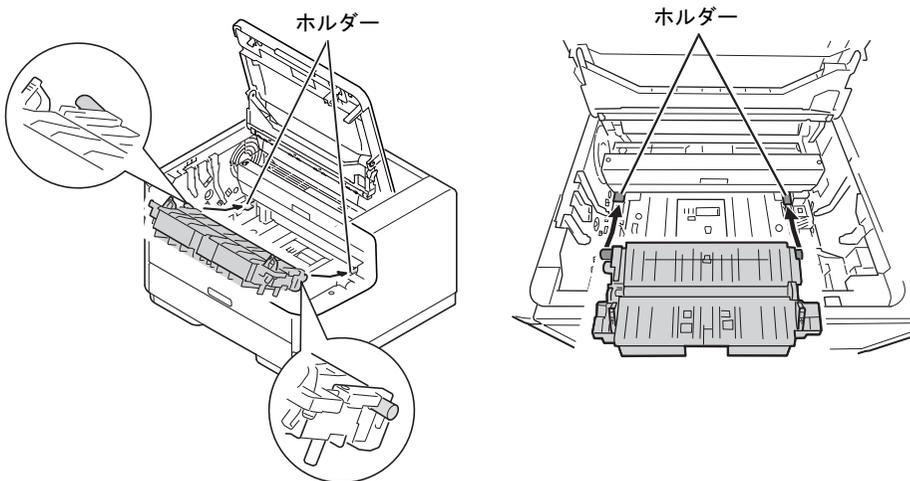
転写ユニットをゆっくりプリンタから引き出します。



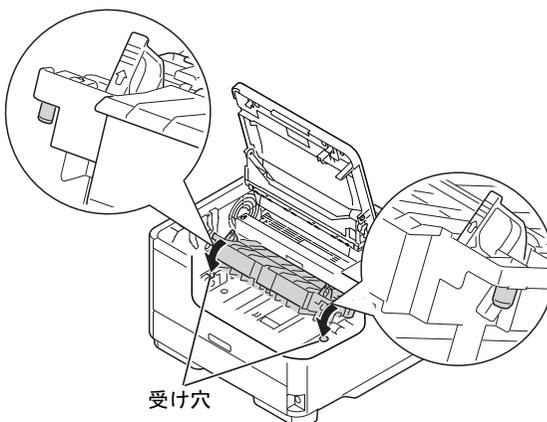
6 両面印刷の用紙を取り除きます。



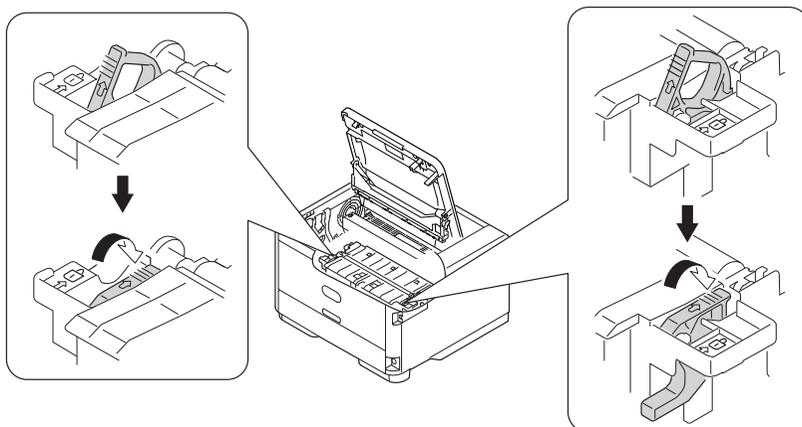
7 転写ユニットをプリンタに戻すときは、最初に、転写ユニットの先端側の両端の突起部を、プリンタのホルダーに差し込みます。



8 転写ユニットの両側の取っ手部近くの裏側の突起を、プリンタ本体側の受け穴に挿入します。



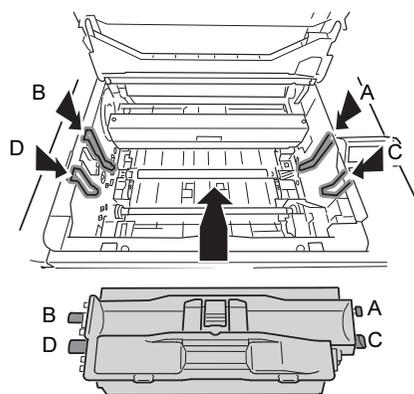
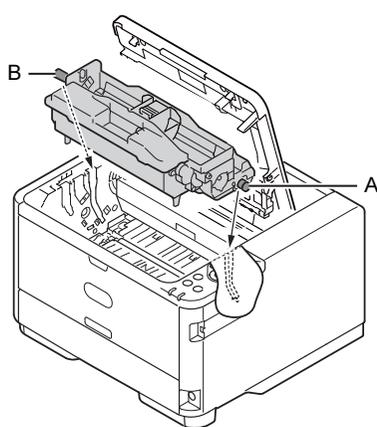
- 9** 転写ユニットの両側の取っ手をそばの取手の矢印の方向に回転させて、転写ユニットをプリンタに固定します。



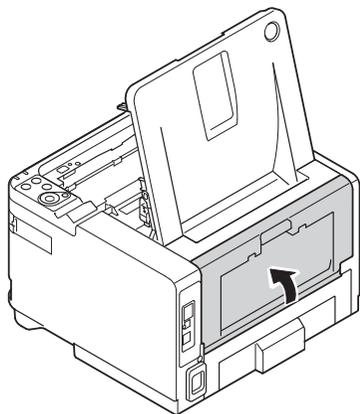
重要

- ・ 転写ユニットのスポンジローラには手を触れないでください。

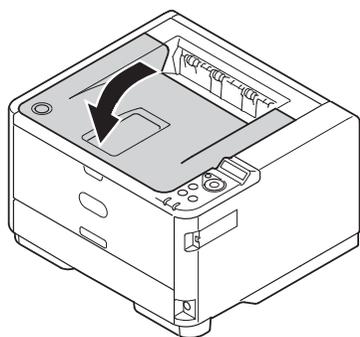
- 10** ドラムカートリッジのピン (A ~ D) と、プリンタ内部の溝 (A ~ D) を合わせて、ゆっくりとドラムカートリッジを戻します。



11 リアカバーを閉じます



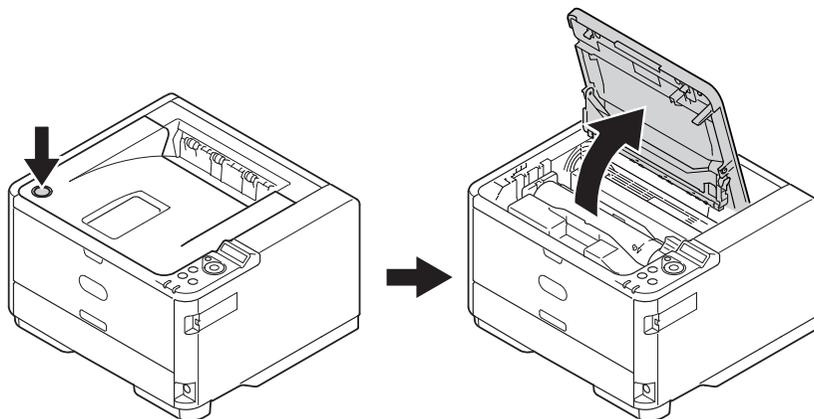
12 トップカバーを閉じます



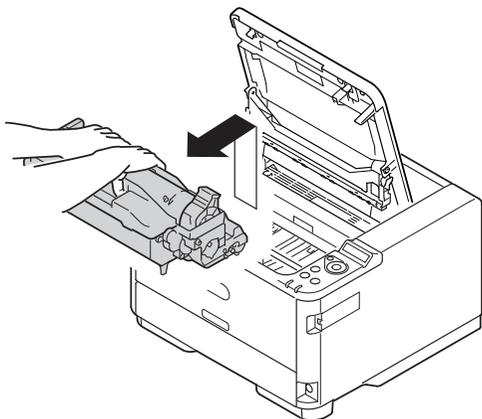
380 : カミツマリ キュウシブ / 381 : カミツマリ ハンソウブが発生したとき

7

- 1 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。

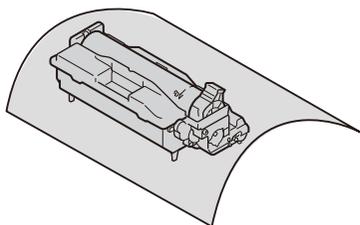


2 ドラムカートリッジを取り出します。



重要

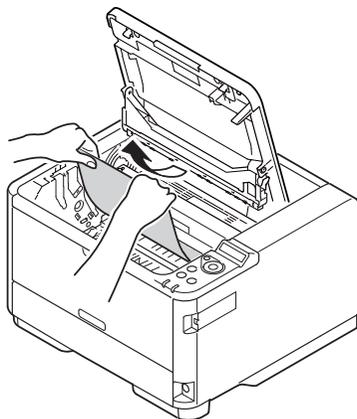
- ・ドラムカートリッジ（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには充分注意してください。
- ・ドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500lx 以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上放置する場合は、ドラムカートリッジに光が当たらないように、紙を重ねてかぶせてください。
また、紙をかぶせた状態で、1 時間以上は放置しないでください。



3 状況に応じて詰まっている用紙を取り除きます。

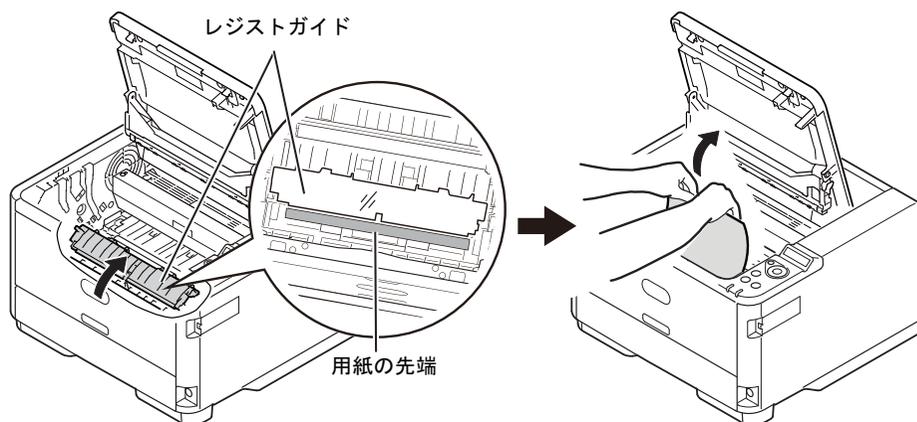
■用紙の先端が見えている場合

1. 詰まっている用紙の先端を持ち、ゆっくり引き出します。



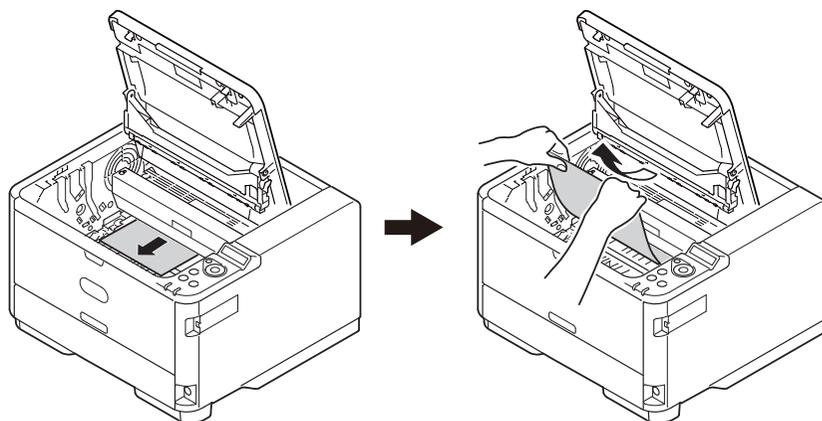
■用紙の先端がレジストガイドの裏側に見えている場合

1. レジストガイドを定着器側へ回転させて、詰まっている用紙の先端を持ち、ゆっくり引き出します



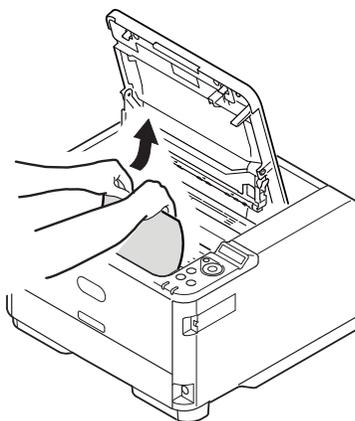
■用紙の先端も後端も見えない場合

1. 詰まっている用紙を矢印の方向にずらしてから用紙の先端部を持ち、ゆっくり引き出します。

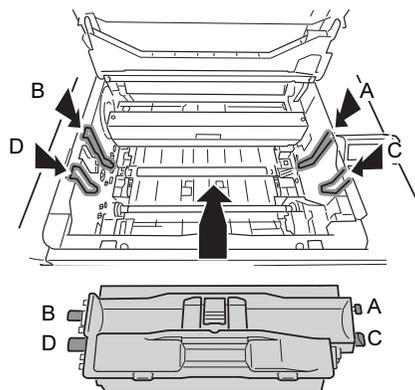
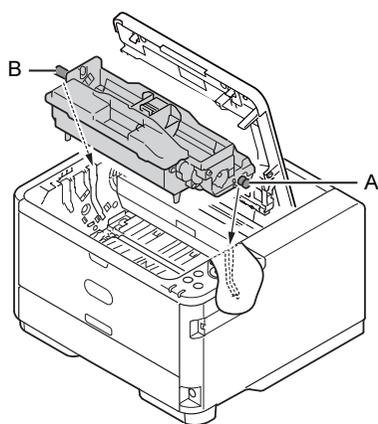


■用紙の後端が見えている場合

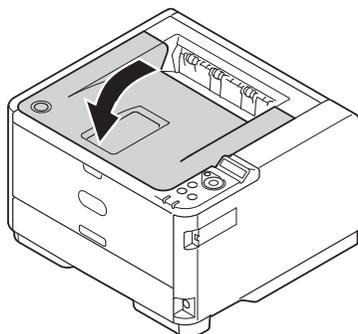
1. 詰まっている用紙の後端部を持ち、ゆっくり引き出します。



- 4** ドラムカートリッジのピン (A ~ D) と、プリンタ内部の溝 (A ~ D) を合わせて、ゆっくりとドラムカートリッジを戻します

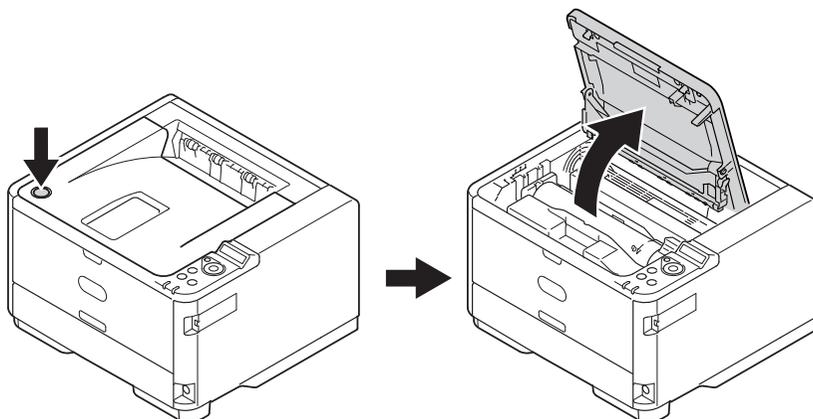


- 5** トップカバーを閉じます

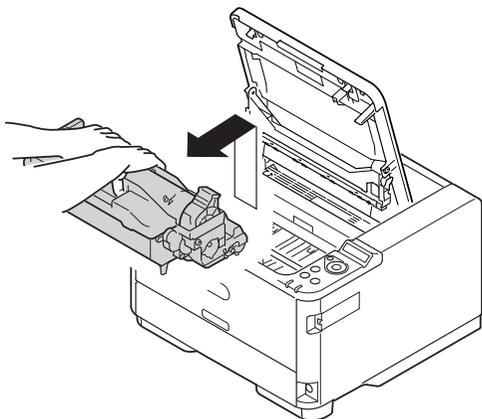


382 : カミツマリ ハイシブが発生したとき

- 1** トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。

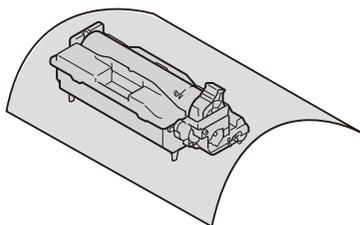


2 ドラムカートリッジを取り出します。



重要

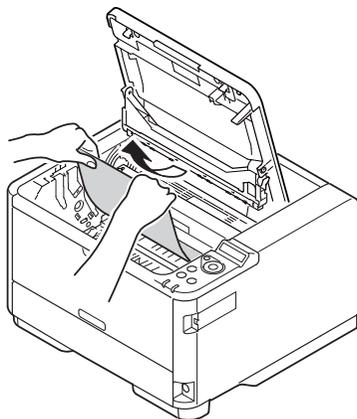
- ・ドラムカートリッジ（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには充分注意してください。
- ・ドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500lx 以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上放置する場合は、ドラムカートリッジに光が当たらないように、紙を重ねてかぶせてください。
また、紙をかぶせた状態で、1 時間以上は放置しないでください。



3 状況に応じて詰まっている用紙を取り除きます。

■用紙の先端が見えている場合

1. 詰まっている用紙の先端を持ち、ゆっくり引き出します。



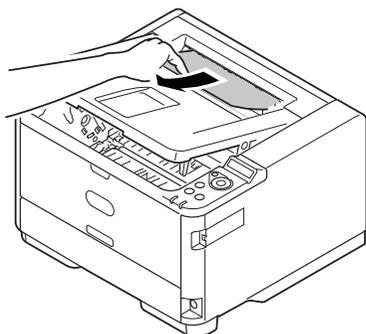
POINT

- ・用紙排出部で詰まった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。
無理に後ろに引き出すと定着器を傷めるおそれがあります。

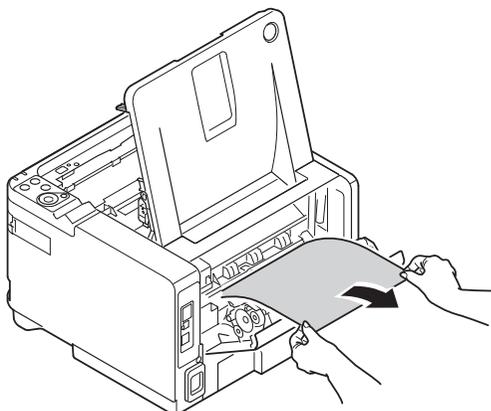
■用紙の後端が見えず、先端だけが排出部に見える場合

□フェイスダウスタッカに用紙の先端が見える場合

1. 用紙の先端を持ってゆっくり引き出します。

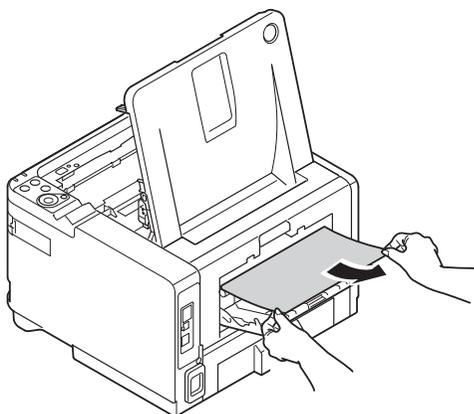


2. 取り除けない場合は、リアカバーを開いて、用紙の先端を持って引き出します。

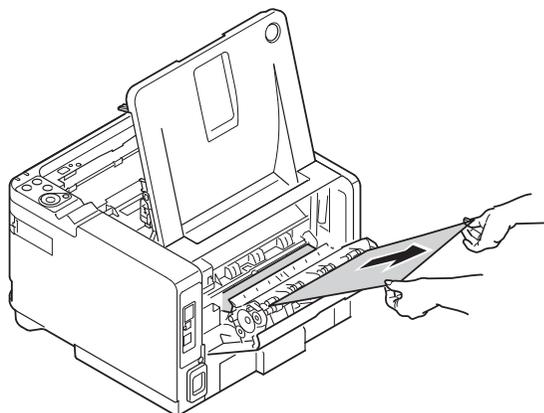


□フェイスアップスタッカに用紙の先端が見える場合

1. 用紙の先端を持ってゆっくり引き出します。

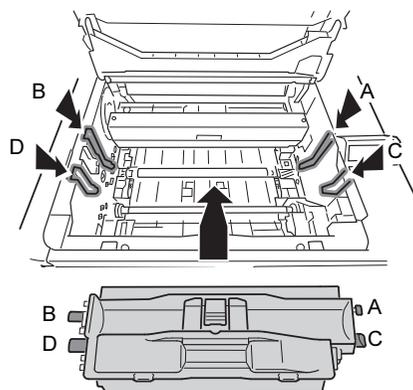
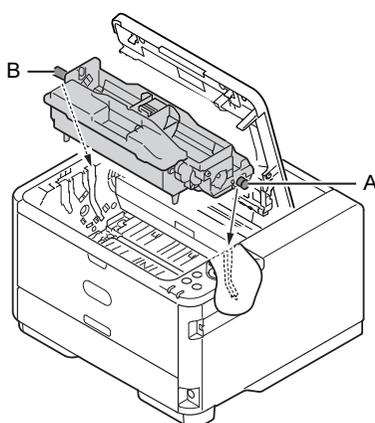


2. 取り除けない場合は、リアカバーを開いて、用紙の先端を持って引き出します。

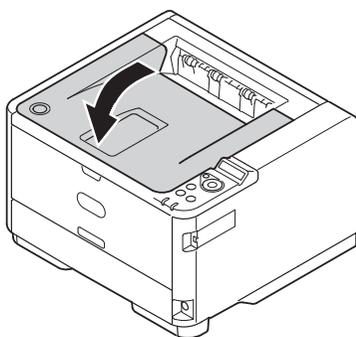


上記の方法で用紙が取り出せない場合は、無理に引き出さず、手順4へ進んでください。

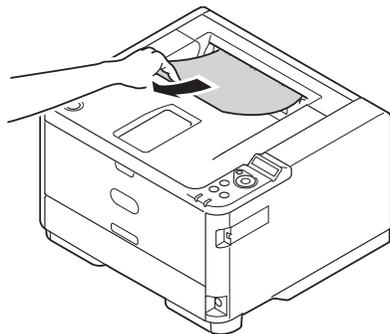
4 ドラムカートリッジのピン (A ~ D) と、プリンタ内部の溝 (A ~ D) を合わせて、ゆっくりとドラムカートリッジを戻します



5 トップカバーを閉じます。



- 6** 用紙が引き出せない場合は、電源を切り、電源を入れ直します。
プリンタが起動したら、用紙先端を持って引き出します。ただし、印刷データが失われますのでご注意ください。



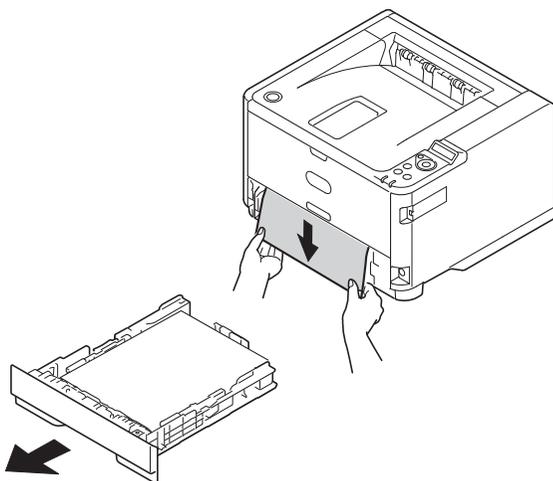
390 : ピックミス キュウシトレイが発生したとき

- 1** 給紙トレイから、詰まっている用紙を取り除きます。
- 2** 用紙をセットします。
- 3** トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。
- 4** トップカバーを閉じます。

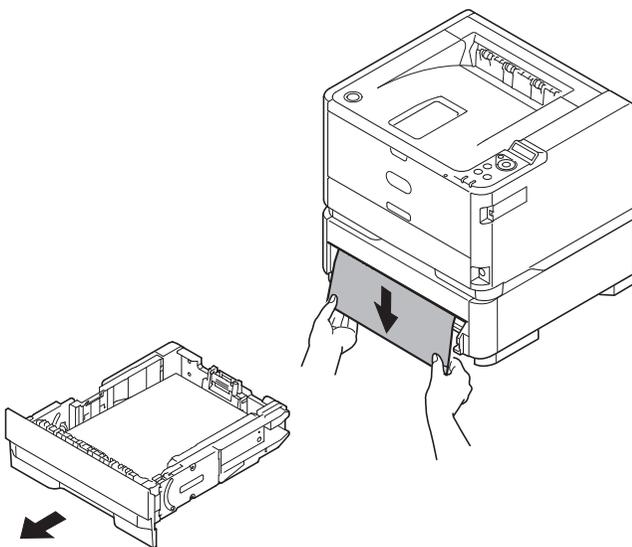
391 : ピックミス カセット 1 / 392 : ピックミス カセット 2 が発生したとき

- 1 給紙カセットや拡張給紙ユニットを引き出し、詰まっている用紙を取り除きます

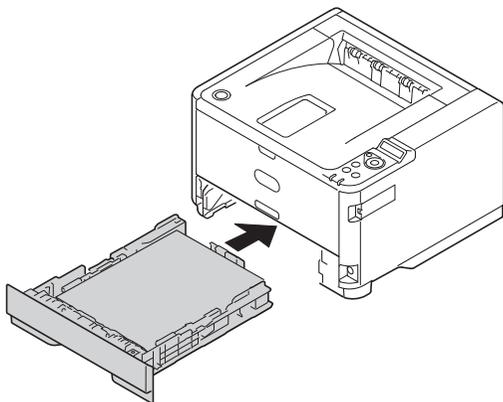
■ 給紙カセット（カセット1）の場合



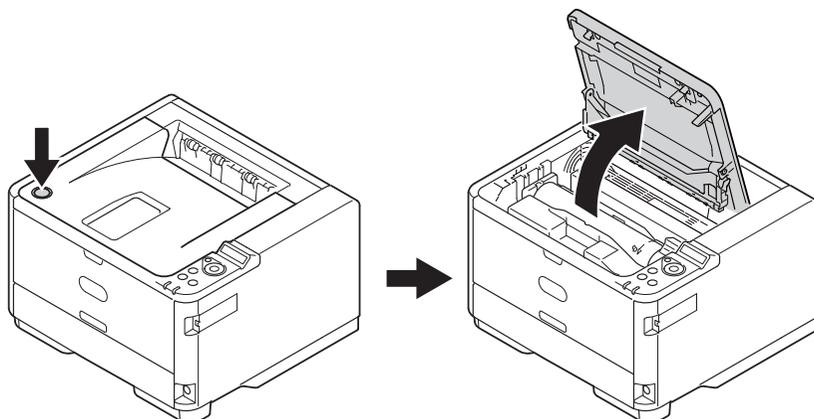
■ 拡張給紙ユニット（カセット2）の場合



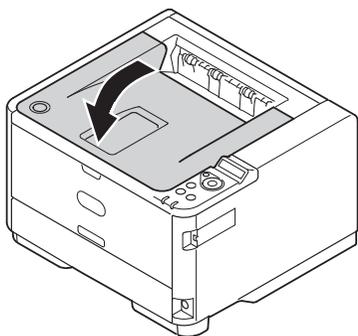
2 用紙カセットをプリンタに戻します。



3 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。



4 トップカバーを閉じます。



POINT

- ・給紙したときに紙詰まりが発生した場合は、それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないか確認してください。また、トップカバーをいったん開閉しないとアラーム表示を解除できません。

2 故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。まず、次の各項目をご確認ください。それでも解決しないときは、「お問い合わせ窓口」(→ P.191)にご連絡ください。

POINT

- ・パソコンのアプリケーションからの印刷時やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『ソフトウェアガイド』の「こんなときには」をご覧ください。

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
電源が入らない 電源を入れてもすぐに切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う ・電源スイッチを押しても電源が入らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを確実に差し込み、電源が入っている（オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDの点灯や点滅）ことを確認してください。 ・他の電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 ・電源コードを抜いて 10 分間放置後に、再度電源コードを挿入して電源スイッチを押し、電源が入ることを確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全上のご注意」(→ P.10) ・『設置ガイド』 ・「各部の名称と機能」(→ P.21)
電源を入れると液晶ディスプレイが「INITIALIZING」から1分以上変化しない	DHCP サーバーが存在しない IPv4 環境でお使いの場合、「ネットワークメニュー」の「DHCP ジドウシュトク」を「ジドウ」に設定して運用すると、電源を入れたときの「INITIALIZING」で1分以上、停止する場合があります。	DHCP サーバーが存在しない IPv4 環境でお使いの場合、「ネットワークメニュー」の「DHCP ジドウシュトク」を「シュドウ」に切り替えてお使いください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.83)
印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源が入っていない。 ・LAN ケーブル、プリンタ USB ケーブルが抜けている。 ・オンライン状態でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LAN ケーブル、プリンタ USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・オンラインランプが点灯し、「オンライン」と表示されていることを確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『設置ガイド』 ・「LAN ケーブル接続の場合」(→ P.32) ・「プリンタ USB ケーブル接続の場合」(→ P.35)
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	オペレータパネルの用紙サイズが正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> ・カセットの用紙サイズを確認してください。 ・カセットの縦／横ガイドのクリップが正しくセットされているか確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『ソフトウェアガイド』 ・「用紙をセットする」(→ P.46)
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを確実に押していない。 ・プリンタの状態で効かないスイッチがある。 	スイッチの中央部をしっかり押してください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.83)
オペレータパネルの液晶表示に何も表示されていない	省電力モード(スリープモード、ディープスリープモード)に入っています。	オペレータパネルの節電中ランプ / 解除スイッチを押して節電を解除してください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.83)

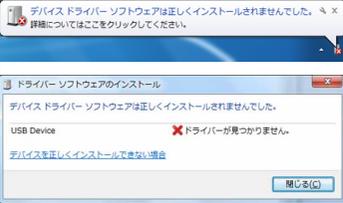
表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある。 ・給紙カセットの装着が不完全。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「用紙をセットする」(→P.46) ・「紙詰まりになったとき」(→P.126)
用紙が傾く、破れる、詰まる	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・給紙トレイや給紙カセットの用紙ガイドが正しくセットされていない。 	<p>それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。用紙やプリンタの設置状態に異常がなければ、紙送りローラが汚れていないか確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全上のご注意」(→P.10) ・「使用できる用紙と保管方法」(→P.115) ・「プリンタを清掃する」(→P.70)
用紙が二重送りされる	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙どろしがくっついてしまう。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 	<p>それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙をよくさばってください。 ・ラベル紙の場合は1枚ずつセットして印刷してください。 ・紙送りローラが汚れていないか確認してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「用紙をセットする」(→P.46) ・「使用できる用紙と保管方法」(→P.115) ・「プリンタを清掃する」(→P.70)
紙詰まりが発生した	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙がくっつきやすい。 ・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・紙送りローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・印刷中に給紙カセットを引き抜いた。 ・給紙カセットが正しくセットされていない。 	<p>それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙送りローラが汚れていないか確認してください。 ・「縦目」の用紙をお勧めします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全上のご注意」(→P.10) ・「使用できる用紙と保管方法」(→P.115) ・「紙詰まりになったとき」(→P.126) ・「プリンタを清掃する」(→P.70)
給紙カセットの出し入れができない	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷中に電源を切った。 ・紙詰まりが発生している。 	<p>それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源を切り、オペレータパネルの液晶ディスプレイやLEDが消灯していることを確認した後、数秒経過後に入れてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『設置ガイド』 ・「紙詰まりになったとき」(→P.126)
エラーメッセージが表示され、印刷されない	—	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。	「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→P.153)
裏面が汚れる	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 ・転写ローラが汚れている。 ・一度印刷された用紙の裏紙を使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れが取れたかどうか判断してください。 ・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「プリンタを清掃する」(→P.70) ・「オペレータパネルの操作」(→P.83) ・「使用できる用紙と保管方法」(→P.115)
用紙がないのにブザーが鳴らない	ブザーが鳴らない設定にしている。	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「オン」にしてください。	「オペレータパネルの操作」(→P.83)

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
トナーカートリッジを取り付けても「トナーカートリッジ カクニン」エラーが表示される	<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジが正しくセットされていない。 トナーカートリッジが正しく認識されていない。 	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。	—
トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けても、「トナーカートリッジ フィッチ」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 他社製のトナーカートリッジやドラムカートリッジを取り付けている。 トナーカートリッジやドラムカートリッジが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> 他社製のトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用していないか確認してください。 純正のトナーカートリッジやドラムカートリッジを使用していて、次のエラーメッセージが表示される場合には、トナーカートリッジやドラムカートリッジが故障しています。新しいトナーカートリッジやドラムカートリッジに交換してください。 	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
印刷開始時や印刷中にジュンビと表示される	印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した。	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	—
印刷中に「テイチャクオンド チョウセイチュウ」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> 用紙サイズが切り替わった。 幅の狭い用紙の大量印刷を行った。 	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	—
<ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイの表示が判読できない プリンタの動作が安定しない ハングアップする 	静電気による誤作動が起きた。	アースが正しく接続されていることを確認してください。	「安全上のご注意」(→ P.10)
連続印刷にもかかわらず、印刷速度が遅い	アプリケーション側で印刷処理に時間がかかっている。	<ul style="list-style-type: none"> 解像度を下げてみてください。 他のアプリケーションと印刷速度を比べてみてください。 	『ソフトウェアガイド』
<ul style="list-style-type: none"> ネットワークに接続できない(リンクランプが点灯しない) ネットワーク経由での印刷速度が遅い 	<ul style="list-style-type: none"> LAN ケーブルが抜けている。 通信速度に適していないLAN ケーブルを使用している。 プリンタ、もしくはハブユニットの Ethernet タイプが一致していない。 	<ul style="list-style-type: none"> LAN ケーブルが外れていないか確認してください。 通信速度に適したLAN ケーブルをご使用ください。 プリンタまたはハブユニットの Ethernet タイプを変更してください。印刷速度が向上する場合があります。Ethernet タイプには速度 (自動、100Mbps、10Mbps)、双方向モード (Full、Half) があります。 	「LAN ケーブル接続の場合」(→ P.32)
トナー交換時にオンラインになるまでに時間がかかる	—	プリンタの異常ではありません。しばらく待つとオンラインになります。	—
連続印刷中にいったん停止する	—	プリンタの異常ではありません。	—

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
<p>USB インターフェースでプリンタドライバをインストールできない</p>	<p>「ポートの選択」ウィンドウでUSBポートが見つからない。</p> 	<p>「FILE」を選択して「次へ」をクリックし、インストールを続行してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」 『ソフトウェアガイド』の「こんなときには」
<p>パソコンの画面に「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」と表示される</p>	<p>USB Deviceのデバイスドライバーソフトウェアが見つからなかった。</p> 	<p>プリンタドライバのインストールが正しく行われたか確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 『ソフトウェアガイド』の「ネットワークを利用しないプリンタの接続」 『ソフトウェアガイド』の「こんなときには」

3 印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。

ここで説明する処置を行っても印刷品質が改善されない場合や、記載以外の現象が起きた場合は、「お問い合わせ窓口」(→ P.191)にご連絡ください。

警告



- ・ プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)や「高温注意」をうながすラベルの矢印が指す箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

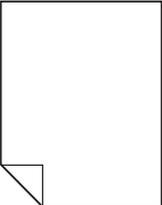
表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い(かすれる、不鮮明)  矢印は用紙送り方向	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「メニュー」→「プリント チョウセイ メニュー」→「インサツノウド」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.83)
	LEDヘッドが汚れている。	LEDヘッドを清掃してください。	「LEDヘッドを清掃する」(→ P.75)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.46)
	トナーカートリッジの交換時期。オペレータパネルに「マモナク トナー ギレ」と表示される。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
	トナーカートリッジが劣化または損傷している。	トナーカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ/汚れ/かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。トナーカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から24ヶ月(開封後は1年間)の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いします。有効期限は梱包箱に記載しています。	
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・『ソフトウェアガイド』
	1dot/1line線を印刷している。	解像度を落とすことで、改善される場合があります。	『ソフトウェアガイド』
図形の網かけなど、パターンで塗りつぶした文書が薄い。	プリンタドライバの「印刷オプション」にある「その他特殊設定」→「図形の中塗りパターンを拡大する」を「オン」にするまたは解像度を落とすことで、改善される場合があります。	『ソフトウェアガイド』	

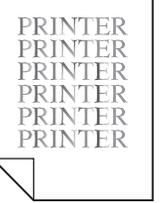
表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い（かすれる、不鮮明）	プリンタドライバの「印刷オプション」タブにある「トナーセーブする」を「オン」にしている。	プリンタドライバの「印刷オプション」タブにある「トナーセーブする」を「オフ」にすることで、改善される場合があります。	『ソフトウェアガイド』
	メニューモードの「カンリシャヨウメニュー」→「インサツメニュー」→「トナーセーブ」が「ユウコウ」になっている。	メニューモードの「カンリシャヨウメニュー」→「インサツメニュー」→「トナーセーブ」を「ムコウ」することで改善される場合があります。	「トナーセーブ[注7]」 (→ P.103)
黒点「・」や黒い小円「。」が印刷される  矢印は用紙送り方向	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。炭酸カルシウムを多く含んだ用紙は使用しないでください。	<ul style="list-style-type: none"> 「使用できる用紙」(→ P.116) 「使用できない用紙」(→ P.122)
	トナー残量が少なくなった。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。		
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れが取れたかどうか判断してください。	<ul style="list-style-type: none"> 「テスト印刷（印字率約5%サンプル）」(→ P.108) 「紙詰まりになったとき」(→ P.126)
黒線が印刷される  矢印は用紙送り方向	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
	等間隔に汚れる  矢印は用紙送り方向	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れが取れたかどうか判断してください。
	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
黒く塗りつぶされた部分に白点がある 	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・「使用できない用紙」(→ P.122)
	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・『ソフトウェアガイド』
指でこすると、印字がはがれる 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.46)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・「使用できない用紙」(→ P.122)
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	結露している。	プリンタを室温に充分になじませてください。	—
プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・『ソフトウェアガイド』 	
用紙全体に黒色が付いて印刷される 	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.191)
	ドラムカートリッジが正しくセットされていない。	ドラムカートリッジを正しくセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
何も印刷されない 	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.46)
	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しくセットされていない。	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを正しくセットしてください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
	ドラムカートリッジが寿命、劣化、または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.191)

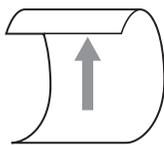
表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
<p>白抜けが起こる</p> 	LEDヘッドが汚れている。	LEDヘッドを清掃してください。	「LEDヘッドを清掃する」(→P.75)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→P.46)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→P.116) ・「使用できない用紙」(→P.122)
<p>矢印は用紙送り方向</p>	トナーカートリッジの交換時期。オペレータパネルに「マモナク トナー ギレ」と表示される。	新しいトナーカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→P.60)
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→P.116) ・『ソフトウェアガイド』
	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」(→P.46)
<p>用紙にシワが付く</p> 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→P.46)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→P.116) ・「使用できない用紙」(→P.122)
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。特に、薄い用紙や再生紙はシワが付きやすい傾向があります。「普通紙L」に設定し、印刷してみてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→P.116) ・『ソフトウェアガイド』
<p>文字がにじむ</p> 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→P.46)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→P.116) ・「使用できない用紙」(→P.122)
	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→P.60)
	ドラムカートリッジの交換時期。オペレータパネルに「マモナク ドラム ジュミョウ」または「ドラム コウカン」と表示される。		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→P.116) ・『ソフトウェアガイド』

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先	
縦長に白抜けする 	トナーカートリッジが正しくセットされていないまたはトナーカートリッジ内のトナーがかたよっている。	トナーロックレバー（緑色）がロックされていることを確認し、緑色の取っ手を持ち、トナーカートリッジごとドラムカートリッジを少し持ち上げながら手前に引き抜き正しくセットし直してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)	
	LEDヘッドが汚れている。	LEDヘッドを清掃してください。	「LEDヘッドを清掃する」(→ P.75)	
	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)	
	ドラムカートリッジの交換時期。 オペレータパネルに「マモナク ドラム ジュミョウ」または「ドラム コウカン」と表示される。			
矢印は用紙送り方向 	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・『ソフトウェアガイド』 	
	不要なトナーが付く	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。メニューモードの「メニュー」→「プリント チョウセイ メニュー」→「インサツノウド」から、設定値を小さい値へ変更してください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.83)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・「使用できない用紙」(→ P.122) 	
	一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。			
	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 ドラムカートリッジは、有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど印刷品質が劣化する場合があります。 ドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、製造から24ヶ月（開封後は1年間）の有効期限を設定していますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)	
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、紙送りローラ、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れの薄れ具合で、汚れが取れたかどうか判断してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「オペレータパネルの操作」(→ P.83) ・「紙詰まりになったとき」(→ P.126) 	

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
文字や図形に影が出る  矢印は用紙送り方向	一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。	適切な用紙をセットしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・「使用できない用紙」(→ P.122)
	ドラムカートリッジが劣化または損傷している。	新しいドラムカートリッジに交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
用紙がカールする  矢印は用紙送り方向	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.46)
	用紙の表裏を間違っている。	用紙の表裏を間違えていないか確認してください。用紙に表裏の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。包装された用紙は、開封面が印刷面です（カールが低減される場合があります）。	「用紙をセットする」(→ P.46)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.46)
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。特に、再生紙はカールしやすい傾向があります。「薄い紙」に設定し、印刷してみてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(→ P.116) ・『ソフトウェアガイド』

4 メッセージ一覧

オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。

- ・「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.153)
- ・「FUJITSU Printer Internet Service」で表示されるメッセージ一覧(→ P.158)

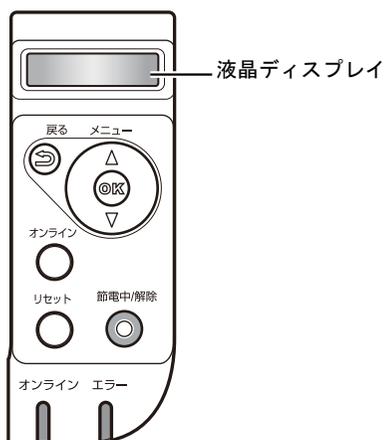
オペレータパネルに表示されるメッセージ

プリンタでエラーなどが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。次の表に従って処置してください。

POINT

ここに記載されていないオペレータパネルに表示されるメッセージについては、次をご覧ください。

- ・「液晶ディスプレイに表示される主な表示内容」(→ P.86)
- ・「エラーメッセージ一覧」(→ P.154)
- ・「警告メッセージ一覧」(→ P.157)



エラーメッセージ一覧

表：エラーメッセージ一覧

オペレータパネルに表示される内容 [s.code]：内部識別コード [size]：ドライバから指定した 用紙サイズ	説明と対処	参照先
310：トップカバー オープン トップカバーヲ トジテクダサイ	トップカバーが開いています。 印刷するときはカバーを閉じてください。	-
587：リアカバー オープン リアカバーヲ トジテクダサイ	リアカバーが開いています。 印刷するときはカバーを閉じてください。	
372：カミヅマリ リヨウメン [s.code]-[size] / リア/トップカバーヲ アケ テンシャユニットノ シタラ カク ニン	両面印刷ユニットまたは排紙部付近で紙詰まりが発生 しました。 ドラムカートリッジと転写ユニットを取り外し、詰 まった用紙を取り除いてください。 リアカバーを開けて詰まった用紙を取り除いてくださ い。	「372：カミヅマリ リヨウメンが発生し たとき」(→P.128)
380：カミヅマリ キュウシブ [s.code]-[size] / トップカバーヲアケ ヨ ウシジョキョ	印刷中に紙詰まりが発生しました。 トップカバーを開けて詰まっている用紙を取り除いて ください。	「380：カミヅマリ キュウシブ / 381： カミヅマリ ハンソ ウブが発生したと き」(→P.133)
381：カミヅマリ ハンソウブ [s.code]-[size] / トップカバーヲアケ ヨ ウシジョキョ		
382：カミヅマリ ハイシブ [s.code]-[size] / トップカバーヲアケ ヨ ウシジョキョ	印刷中に紙詰まりが発生しました。 リアカバーを開けて詰まっている用紙を取り除いてく ださい。	「382：カミヅマリ ハイシブが発生し たとき」(→P.136)
390：ピックミス キュウシトレイ [s.code]-[size] / トップカバーヲアケ ヨ ウシジョキョ	給紙トレイからの給紙中に紙詰まりが発生しました。 トップカバーを開けて詰まった用紙を取り除いてくだ さい。	「390：ピックミス キュウシトレイが発 生したとき」(→ P.140)
391：ピックミス カセット1 [s.code]-[size] / トップカバーヲアケ ヨ ウシジョキョ	カセット1(標準の給紙カセット)からの給紙中に紙詰 まりが発生しました。 トップカバーを開けて詰まった用紙を取り除いてくだ さい。	「391：ピックミス カセット1 / 392： ピックミス カセッ ト2が発生したとき」 (→P.141)
392：ピックミス カセット2 [s.code]-[size] / トップカバーヲアケ ヨ ウシジョキョ	カセット2(オプションの拡張給紙ユニット)からの給 紙中に紙詰まりが発生しました。 トップカバーを開けて詰まった用紙を取り除いてくだ さい。	
409：フェイスアップスタッカ ソウ サエラー ヨウシジョキョ/トップカバー カイ ヘイ	印刷中に、フェイスアップスタッカが操作されたため 印刷を停止しました。 フェイスアップスタッカを閉じて、トップカバーを開 閉してください。	-
430：カセット1 ミソウチャク [size] ライレテ ソウチャクシテクダサ イ	カセット1(標準の給紙カセット)が取り付けられてい ません。 表示されているサイズの用紙を入れて、カセットを取 り付けてください。	「給紙カセット、拡張 給紙ユニット(オプ ション)に用紙をセ ットする」(→ P.47)
440：カセット1ミソウチャク カセット1ヲ ソウチャクシテクダサイ	カセット2(オプションの拡張給紙ユニット)から印刷 しようとしたが、用紙走行路であるカセット1が 取り付けられていません。 カセット1を取り付けてください。	

表：エラーメッセージ一覧

オペレータパネルに表示される内容 [s.code]：内部識別コード [size]：ドライバから指定した 用紙サイズ	説明と対処	参照先
490：キュウシトレイ ヨウシナシ [size] ワイレテクダサイ	給紙トレイに用紙がありません。 表示されているサイズの内紙を入れてください。	「給紙トレイに用紙をセットする」(→ P.51)
491：カセット1 ヨウシナシ [size] ワイレテクダサイ	カセット1(標準の給紙カセット)に用紙がありません。 表示されているサイズの内紙を入れてください。	「給紙カセット、拡張給紙ユニット(オプション)に用紙をセットする」(→ P.47)
492：カセット2 ヨウシナシ [size] ワイレテクダサイ	カセット2(オプションの拡張給紙ユニット)に用紙がありません。 表示されているサイズの内紙を入れてください。	「給紙カセット、拡張給紙ユニット(オプション)に用紙をセットする」(→ P.47)
519：データジュシン タイムアウトエラー オンライン SW ヲオシテクダサイ	ネットワークからのデータ受信中にタイムアウトが発生しました。オンラインスイッチを押すまで表示し続けます。 ネットワークを確認してください。 オンラインスイッチを押してください。 エラーが発生した印刷データについては、正しく印刷されているかどうか確認してください。	-
581：リョウメンインサツガ デキマセン フェイスアップ スタッカヲ シメテクダサイ	両面印刷時にフェイスアップスタッカが開いていません。 フェイスアップスタッカを閉じてください。	-
670：キュウシトレイ サイズカクニン [s.code]-[size] ワイレテ トップカバーヲ カイヘシテクダサイ	給紙トレイから給紙された用紙のサイズが設定と違っています。 正しいサイズの内紙を給紙トレイに入れて、トップカバーを開閉してください。 プリンタ内に用紙が残っている場合は取り除いてください。	「給紙トレイに用紙をセットする」(→ P.51)
671：カセット1 サイズカクニン [s.code]-[size] ワイレテ トップカバーヲ カイヘシテクダサイ	給紙カセット1(標準の給紙カセット)から給紙された用紙のサイズが設定と違っています。 正しいサイズの内紙を給紙カセット1に入れて、トップカバーを開閉してください。 プリンタ内に用紙が残っている場合は取り除いてください。	「給紙カセット、拡張給紙ユニット(オプション)に用紙をセットする」(→ P.47)
672：カセット2 サイズカクニン [s.code]-[size] ワイレテ トップカバーヲ カイヘシテクダサイ	給紙カセット2(オプションの給紙カセット)から給紙された用紙のサイズが設定と違っています。 正しいサイズの内紙を給紙カセット2に入れて、トップカバーを開閉してください。 プリンタ内に用紙が残っている場合は取り除いてください。	「給紙カセット、拡張給紙ユニット(オプション)に用紙をセットする」(→ P.47)
343：ドラム ミソウチャク ドラムヲ タダシク セットシテクダサイ	ドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。 ドラムカートリッジを取り付け直してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
347：ドラム/トナー コウカン LEDヘッドヲ セイソウシテクダサイ	ドラムカートリッジの交換時期です。 ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換し、LEDヘッドを清掃してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
353：ドラム/トナー コウカン LEDヘッドヲ セイソウシテクダサイ	ドラムカートリッジの交換時期です。 ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換し、LEDヘッドを清掃してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
413：トナー コウカン LEDヘッドヲ セイソウシテクダサイ	トナーがなくなりました。 トナーカートリッジを交換してください。 そのまま印刷を続けると、ドラムカートリッジの故障の原因になります。	「トナーカートリッジを交換する」(→ P.60)

表：エラーメッセージ一覧

オペレータパネルに表示される内容 [s.code]：内部識別コード [size]：ドライバから指定した 用紙サイズ	説明と対処	参照先
543：トナーカクハンエラー ドラムヲセットシナオシテクダサイ	トナーセンサー信号に異常が発生しています。 ドラムカートリッジが正しくセットされているか、確認してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」 (→ P.60)
547：トナーキョウキュウエラー トナーカートリッジヲカクニンシテクダサイ	トナーカートリッジがロックされていません。 トナーカートリッジのレバーを確認してください。	
563：ドラム／トナーコウカン LEDヘッドヲセイソウシテクダサイ	ドラムカートリッジの交換時期です。 ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジを交換し、LEDヘッドを清掃してください。	
613：カートリッジナシ／NG タダシイ トナーヲ セットシテクダサイ	トナーカートリッジが取り付けられていないまたはトナーカートリッジが不良です。 トナーカートリッジが正しくセットされているか、確認してください。	
617：トナーカートリッジ フィッチ タダシイ ドラム／トナーヲ セットシテクダサイ	取り付けられているトナーカートリッジが、使用できない場合に表示されます。 トナーカートリッジを交換してください。	
623：トナーカートリッジ フィッチ タダシイ ドラム／トナーヲ セットシテクダサイ		
オンライン SW ヲオシテクダサイ エラー PDL PU FLASH ERROR COMMUNICATION ERROR	プリンタに異常が発生しています。いったん電源を切り、再度電源を入れてください。 それでも復旧しない場合は、富士通ハードウェア修理相談センターへご連絡をお願いします。	「お問い合わせ窓口」 (→ P.191)

警告メッセージ一覧

表：警告メッセージ一覧

オペレータパネルに表示される内容	説明と対処	参照先
<input type="checkbox"/> 200K キット コウカン	200K 交換キットの交換時期です。	「定期交換部品について」(→ P.173)
<input type="checkbox"/> ソウチジュミョウ	本製品の寿命です。 新しい製品と交換してください。	—
<input type="checkbox"/> マモナク トナー ギレ	トナーが残り少なくなっています。 新しいトナーカートリッジを準備してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
<input type="checkbox"/> マモナク ドラム ジュミョウ	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。 新しいドラムカートリッジとトナーカートリッジを準備してください。	
<input type="checkbox"/> トナー コウカン	トナーがなくなりました。 新しいトナーカートリッジに交換してください。	
<input type="checkbox"/> ドラム コウカン	ドラムカートリッジの寿命およびトナーがなくなりました。 新しいドラムカートリッジとトナーカートリッジに交換してください。 なお、「353：ドラム／トナー コウカン」表示後は、トップカバーの開閉で A4、5% 印字率で最大 100 枚まで印刷できますが、20 枚印刷ごとに印刷が停止します。トップカバーの開閉でメッセージが消える場合は引き続き印刷が可能です。	
<input type="checkbox"/> トナー センサー	トナーセンサー信号が異常です。 トナーカートリッジが正しくセットされているか、確認してください。それでもメッセージが消えない場合は、プリンタの電源を切り、入れ直してください。	
<input type="checkbox"/> トナーカートリッジナシ	トナーカートリッジが取り付けられていないまたはトナーカートリッジが不良です。 トナーカートリッジが正しくセットされているか、確認してください。	
オンライン SW ラオシテク ダサイ ブタンイインサツエラー	データがメモリフル状態になりました。オンラインスイッチを押して警告表示を解除してください。	—
オンライン ムコウ データ ジュシン/ オンラインヲ オシテクダサイ	無効なデータを受信しました。 オンラインスイッチを押して警告表示を解除してください。	
ベツノ I P v4 アドレスヲ セツテイシテクダサイ I P v4 アドレスガ チョウ フクシテイマス	IPv4 アドレスが他の機器と重複しています。 IPv4 アドレスの設定を確認してください。	「IP アドレスの設定」(→ P.109)

警告が複数同時発生している場合は、切り替えて表示されることがあります。

「FUJITSU Printer Internet Service」で表示されるメッセージ一覧

「FUJITSU Printer Internet Service」の利用時に、トップページの「エラー情報」に表示されるメッセージについて説明します。「FUJITSU Printer Internet Service」については、『ソフトウェアガイド』の「Web ブラウザによるプリンタの管理 (FUJITSU Printer Internet Service)」をご覧ください。



メッセージは英語で表示されます。表示内容の意味は次の表のとおりです。また、メッセージは優先度の高いものから表示されますので、優先度の低いメッセージは、優先度の高いメッセージが対処されるまで表示されないことがあります。優先度は次の表の順番になります。

表：「FUJITSU Printer Internet Service」で表示されるメッセージ一覧

種別	表示メッセージ	メッセージの意味と対処	参照先
エラー	Service Call Required	プリンタに異常が発生しています。プリンタの電源を切り、入れ直してください。それでも復旧しない場合は、富士通ハードウェア修理相談センターへご連絡ください。	「お問い合わせ窓口」(→ P.191)
エラー	Cover Open for Upper Cover	プリンタのトップカバーが開いています。印刷するときは、トップカバーを閉じてください。	—
エラー	Cover Open for Rear Cover	プリンタのリアカバーが開いています。印刷するときは、リアカバーを閉じてください。	—
エラー	Drum Missing	ドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。ドラムカートリッジを取り付け直してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
エラー	Improper Toner Lock Lever Position	トナーカートリッジのロックレバーの位置が正しくありません。トナーカートリッジを取り付け直してください。	—

表：「FUJITSU Printer Internet Service」で表示されるメッセージ一覧

種別	表示メッセージ	メッセージの意味と対処	参照先
エラー	Paper Jam for Duplex Unit	転写ユニット付近での紙詰まりです。トップカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。	「紙詰まりになったとき」(→ P.126)
エラー	Faceup Stacker Error	印刷中に、フェイスアップスタッカが操作されたため印刷を停止しました。フェイスアップスタッカを閉じて、トップカバーを開閉してください。	—
エラー	Paper Feed Jam	用紙排出部、定着器付近での紙詰まりです。トップカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。	「紙詰まりになったとき」(→ P.126)
エラー	Paper Input Jam for MP Tray	給紙トレイの用紙給紙口付近での紙詰まりです。トップカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。	「紙詰まりになったとき」(→ P.126)
エラー	Paper Size Error for MP Tray Paper Size Error for Cassette1 Paper Size Error for Cassette2	給紙トレイ、給紙カセット、拡張給紙ユニット(オプション)にセットされている用紙のサイズが、プリンタドライバ側の設定値と異なっています。 用紙の排出途中で本メッセージが表示され、プリンタ内に用紙が残っている場合は、用紙を取り除いてから「sss」に表示されているサイズの用紙をセットしてください。 用紙が排出された場合は、「sss」に表示されているサイズの用紙をセットし、トップカバーを開閉してください。	<ul style="list-style-type: none"> 「紙詰まりになったとき」(→ P.126) 「給紙トレイに用紙をセットする」(→ P.51) 「給紙カセット、拡張給紙ユニット(オプション)に用紙をセットする」(→ P.47)
エラー	Toner Sensor Error	トップカバーを開閉してみて、メッセージが消える場合は問題ありません。メッセージが消えない場合は、トナーセンサーに異常が発生しています。ドラムカートリッジが正しく取り付けられているか、確認してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
エラー	Toner Not Installed	トナーカートリッジが取り付けられていないまたはトナーカートリッジが不良です。トナーカートリッジが正しくセットされているか、確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60) 「サプライ品一覧」(→ P.174)
エラー	Incompatible Toner	取り付けられているトナーカートリッジが使用できない場合に表示されます。トナーカートリッジを交換してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
エラー	Toner Out	トナーカートリッジの交換時期です。新しいトナーカートリッジと交換してください。トップカバーを開閉してメッセージが消える場合は、そのまま使用してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
エラー	Memory Over Flow	メモリ不足です。オンラインスイッチを押してエラーを解除し、解像度を下げてから印刷してください。	『ソフトウェアガイド』
エラー	Paper Cassette Open for Cassette1	カセット 1 (標準の給紙カセット) が正しく取り付けられていません。カセット 1 を取り付けてください。	「給紙カセット、拡張給紙ユニット(オプション)に用紙をセットする」(→ P.47)
エラー	Receiving Data Timeout	印刷データの受信タイムアウトが発生しました。	—
エラー	Paper Out for MP Tray	給紙トレイの用紙がありません。給紙トレイに用紙をセットしてください。	「給紙トレイに用紙をセットする」(→ P.51)

表：「FUJITSU Printer Internet Service」で表示されるメッセージ一覧

種別	表示メッセージ	メッセージの意味と対処	参照先
エラー	Paper Out for Cassette1	カセット 1 (標準の給紙カセット) の用紙がありません。カセット 1 に用紙をセットしてください。	「給紙カセット、拡張給紙ユニット (オプション) に用紙をセットする」 (→ P.47)
エラー	Paper Out for Cassette2	カセット 2 (オプションの拡張給紙ユニット) の用紙がありません。カセット 2 に用紙をセットしてください。	
エラー	Faceup Stacker Open	フェイスアップスタッカが開いています。フェイスアップスタッカを閉じてください。両面印刷時に発生します。フェイスアップスタッカを閉じてください。	—
エラー	Size or Media Mismatch for Cassette1	カセット 1 (標準の給紙カセット) の用紙サイズおよび用紙種類の設定値が、プリンタドライバ側とオペレータパネル側で一致していません。リセットスイッチを押してジョブをキャンセルするか、プリンタドライバで指定した用紙をセットしてオンラインスイッチを押してください。エラーの解除後、プリンタドライバ側とオペレータパネル側の用紙サイズの設定値を見直してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタドライバ側の設定 「印刷する」の手順 5 (→ P.58) ・オペレータパネル側の設定 「メニュー」→「ヨウシメニュー」→「カセット1 セッテイ」→「ヨウシサイズ」 (→ P.94) または「ヨウシシユルイ」 (→ P.95) ・「給紙カセット、拡張給紙ユニット (オプション) に用紙をセットする」 (→ P.47)
エラー	Size or Media Mismatch for Cassette2	カセット 2 (オプションの拡張給紙ユニット) の用紙サイズおよび用紙種類の設定値が、プリンタドライバ側とオペレータパネル側で一致していません。リセットスイッチを押してジョブをキャンセルするか、プリンタドライバで指定した用紙をセットしてオンラインスイッチを押してください。エラーの解除後、プリンタドライバ側とオペレータパネル側の用紙サイズの設定値を見直してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタドライバ側の設定 「印刷する」の手順 5 (→ P.58) ・オペレータパネル側の設定 「メニュー」→「ヨウシメニュー」→「カセット2 セッテイ」→「ヨウシサイズ」 (→ P.95) または「ヨウシシユルイ」 (→ P.96) ・「給紙カセット、拡張給紙ユニット (オプション) に用紙をセットする」 (→ P.47)
エラー	Paper Request for MP Tray	給紙トレイに用紙をセットしてください。	「給紙トレイに用紙をセットする」 (→ P.51)
ワーニング	Invalid Data	無効なデータを受信しました。	—
ワーニング	Storage Error	フラッシュメモリアクセスエラーが発生しています。	
ワーニング	Collate Fail:Too Many Pages	部単位印刷でメモリがいっぱいになりました。	

表：「FUJITSU Printer Internet Service」で表示されるメッセージ一覧

種別	表示メッセージ	メッセージの意味と対処	参照先
ワーニング	Drum Life Error	ドラムカートリッジの交換時期です。新しいドラムカートリッジと交換してください。トップカバーを開閉してメッセージが消える場合は、そのまま使用してください。	「トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する」(→ P.60)
ワーニング	Toner Not Installed Warning	トナーカートリッジが装着されていません。トナーカートリッジを取り付けてください。	
ワーニング	Toner Out	トナーカートリッジの交換時期です。新しいトナーカートリッジと交換してください。トップカバーを開閉してメッセージが消える場合は、そのまま使用してください。	
ワーニング	Toner Sensor Warning	トナーセンサーに異常が発生しています。ドラムカートリッジを取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、プリンタの電源を切り、入れ直してください。	—
ワーニング	Drum Life Warning	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを準備してください。	
ワーニング	Toner Low	トナーが残り少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。	
ワーニング	Printer Life Error	本製品が寿命に達しました。	

8

第 8 章 付録

この章では、本製品を使用するときに補助的に必要となること
がらについて説明します。

1 仕様	164
2 オプション品一覧	171
3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について	172
4 サプライ品一覧	174
5 用紙の印刷方向と印刷可能領域について	175
6 TEXT モードに関する情報	178
7 漢字一覧	185
8 アフターサービスについて	191
9 安全データシート	193

1 仕様

本製品の本体仕様とインターフェース仕様は、次のとおりです。

本体仕様

型名		XL-4405			
印刷方式		乾式電子写真方式			
印刷速度 (コピー動作による連続印刷時) 単位: ページ/分	片面	A4	40 ページ/分 [注 1]	給紙トレイ	34 ページ/分
		A5	32 ページ/分		32 ページ/分
		A6	29 ページ/分		25 ページ/分
		B5	28 ページ/分		28 ページ/分
		ユーザ定義サイズ	[注 2]		[注 2]
		長尺紙	—		[注 2]
	両面	A4	20 ページ/分		19 ページ/分
		A5	—		—
		A6	—		—
		B5	15 ページ/分		15 ページ/分
		ユーザ定義サイズ	[注 2]		[注 2]
				<ul style="list-style-type: none"> 両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。 厚紙モードにすると印刷速度は遅くなります。 ユーザ定義サイズの場合、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。 大量に印刷すると、クールダウンのため、いったん停止または印刷速度が遅くなる場合があります。 	
ウォームアップ時間		約 17 秒 (電源: AC100V、周囲温度: 22 °C のとき)			
エンジン解像度		1200dpi			
データ処理解像度		300dpi×300dpi 600dpi×600dpi 1200dpi×1200dpi			
用紙種類		<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイ 薄い紙 (60 ~ 63g/㎡)、普通紙 (64 ~ 74g/㎡)、やや厚い紙 (75 ~ 89g/㎡)、厚い紙 (90 ~ 104g/㎡)、より厚い紙 (105 ~ 120g/㎡)、ごく厚い紙 (121 ~ 163g/㎡)、ラベル紙 (厚さ 0.1 ~ 0.15mm)、郵便はがき (190g/㎡)、往復はがき (190g/㎡)、封筒 給紙カセット (標準) 薄い紙 (60 ~ 63g/㎡)、普通紙 (64 ~ 74g/㎡)、やや厚い紙 (75 ~ 89g/㎡)、厚い紙 (90 ~ 104g/㎡)、より厚い紙 (105 ~ 120g/㎡) 拡張給紙ユニット (オプション) 薄い紙 (60 ~ 63g/㎡)、普通紙 (64 ~ 74g/㎡)、やや厚い紙 (75 ~ 89g/㎡)、厚い紙 (90 ~ 104g/㎡)、より厚い紙 (105 ~ 120g/㎡) 			
用紙サイズ		<ul style="list-style-type: none"> 給紙トレイ A4、A5、A6、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ (片面) (幅 86 ~ 216mm、長さ 140 ~ 356mm)、ユーザ定義サイズ (両面) (幅 182 ~ 216mm、長さ 257 ~ 356mm)、長尺紙 (幅 210mm 固定、長さ 356.1 ~ 1321mm)、はがき、往復はがき、封筒 (長形 3 号、長形 4 号、洋形 4 号) 給紙カセット (標準) A4、A5、A6、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ (片面) (幅 100 ~ 216mm、長さ 148 ~ 356mm)、ユーザ定義サイズ (両面) (幅 182 ~ 216mm、長さ 257 ~ 356mm) 拡張給紙ユニット (オプション) A4、A5、A6、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ (片面) (幅 148 ~ 216mm、長さ 210 ~ 356mm)、ユーザ定義サイズ (両面) (幅 182 ~ 216mm、長さ 257 ~ 356mm) 			
給紙方式 [注 3]		給紙カセットによる自動給紙 (収納枚数: 250 枚) 拡張給紙ユニットによる自動給紙 (収納枚数: 550 枚) 給紙トレイによる自動給紙 (収納枚数: 100 枚 (はがき 25 枚、封筒 10 枚))			

型名	XL-4405	
両面印刷	<ul style="list-style-type: none"> 用紙種類 薄い紙 (60 ~ 63g/㎡)、普通紙 (64 ~ 74g/㎡)、やや厚い紙 (75 ~ 89g/㎡)、厚い紙 (90 ~ 104g/㎡)、より厚い紙 (105 ~ 120g/㎡) 用紙サイズ A4、B5、レター、リーガル、 ユーザ定義サイズ (幅 186 ~ 216mm、長さ 257 ~ 356mm) 	
排紙方法 [注3]	フェイスダウン (スタック枚数: 150 枚)、フェイスアップ (スタック枚数: 100 枚)	
使用環境条件	温度: 10 ~ 32℃、湿度: 20 ~ 80%RH、最大湿球温度: 25℃ 印刷推奨環境: 17 ~ 27℃、50 ~ 70%RH	
電源、電源周波数	AC100V±10V、単相 50/60Hz±1Hz	
消費電力	最大	900W
	平均値	600W
	待機時	80W
	節電モード時	約 7.0W
	スリープモード時	約 7.0W
	ディープスリープモード時 [注4]	約 1.4W
電源オフ時	約 0.5W	
TEC 値	0.65kWh	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 (2017 年度基準)	区分名	C
	印刷速度	モノクロ: 40 枚/分
	年間消費電力量	107kWh/年 (40ppm)
定格電流	7A	
騒音 [注5]	待機時: 30dB (A) 以下、稼働時: 56dB (A) 以下	
外形寸法	幅 387 mm、奥行き 393 (423) mm、高さ 244.5 (383) mm (): 拡張給紙ユニット含む	
質量	約 12.0kg (約 17.0kg) (): 拡張給紙ユニット含む (スタータートナー、スタータードラム含む、用紙なし)	
インターフェース	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T LAN ポート USB2.0 インターフェース (Hi-Speed USB をサポート)	
対応ネットワーク	TCP/IP (IPP、LPR、TCP Port9100、HTTP、SNMP)	
プリンタシーケンス [注6]	WIN (XL プリンタドライバ)、TEXT モード (ESC/P 相当)	
文字・書体	<ul style="list-style-type: none"> WIN 日本語 4 書体、欧文アウトラインフォント 87 書体、欧文ビットマップフォント 4 書体 TEXT モード 日本語 2 書体 (文字コード: JIS X0208-1990 に準拠)、欧文 2 書体 	
耐用期間 [注7]	5 年または 40 万ページのいずれか早いほう	
電源コード	2 本 (アース引出線付 2 極プラグ) (3 極プラグ)	
サポート OS [注8]	Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/ Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012	

注1 : 16℃ ≤ 環境温度 < 30℃ のとき。

10℃ ≤ 環境温度 < 15℃ のとき、30℃ ≤ 環境温度 ≤ 32℃ のとき、または拡張給紙ユニットでの印刷時は、38 枚ページ/分の印刷速度で印刷します。

注2 : ユーザ定義サイズの用紙に印刷する場合は、「ユーザ定義サイズ (普通紙) および長尺紙 (ごく厚い紙) を印刷する場合の印刷速度」(→ P.166) に記載の速度で印刷します。

注3 : 収容および排紙枚数は 64g/㎡ で換算

注4 : TCP のコネクションが確立している場合にはディープスリープモードに移行しません。

注5 : ISO7779 に基づく実測値であり、バイスタンダ (近在者) 位置の音圧レベルです。

注6 : データ処理解像度

- WIN (XL プリンタドライバ) : 1200dpi/600dpi/300dpi
- TEXT モード (ESC/P 相当) : 180dpi

注7 : 耐用期間のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源オン、オフによる初期化動作の頻度などにより異なります。

ご使用の頻度や用紙、温湿度環境により、装置寿命が大幅に短くなる場合があります。記載の内容は目安であり、保証するものではありません。

安定した品質でご使用いただく目安として、月間 3,300 ページ程度までのご使用をお勧めします。また、1 日あたりの最大印刷枚数は、1,000 ページ以内でご使用ください。

注8 : 日本語版、64 ビット版と 32 ビット版の両方に対応

ユーザ定義サイズ（普通紙） および長尺紙（ごく厚い紙）を印刷する場合の印刷速度

ここでは、長尺紙を除き普通紙における印刷速度について説明します。次の表とグラフで示すように、用紙の長さにより、印刷速度は変化します。用紙の長さが短いほど、印刷速度は速くなります。

■片面印刷の場合

		印刷速度（単位：ページ/分）					
		給紙カセット （カセット1）		拡張給紙ユニット （カセット2）		給紙トレイ	
		・ グラフ A 200.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm ・ グラフ B、C 148.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm		・ グラフ A、B、C 210.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm		・ グラフ A 200.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm ・ グラフ B 148.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm ・ グラフ C 140.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm	
		クリーニング なし	クリーニング あり	クリーニング なし	クリーニング あり	クリーニング なし	クリーニング あり
グラフ A	200.0mm ≤ 用紙幅 ≤ 215.9mm	34.11～70.88	32.56～67.66	32.88～50.67	31.41～48.39	47.45～53.55	45.62～51.49
	グラフの線	◆◆ (1)	▲▲ (2)	◆▲ (3)	▲▲ (4)	■■ (5)	◆◆ (6)
グラフ B	148.0mm ≤ 用紙幅 < 200.0mm	22.11～40.65	21.05～38.71	22.11～32.52	21.06～30.98	35.34～41.42	33.78～39.59
	グラフの線	◆◆ (1)	▲▲ (2)	◆◆ (3)	▲▲ (4)	■■ (5)	◆◆ (6)
グラフ C	100.0mm ≤ 用紙幅 < 148.0mm	14.86～29.71	13.71～27.41	—	—	—	—
	グラフの線	◆◆ (1)	▲▲ (2)	—	—	—	—
	86.0mm ≤ 用紙幅 < 148.0mm	—	—	—	—	21.92～25.85	20.46～24.14
	グラフの線	—	—	—	—	▲▲ (3)	■■ (4)

長尺紙（ごく厚い紙）		印刷速度（単位：ページ/分）	
		給紙トレイ	
		355.6mm ≤ 用紙長 ≤ 1320.8mm	
		クリーニングなし	クリーニングあり
グラフ D	用紙幅 = 210.0mm	4.35～13.58	4.06～12.68
	グラフの線	◆◆ (1)	▲▲ (2)

■両面印刷の場合

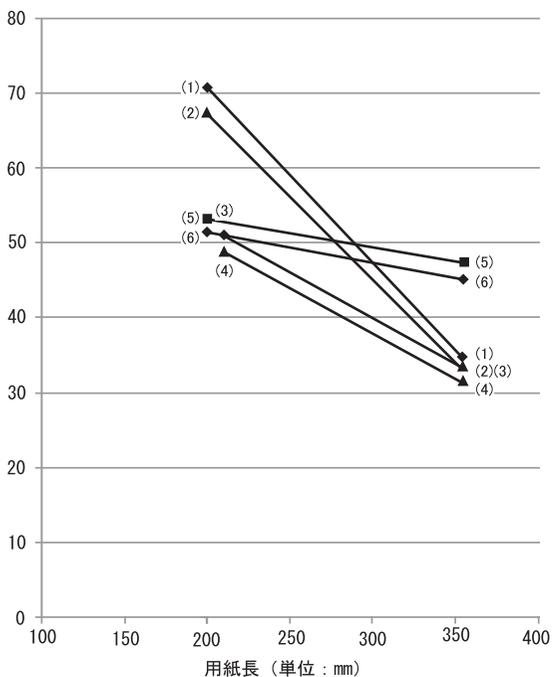
ユーザ定義サイズ (普通紙)		印刷速度 (単位: ページ/分)					
		給紙カセット (カセット 1)		拡張給紙ユニット (カセット 2)		給紙トレイ	
		257.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm		257.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm		257.0mm ≤ 用紙長 ≤ 355.6mm	
		クリーニング グなし	クリーニング グあり	クリーニング グなし	クリーニング グあり	クリーニング グなし	クリーニング グあり
グラフ E	200.0mm ≤ 用紙幅 ≤ 215.9mm	18.73~21.66	17.88~20.68	18.73~20.79	17.68~19.69	18.17~20.92	17.47~20.11
	グラフの線	◆◆ (1)	▲▲ (2)	▲◆ (3)	■▲ (4)	▲■ (5)	■▲ (6)
グラフ F	182.0mm ≤ 用紙幅 < 200.0mm	13.54~15.62	12.90~14.88	13.54~15.62	12.73~14.68	13.52~15.60	12.93~14.91
	グラフの線	◆◆ (1)	▲▲ (2)	◆◆ (3)	▲▲ (4)	◆◆ (5)	▲▲ (6)

POINT

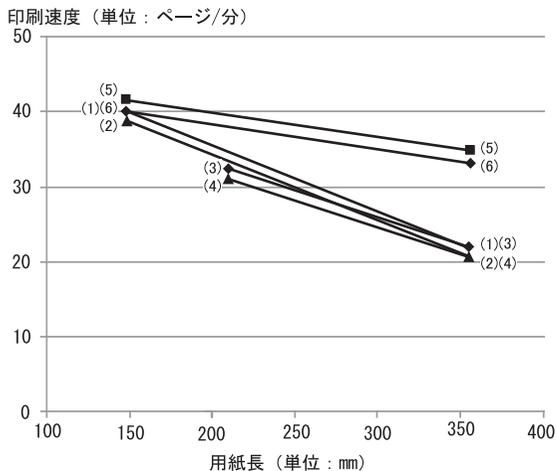
- ・ 厚い紙の場合は、用紙にトナーを確実に定着させるため、印刷速度は遅くなります。
- ・ クリーニングが有りの場合、印刷中にプリンタ内のクリーニング動作を行うため、クリーニングがなしの場合より、1分あたりの印刷枚数が少なくなります。

グラフ A : 片面 / 普通紙 (200.0mm ≤ 用紙幅 ≤ 215.9mm) の場合

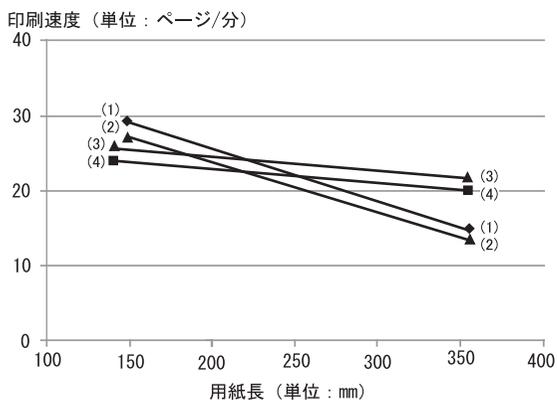
印刷速度 (単位: ページ/分)



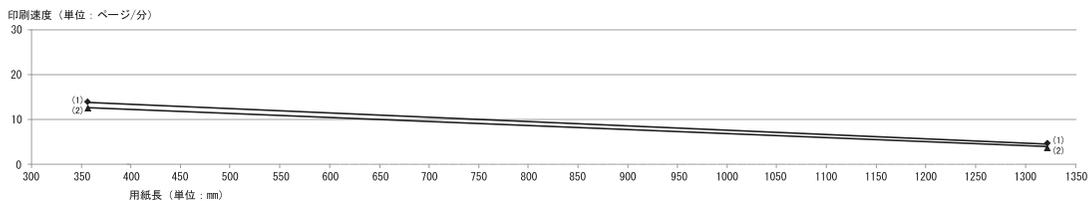
グラフ B：片面／普通紙（148.0mm ≤用紙幅< 200.0mm）の場合



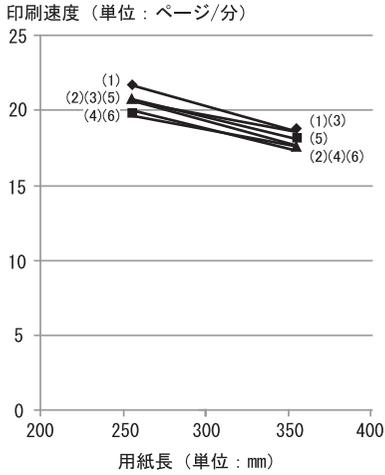
グラフ C：片面／普通紙（カセット 1：100.0mm ≤用紙幅< 148.0mm、給紙トレイ：86.0mm ≤用紙幅< 148.0mm）の場合



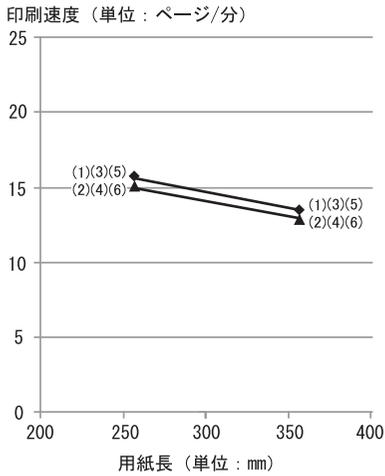
グラフ D：片面／ごく厚い紙（長尺紙 用紙幅 = 210.0mm）の場合



グラフ E：両面／普通紙（200.0mm ≤用紙幅 ≤ 215.9mm）の場合



グラフ F：両面／普通紙（182.0mm ≤用紙幅 < 200.0mm）の場合

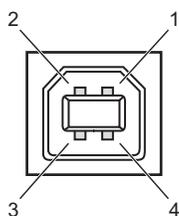


インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、USB インターフェースを採用しています。

USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

- ・ 基本仕様
USB 仕様の Revision2.0 準拠
- ・ インターフェースコネクタ
プリンタ側 : B レセプタクル (メス)
- ・ ケーブル
XL-CBLU2G または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
- ・ 伝送モード
High Speed (最大 480Mbps)、Full Speed (最大 12Mbps)
- ・ 電力制御
セルフパワーデバイス
- ・ USB ピン配列



ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源 (+5v)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

2 オプション品一覧

本製品で使用できるオプション品の一覧は次のとおりです。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) でご確認ください。

拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF55MI	2 段目の給紙ユニットとして使用できます。収容枚数は約 550 枚 (64g/ m ² の用紙の場合) です (給紙カセットが拡張給紙ユニット内に入っています)。

プリンタケーブル

■プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	サポート OS が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています (1.5m)。

3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品 ／ 24 時間運用について

有寿命部品、消耗品、定期交換部品、24 時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、適切な使用環境（温度：17～27℃、湿度：50～70%RH）において1日8時間のご使用で約5年または40万ページ印刷（用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ本体の電源オン、オフ頻度や通電時間などにより印刷枚数が減少します）。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・200K 交換キット（定期交換部品）を交換しない場合は、耐用印刷ページ数が20万ページ印刷になります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となります場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは「お問い合わせ窓口」（→P.191）にご連絡ください。
- ・補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後5年間です。
- ・本製品をより長く安定にご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品一覧>

制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

消耗品について

トナーカートリッジやドラムカートリッジなどの消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

サプライ品については、「サプライ品一覧」（→P.174）をご覧ください。

定期交換部品について

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換するときは、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、専用の窓口にご連絡ください。未契約のお客様は、「お問い合わせ窓口」（→ P.191）にご連絡ください。

なお、定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳しくは富士通の担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守運用支援サービス「SupportDesk」については、富士通ホームページ「製品サポート（法人のお客様向け）」（<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>）をご覧ください。補修用性能部品（保守部品）、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。

定期交換部品	交換時期の目安
200K 交換キット	20 万ページ印刷後を目安に「200K キット コウカン」表示で交換

[注] 上記は、A4 サイズ縦送り（SEF）／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

A4 サイズ縦送りの場合や長い用紙をご使用の場合は、装置寿命までに印刷できるページ数が減少します。

24 時間以上の連続運用について

本製品は、24 時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっておりません。

24 時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

4 サプライ品一覧

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。
なお、サプライ品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) でご確認ください。

サプライ品のご購入については、本製品をご購入の販売店または株式会社カウネットにご相談ください。

- ・ サプライ品に関するお問い合わせについて
株式会社カウネット
<通話料無料> 0120-505-279
月～金：9:00～12:00 および 13:00～17:30
(祝日、株式会社カウネット指定の休日を除く)

⚠ 注意



- ・ トナーカートリッジやドラムカートリッジは、本製品専用の純正品のご使用をお奨めします。富士通プリンタは、純正のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

👉 重要

トナーカートリッジやドラムカートリッジ（環境共生トナーを含む）は、安定した画質を維持するために、製造から 24ヶ月（開封後は 1 年間）の有効期限を設定しています。有効期限を過ぎたものを使用すると、印刷ムラ／汚れ／かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、有効期限内での使用をお願いいたします。有効期限は梱包箱に記載しています。

商品名	商品番号	備考
ドラムカートリッジLB112	0805530	印刷量の目安は、3 ページ/ジョブにて、約 30,000 ページです。
トナーカートリッジLB112A	0805510	印刷量の目安は、約 3,000 ページ [注] です (JIS X 6931(ISO/IEC19752)に基づく)。
トナーカートリッジLB112B	0805520	印刷量の目安は、約 7,000 ページ [注] です (JIS X 6931(ISO/IEC19752)に基づく)。
レーザープリンタ置台	0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法：600 (W) ×610 (D) ×440 (H) mm

注：上記枚数はあくまでも目安であり、印刷寿命を保証するものではありません。

実際の印字可能枚数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などやプリンタ本体の電源オン、オフに伴う初期化動作やプリント品質保持のための調整動作などにより異なる場合があります。

間欠印刷時には、印刷枚数が減少します。

また、低印字率での運用環境では、オペレータパネルに「マモナク トナー ギレ」、「マモナク ドラム ジュミョウ」の警告メッセージまたは「トナー コウカン」、「ドラム コウカン」のエラーメッセージが出る前に、黒スジ、薄黒い汚れやかすれが発生する場合があります。

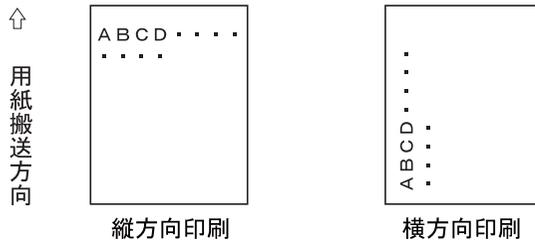
トナーカートリッジやドラムカートリッジの寿命ですので、新しいトナーカートリッジやドラムカートリッジに交換してください。

5 用紙の印刷方向と印刷可能領域について

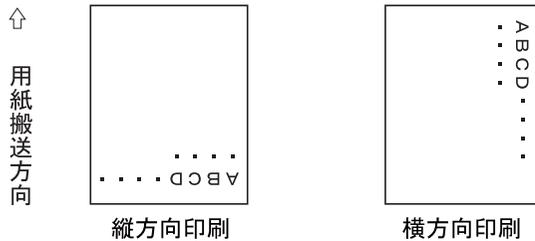
本製品は、給紙カセットや給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。ここでは、給紙方法と用紙サイズとの対応を説明します。

印刷方向

A4、A5、A6、B5、リーガル、レター、はがき、往復はがき、長尺紙サイズ、ユーザ定義サイズの用紙の場合



封筒長形 3号、封筒長形 4号、封筒洋形 4号の場合



重要

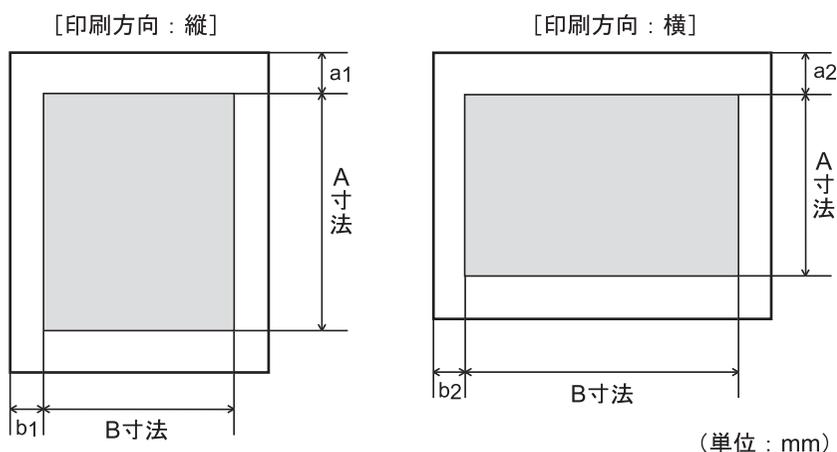
- ・郵便はがき、郵便往復はがき、ラベル紙（A4/レター）、封筒、長尺用紙は給紙カセットからの印刷をサポートしていません。給紙トレイをご使用ください。

POINT

- ・用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプか、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。
- ・ユーザ定義サイズは縦長の用紙のみサポートしています。

印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。



WIN (XL プリンタドライバ) 使用時

$a1=a2=5\text{ mm}$ 、 $b1=b2=5\text{ mm}$

用紙方向	用紙サイズ	A4	B5	A5	A6	リーガル	レター	はがき	往復はがき	封筒長形3号	封筒長形4号	封筒洋形4号
縦方向	A寸法	287	247	200	138	346	270	138	190	225	195	225
	B寸法	200	172	138	95	206	206	90	138	110	80	95
横方向	A寸法	200	172	138	95	206	206	90	138	110	80	95
	B寸法	287	247	200	138	346	270	138	190	225	195	225

TEXT モード (ESC/P 相当) 使用時

$a1=a2=8.5\text{ mm}$ (はがき：10 mm)、 $b1=b2=5\text{ mm}$

用紙方向	用紙サイズ	A4	B5	A5	A6	リーガル	レター	はがき	往復はがき	封筒長形3号	封筒長形4号	封筒洋形4号
縦方向	A寸法	283	243	196	134	342	266	134	186	221	191	221
	B寸法	200	172	138	95	206	206	90	138	110	80	95
横方向	A寸法	196	168	134	91	202	202	86	134	106	76	91
	B寸法	287	247	200	138	345	269	138	190	225	195	225

印刷可能領域と位置調整機能について

本製品では、印刷結果の位置を調整する方法として、プリンタ本体側のオペレータパネルからメニューモードの設定項目一覧で印刷位置を調整する方法と、プリンタドライバから印刷位置を調整する方法があります。

それぞれの機能について、調整可能な範囲や調整結果の適用結果が異なりますので、用途に合わせて適切な箇所を設定を行うようにしてください。

1 プリンタの「メニュー」→「プリント チョウセイ メニュー」→「インサツ イチ ホセイ」機能

用紙の搬送方向に対して、搬送方向と同じ向きを「Y ホセイ」、90度交わる向きを「X ホセイ」として印刷位置を調整します。給紙トレイやカセット1～2などの給紙口や、片面/両面印刷ごとに異なる値を設定できます。

2 プリンタドライバ「印刷位置を補正する」機能

プリンタドライバの「印刷オプション」タブの「その他特殊設定」ウィンドウで、「印刷位置を補正する」を「オン」にし、「オプション」をクリックすることで「印刷位置補正」ウィンドウが表示されます。そこで、右方向に -30.0 ~ +30.0mm、下方向に -30.0 ~ +30.0mm 印刷位置を補正することができます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

3 プリンタドライバ「とじしろ」機能

プリンタドライバの「基本設定」タブの「N-up」の「詳細設定」にある「とじしろ」で指定した用紙のとじしろ位置に対して、とじしろ量を設定できます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

重要

- ・プリンタ本体側の「X ホセイ」「Y ホセイ」機能と、プリンタドライバの「印刷位置を補正する」機能など、複数の印刷位置調整機能を同時に使用することはできません。

複数同時に使用した場合には、優先度の高い機能だけが有効となります。

各機能の優先度は次のとおりです。

「プリンタ本体側の「X ホセイ」、「Y ホセイ」」 > 「印刷位置を補正する」

なお、「プリンタ本体側の「X ホセイ」、「Y ホセイ」」については、いずれか1ヶ所の給紙口で有効な値（0以外の値）が設定された場合には、すべての給紙口に対して（値が0でも）設定を有効とします。

- ・プリンタのメニューモードで、エミュレーション設定を「TEXT モード (ESC/P 相当)」としている場合には、「印字位置を補正する」機能や、「とじしろ量」機能により、プリンタドライバと同様の位置調整を行うことが可能となりますが、この場合にも複数の機能を同時に使用することはできません。各機能の優先度は次のとおりです。

「プリンタ本体側の「X ホセイ」、「Y ホセイ」」 > 「印刷位置を補正する」

6 TEXT モードに関する情報

TEXT モード (→ P.103) 使用時の留意事項を説明します。また、TEXT モードのコマンド、初期状態、キャラクタコードの一覧を掲載します。

- ・「TEXT モード使用時の留意事項」 (→ P.178)
- ・「TEXT モードのコマンド一覧」 (→ P.178)
- ・「TEXT モードの初期状態」 (→ P.181)
- ・「TEXT モードのキャラクタコード一覧表」 (→ P.183)

TEXT モード使用時の留意事項

- ・ DOS アプリケーションから印刷する場合は、オペレータパネルの「システム コウセイメニュー」→「エミュレーション」を「TEXT」に設定してください。
- ・ TEXT モードでは、本製品専用のプリンタドライバは使用せず、DOS アプリケーション上からプリンタ名を選択して印刷を実行します。お使いの DOS アプリケーション上に、複数のプリンタ名が表示される場合は、次の表の優先順位で選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	ESC/P24-J84
2	VP-1000/3000

TEXT モードのコマンド一覧

TEXT モード (→ P.103) で使用できるコマンドを次に示します。

書式設定／実行

機能	コマンド
行単位ページ長設定	ESC C
インチ単位ページ長設定	ESC C 0
右マージン設定	ESC Q
左マージン設定	ESC L
1/8 インチ改行量設定	ESC 0
1/6 インチ改行量設定	ESC 2
n/180 インチ改行量設定	ESC 3
n/60 インチ改行量設定	ESC A
垂直タブ位置設定	ESC B
水平タブ位置設定	ESC D
印字復帰	CR
改行	LF

機能	コマンド
改ページ	FF
n/180 インチ順方向紙送り	ESC J
n/180 インチ逆方向紙送り	ESC j
水平タブ実行	HT
垂直タブ位実行	VT
絶対位置指定	ESC \$
相対位置指定	ESC ¥

ANK テキスト処理

機能	コマンド
12CPI 指定	ESC M
10CPI 指定	ESC P
15CPI 指定	ESC g
国際文字選択	ESC R
スーパー/サブスクリプト指定	ESC S
スーパー/サブスクリプト解除	ESC T
文字品位選択	ESC x
書体選択	ESC k
プロポーシオン指定/解除	ESC p
文字コード表選択	ESC t
ダウンロード文字セット指定/解除	ESC %
ダウンロード文字定義	ESC &
文字セットコピー	ESC :
文字間スペース量指定	ESC SP
縦倍拡大指定/解除	ESC w
縮小指定	SI
縮小解除	DC2
アンダーライン指定/解除	ESC -

ANK / 漢字テキスト処理

機能	コマンド
自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	ESC SO
	FS SO
自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	FS DC4
倍幅拡大指定/解除	ESC W
強調指定	ESC E

機能	コマンド
強調解除	ESC F
二重印字指定	ESC G
二重印字解除	ESC H
文字スタイル選択	ESC q
イタリック指定	ESC 4
イタリック解除	ESC 5
一括指定	ESC!

漢字テキスト処理

機能	コマンド
縦書き指定	FS J
横書き指定	FS K
半角縦書き 2 文字指定	FS D
4 倍角指定／解除	FS W
漢字アンダーライン指定／解除	FS -
漢字一括指定	FS !
漢字モード指定	FS &
漢字モード解除	FS .
半角文字指定	FS SI
半角文字解除	FS DC2
1/4 角文字指定	FS r
漢字書体選択	FS k
外字定義	FS 2
全角文字スペース量設定	FS S
半角文字スペース量設定	FS T

ビットイメージ処理

機能	コマンド
ビットイメージ選択	ESC *
ビットイメージ変換	ESC ?
8 ドット単密度ビットイメージ	ESC K
8 ドット倍密度ビットイメージ	ESC L
8 ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC Y
8 ドット 4 倍密度ビットイメージ	ESC Z

補助機能

機能	コマンド
初期化	ESC @
カットシートフィーダ制御	ESC EM
デバイスコントロール 1	DC 1
デバイスコントロール 3	DC 3
上位側コントロール解除	ESC 6
上位側コントロール指定	ESC 7
位置挿え指定	ESC a
VFU タブ位置指定	ESC b
VFU チャンネル選択	ESC /
半角文字スペース量補正	FS U
半角文字スペース量補正解除	FS V
データ抹消	CAN
一文字削除	DEL
後退	BS
MSB = 0 指定	ECC =
MSB = 1 指定	ESC >
MSB コントロール解除	ESC #

TEXT モードの初期状態

TEXT モード (→ P.103) 使用時の初期状態および初期化の発生条件と範囲を示します。

TEXT モードの初期状態

項目	初期状態
ページ長	メニューで設定した用紙サイズ
ミシン目スキップ	解除
右マージン	用紙サイズの右端または 136 桁 (10CPI の文字幅による) [注]
左マージン	0
改行量	1/6 インチ / 行
水平タブ位置	8 文字ごとの水平タブ
垂直タブ位置	無指定
文字ピッチ	10 文字 / インチ
プロポーショナル	解除
英数カナ文字書体	ローマンまたはサンセリフ [注]
文字品位	高品位
国際文字選択	日本

項目	初期状態
文字コード表	カタカナコードまたは拡張グラフィックス [注]
文字間スペース量	0
文字装飾	解除
縮小	解除
漢字モード	解除
漢字書体	平成明朝体または平成角ゴシック体 [注]
縦書き／横書き	横書き
全角文字／半角文字／1/4 角文字	全角文字
全角文字の左右スペース量	左スペース量：0 / 右スペース量：3 (180dpi 相当)
半角文字の左右スペース量	左スペース量：0 / 右スペース量：3 (180dpi 相当)
1/4 角文字の左右スペース量	左スペース量：0 / 右スペース量：2 (180dpi 相当)
漢字装飾	解除

注：「TEXT」(→ P.103) での設定によります。

初期化動作の発生条件と範囲

項目	リセットスイッチ
受信バッファ	クリアする
入力バッファ (テキストのみ)	クリアする
印刷バッファ (編集中)	クリアする
印刷バッファ (編集済)	クリアする
印刷バッファ (印刷中)	クリアしない
ダウンロード文字定義 (テキスト)	クリアする
外字定義 (テキスト)	クリアする
その他のアラーム	メニュー設定に初期化
アラーム	オンラインスイッチで解除できるもののみクリアする

TEXT モードのキャラクタコード一覧表

TEXT モード (→ P.103) 使用時のキャラクタコードを示します。

カタカナコード

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NU	SP	0	@	P	'	p	_	+	-	タ	ミ	=	×		
1		!	1	A	Q	a	q	_	丁	。	ア	チ	ム	ト	円	
2		DC2 "	2	B	R	b	r	_	丁	「	イ	ツ	メ	±	年	
3		#	3	C	S	c	s	_	丁	」	ウ	テ	モ	コ	月	
4		DC4 \$	4	D	T	d	t	_	丁	、	エ	ト	ヤ	▲	日	
5		%	5	E	U	e	u	_	丁	。	オ	ナ	ユ	▶	時	
6		&	6	F	V	f	v	_	丁		ラ	カ	ニ	ヨ	▼	分
7		'	7	G	W	g	w	_	丁		テ	キ	ヌ	ラ	▶	秒
8	BS	CAN (8	H	X	h	x		丁	「	イ	ク	ネ	リ	♠	千
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y		丁	」	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF	*	:	J	Z	j	z		丁	」	エ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC +	:	K	[k	{		丁	」	オ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS ,	<	L	¥	l	!		丁	」	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR	- =	M]	m	}	~		丁	」	ユ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SD	.	>	N	`	n	~		丁	」	ヨ	セ	ホ	ノ	/	冊
F	SI	/	?	O	_	o	_		丁	」	ッ	ソ	マ	ノ	\	

注 : <23>16、<24>16、<40>16、<5B>16 ~ <5E>16、<60>16、<7B>16 ~ <7E>16 のコードは、国際文字選択によって入れ替わります。

国際文字コード

コード 16進 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	~	{		}	~
フランス	#	\$	à	°	ç	§	^	~	é	ù	è	..
ドイツ	#	\$	§	Ä	Ü	U	^	~	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	\$	@	[\]	^	~	{		}	~
デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	~	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	α	É	Ä	Ö	Å	U	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	\$	@	i	Ñ	¿	^	~	..	ñ	}	~
日本	#	\$	@	[¥]	^	~	{		}	~
ノルウェー	#	α	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	\$	é	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	\$	á	i	Ñ	¿	é	~	í	ñ	ó	ú
フランス II	#	\$	á	i	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

拡張グラフィックコード

上 下 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL	SP	0	@	P	˘	p	Ç	É	á	:	⊥	⊥	α	≡	
1		!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	:	⊥	⊥	β	±	
2	DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	⊥	⊥	⊥	Γ	≥	
3		#	3	C	S	c	s	á	ó	ú		⊥	⊥	π	≤	
4	DC4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	⊥	⊥	⊥	Σ	↑	
5		%	5	E	U	e	u	á	ò	Ñ	⊥	⊥	⊥	σ	↓	
6		&	6	F	V	f	v	á	û	á	⊥	⊥	⊥	μ	÷	
7		'	7	G	W	g	w	ç	ù	ø	⊥	⊥	⊥	τ	≈	
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	⊥	⊥	+	Φ	°
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	ë	Û	⊥	⊥	⊥	∅	·	
A	LF	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	⊥	⊥	⊥	⊥	Ω	·	
B	VT	ESC	+	;	K	l	k	{	ÿ	é	⊥	⊥	⊥	δ	√	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¡	£	á	⊥	⊥	⊥	∞	π	
D	CR	-	=	M	J	m	l	¥	í	⊥	⊥	⊥	⊥	φ	?	
E	SD	.	>	N	˘	n	˘	Ã	Pt	<<	⊥	⊥	⊥	∈	■	
F	SI	/	?	O	—	o	—	À	f	>>	⊥	⊥	⊥	∩	SP	

注 : <23>16、<24>16、<40>16、<5B>16 ~ <5E>16、<60>16、<7B>16 ~ <7E>16 のコードは、国際文字選択によって入れ替わります。

国際文字コード

コード 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	˘	{		}	~
フランス	#	\$	à	°	ç	ç	˘	˘	è	ù	è	˘
ドイツ	#	\$	ä	Ä	Û	Ü	˘	˘	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	\$	@	[\]	˘	˘	{		}	~
デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	Å	˘	˘	æ	ø	å	˘
スウェーデン	#	α	É	Ä	Û	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	°	\	é	˘	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	\$	@	í	Ñ	¿	˘	˘	˘	ñ	}	˘
日本	#	\$	@	[¥]	˘	˘	{		}	~
ノルウェー	#	α	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	\$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	\$	á	í	Ñ	¿	é	˘	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	\$	á	í	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

7 漢字一覽

本製品で印字可能な漢字の一覧を掲載します。

- ・「JIS-90 第一水準漢字一覽表」(→ P.185)
- ・「JIS-90 第二水準漢字一覽表」(→ P.188)

JIS-90 第一水準漢字一覽表

点S	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F					
区	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
20:0	點、	。、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、			
21:1	◆	□	■	△	▲	▼	▽	※	〒	→	←	↑	↓	＝																							
22:2																																					
23:3																																					
24:4	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	じ	ず	ぜ	そ	ぞ	た																			
25:5	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ジ	ズ	ゼ	ソ	ゾ	タ																			
26:6	A	I	U	E	O	K	K	K	K	K	S	S	S	S	S	S	S	T																			
27:7	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C																		
28:8	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一						
29:9																																					
2A:10																																					
2B:11																																					
2C:12																																					
2D:13																																					
2E:14																																					
2F:15																																					
30:16	並	啞	娃	阿	哀	疾	始	逢	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或												
31:17	院	陰	隱	韻	吋	右	烏	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或												
32:18	押	旺	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
33:19	魁	晦	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
34:20	粥	刈	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
35:21	機	供	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
36:22	供	機	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
37:23	掘	後	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
38:24	後	掘	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
39:25	此	察	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
3A:26	察	次	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
3B:27	次	察	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
3C:28	宗	勝	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
3D:29	勝	宗	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
3E:30	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
3F:31	澄	拭	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
40:32	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
41:33	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
42:34	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
43:35	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
44:36	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
45:37	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
46:38	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
47:39	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
48:40	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
49:41	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
4A:42	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
4B:43	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
4C:44	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
4D:45	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
4E:46	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											
4F:47	拭	澄	穠	歐	時	王	隴	羽	迂	葵	蕪	惡	握	渥	葦	鯨	梓	幹	拔	宛	姐	飴	綯	綾	鮎	或											

8 アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ・ご購入時に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後5年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・本製品のご使用にあたっては、純正のサプライ用品のご使用をお奨めします。富士通プリンタは、純正のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。非純正のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。

非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

- ・故障時は下記にご連絡ください。
 - お問い合わせ窓口
保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は専用の窓口にご連絡ください。
未契約のお客様は「富士通ハードウェア修理相談センター」の「修理ご相談フォーム」からご相談ください。
「富士通ハードウェア修理相談センター」
<https://eservice.fujitsu.com/webrepair/>
- ・本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元または富士通の担当営業、SEにお問い合わせください。
なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。
保守運用支援サービス「SupportDesk」については、富士通ホームページ「製品サポート（法人のお客様向け）」（<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>）をご覧ください。

使用済みカートリッジの無償回収サービス

「トナーカートリッジ回収センター」までご連絡ください。回収便にて引き取りに伺います。

- ・株式会社カウネット「トナーカートリッジ回収センター」
<通話料無料> 0120-594-525
月～金：9:00～12:00 および 13:00～17:30
(祝日、株式会社カウネット指定の休日を除く)
回収対象は、富士通製カートリッジまたはカウネットでご購入いただいたレーザープリンタ用のトナーカートリッジ（ドラムカートリッジ含む）のみです。
回収対象外の商品を依頼された場合は、着払いで返却させていただくことがあります。
お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「お問い合わせ窓口」(→ P.191) に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、次の手順で準備をお願いいたします。

- 1** オペレータパネルから設定内容を印刷し、設定を復元するときに必要となる情報を控えます。
詳しくは「設定内容の印刷」(→ P.107) をご覧ください。
- 2** 拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、取り外します。
詳しくは、拡張給紙ユニットの「取り外し」(→ P.43) をご覧ください。
- 3** 「梱包して運搬する」(→ P.80) の手順に従って、本製品の梱包を行います。

本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品の廃棄については、富士通ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>) をご覧ください。

本マニュアルで紹介している URL について

本マニュアルで紹介している URL は、次のとおりです。

- ・ 富士通製品情報
<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>
- ・ 製品サポート（法人のお客様向け）
<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>
- ・ 本製品の廃棄について
<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>

LB112 シリーズ ドラムカートリッジ (感光体)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : LB112 シリーズ ドラムカートリッジ (感光体)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 株式会社カウネット

住所 : 東京都港区港南一丁目 8 番 35 号

電話番号 : 0120-505-279

整理番号 : TR19-M002

作成・改定: 2025.04.01

2. 危険有害性の要約

製品の危険有害性分類

GHS 分類区分 : 適用外 (成型品)

GHS ラベル要素 : 該当なし

他の危険有害性 : 特になし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 適用外 (成型品)

化学名又は一般名	含有率 (重量%)	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法 / 安衛法)
アルミニウム (円筒基体)	>95	7429-90-5	対象外
感光層	<5	-	-
ポリカーボネート樹脂	-	非開示	非開示
有機感光材料	-	非開示	非開示
顔料	-	非開示	非開示

4. 応急措置

必要な応急措置 : 特になし

急性症状及び遅発症状の最も重要な:
徴候症状 : 特になし

医師に対する特別な注意事項 : 特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 特になし

特有の危険有害性 : 特になし

特有の消火方法 : 特になし

消火を行う者の保護 : 特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び：特になし
緊急時措置
環境に対する注意事項：特になし
封じ込め及び浄化の方法及び機材：特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い：感光体表面を直接手で触れないこと。
保管：直射日光を避け、冷暗所（40℃以下）に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：該当なし
労働安全衛生法 管理温度：該当なし
設備対策：通常の使用においては、特に必要なし
保護具：通常の使用においては、呼吸器、眼、手、皮膚及び身体の保護具は必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

外観等
物理的状態：固体
形状：樹脂皮膜のついたアルミニウムシリンダー
色：黄緑色
臭い：無臭
pH：該当なし
融点：>150℃
沸点：該当なし
引火点：該当なし
比重 (H₂O=1)：1.2 (コーティング層)
溶解性：水に対して不溶
その他情報：特になし

10. 安定性及び反応性

反応性：データなし
化学的安定性：通常取り扱い条件下において安定
危険有害反応可能性：特になし
避けるべき条件：特になし
混触危険物質：特になし
危険有害な分解生成物：特になし

11. 有害性情報

製品の有害性情報
急性毒性：データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激：データなし
性
呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性：微生物を用いる変異原性（Ames 試験）にて陰性を示す。
（構成材料の試験結果に基づく。）（コーティング層）
成分に関する情報：変異原性物質（MAK, TRGS905, CLP Annex VIに収載の変異原性を有する物質）を含まない。（コーティング層）

発がん性	
成分に関する情報	: 発がん性物質 (IARC, 日本産業衛生学会, ACGIH, EPA, OSHA, NTP, MAK, California Proposition 65, TRGS 905, CLP Annex VIに収載の発がん性を有する物質) を含まない。 (コーティング層)
生殖毒性	
成分に関する情報	: 生殖毒性物質 (MAK, California Proposition 65, TRGS 905, CLP Annex VIに収載の生殖毒性を有する物質) を含まない。 (コーティング層)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし
その他	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
他の有害影響	: 特になし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 廃掃法及び / 又は条例にしたがって処理すること。
------	-----------------------------

14. 輸送上の注意

国連番号 (UN No.)	: 該当しない
国連輸送品名	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
国連容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
MARPOL 73/78 附属書II及びIBC コードによるばら積み輸送	: 該当なし
特別の安全対策	: 特になし

15. 適用法令

労働安全衛生法 (2016/6/1 施行)	: 該当なし
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: 該当なし
毒物及び劇物取締法	: 該当なし
消防法	: 該当なし

16. その他の情報

ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

略語・頭文字

GHS	: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals
CAS	: Chemical Abstracts Service
ACGIH	: American Conference of Governmental Industrial Hygienists 2016 TLVs and BEIs (Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices)

OSHA	: Occupational Safety and Health Administration (29 CFR Part 1910 Subpart Z)
UN	: United Nations
IARC	: International Agency for Research on Cancer (IARC Monographs on the Evaluations of Carcinogenic Risks to Humans)
EPA	: Environmental Protection Agency (Integrated Risk Information System) (US)
NTP	: National Toxicology Program (Report on Carcinogens) (US)
MAK	: Maximale Arbeitsplatz-Konzentrationen (List of MAK and BAT Values 2011) (DFG: Deutsche Forschungsgemeinschaft)
Proposition 65	: California, Safe Drinking Water and Toxic Enforcement Act of 1986
TRGS 905	: Technische Regeln für Gefahrstoffe (Deutschland)
CLP	: Regulation (EC) No 1272/2008 on classification, labelling and packaging of substances and mixtures
化審法	: 化学物質の審査及び製造等に関する法律
安衛法	: 労働安全衛生法
廃掃法	: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
参考文献	: JISZ7252:2019 JISZ7253:2019

LB112 シリーズ トナー (ブラック) (トナー・現像剤)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : LB112 シリーズ トナー (ブラック) (トナー・現像剤)

会社名 : 富士通株式会社
問合せ先
会社名 : 株式会社カウネット
住所 : 東京都港区港南一丁目 8 番 35 号
電話番号 : 0120-505-279
整理番号 : TR19-M001

作成・改定: 2025.04.01

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

: 区分に該当しない。

GHS ラベル要素

絵表示 : シンボルなし
注意喚起語 : 注意喚起語なし
危険有害性情報 : 対象外
安全対策 : 取扱い後はよく洗うこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。

応急措置 : 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

保管 : 直射日光を避け、換気の良い 40℃以下の室内に保管する。
廃棄 : -

3. 組成及び成分情報

混合物

一般情報 : 危険有害性成分は無い。

4. 応急処置

必要な応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

適切な (および不適切な) 消火剤

適切な消火剤 : 水噴霧、粉末消火薬剤

使ってはならない消火: データなし

剤

化学物質に起因する特定: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
の危険有害性

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火作業は、可能な限り風上から行う。

消防士のための特別な: 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
保護具

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 : 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡)を着用する。

具及び緊急時措置 : 多量の場合、人を安全に退避させる。必要に応じた換気を確認する。風上から作業する。

封じ込め及び浄化の方法および材料 : 粉塵爆発安全対策仕様の掃除機、ほうき等を使用して、粉塵が発生しないように回収する。

環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

二次災害の防止策 : データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等) : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。

安全取扱注意事項 : 粉塵を吸入してはならない。適切な排気換気装置を使用する。
取扱い後はよく洗うこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。
粉塵の発生を避ける。
粉塵爆発の危険性も考えられるので大量の取扱いには注意する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : データなし

保管

安全な保管条件 : 密閉した容器に保管する。
直射日光を避け、換気の良い40℃以下の室内に保管する。

安全な容器包装材料 : データなし

貯蔵温度 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

ばく露限界値

日本産業衛生学会 : 【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1 mg/ m³ 総粉塵 4 mg/ m³
カーボンブラック
2mg/ m³ (吸入性粉塵) 8mg/ m³ (総粉塵) (第3種粉塵)
その他の無機および有機粉塵

ACGIH : TWA 3mg/ m³ (Inhalable fraction), STEL - カーボンブラック
10mg/ m³ TWA (inhalable particles, recommended);
3mg/ m³ TWA (respirable particles, recommended)
(Particulates(insoluble or poorly soluble)not otherwise specified(PNOS))

個人用保護措置

眼/顔面の保護具 : 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

手の保護具 : 素材: ゴム保護手袋

皮膚及び身体の保: 長袖作業衣
 護具
 呼吸用保護具 : 必要により防塵マスク
 衛生対策 : データなし

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的状态 : 固体
 形状 : 粉末
 色 : 黒色
 臭い : 無臭
 臭いの閾値 : データなし
 融点 : データなし
 沸点 : データなし
 可燃性 : データなし

燃焼又は爆発限界の上限 / 下限

爆発限界-上限 : データなし
 爆発限界-下限 : データなし

引火点 : データなし
 自然発火点 : データなし
 分解温度 : データなし
 pH : データなし

粘度 (粘性率)

粘性率 : データなし
 動粘性率 : データなし
 浮遊時間 : データなし

溶解度

溶解度 (水) : 水に不溶
 溶解度 (その他) : トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランに一部溶解

n- オクタノール / 水分配係数 : データなし

蒸気圧 : データなし

比重 : データなし

密度 : 1.2g/ml

相対ガス密度 : データなし

粒子特性

粒子径 : データなし
 粒度分布 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : データなし
 化学的安定性 : 通常の使用では安定
 危険有害反応可能性 : 安定
 避けるべき条件 : データなし
 混触危険物質 : データなし
 危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性 (可能性のある全てのばく露経路をリストアップする)
 経口

製品	: LD50(ラット): > 2,000mg/kg LD50(ラット): < 5,000mg/kg 利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
経皮	
製品	: データなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない
吸入した場合	
製品	: 粉じん、ミストおよびヒューム: データ不足のため分類できない。 蒸気: データなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
皮膚腐食性 / 刺激性	
製品	: OECD TG404 (ウサギ, 4h): 刺激性なし 未希釈 利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	
製品	: データなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	
製品	: 皮膚感受性, LLNA 皮膚: (マウス): 陰性 皮膚: 利用可能なデータに基づき区分に該当しない。 呼吸器: データ不足のため分類できない。
発がん性	
製品	: データ不足のため分類できない。
IARC	: 発癌性成分は確認されておりません。
NTP	: 発癌性成分は確認されておりません。
日本産業衛生学会	: 発癌性成分は確認されておりません。
EU	: 発癌性成分は確認されておりません。
生殖細胞変異原性	
インビトロ (in vitro)	
製品	: Ames 試験 (TA98, TA100, TA1535, TA1537, TA1538, WP2uvrA): 陰性 データ不足のため分類できない。
インビボ (in vivo)	
製品	: データ不足のため分類できない。
生殖毒性	
製品	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	
製品	: データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	
製品	: データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	
製品	: データなし
その他の影響	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)

魚類

製品 : データ不足のため分類できない。

水生無脊椎動物

製品 : データ不足のため分類できない。

水生植物毒性

製品 : データなし

水生環境有害性 長期 (慢性)

魚類	
製品	: データ不足のため分類できない。
水生無脊椎動物	
製品	: データ不足のため分類できない。
水生植物毒性	
製品	: データなし
残留性・分解性	
生分解性	
製品	: データなし
BOD/COD 比	
製品	: データなし
生態蓄積性	
生物濃縮係数 (BCF)	
製品	: データなし
n- オクタノール / 水分配係数 (log Kow)	
製品	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 規制されないデータなし 成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。
その他の情報	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: ” 取り扱い及び保管上の注意 ” の章を参照。 産業廃棄物処理業者に委託する。 粉塵爆発の危険性があるので粉塵爆発防止措置を講じて、廃棄物の 処理及び清掃に関する法律に従い処理する。
汚染容器及び包装	: データなし

14. 輸送上の注意

国際法規則	
IMDG	: 該当せず
IATA	: 該当せず
国内規制	
国内規制	: 国内法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	
特化則	
第一類特定化学物質	: 規制されない
第二類特定化学物質	: 規制されない
第三類特定化学物質	: 規制されない
鉛中毒予防規則	: 規制されない
四アルキル鉛中毒予防規則	: 規制されない
通知対象物	: カーボンブラック 1 - 5% 銅及びその化合物 0.1 - 1%
表示対象物	: カーボンブラック
変異原性が認められた新規届出化学物質	: 規制されない
変異原性が認められた既存化化学物質	: 規制されない
がん原性が認められた化学物質	: 規制されない

毒物及び劇物取締法	: 規制されない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	: 規制されない
化学物質排出把握管理促進法	: 規制されない
消防法	: 危険物、指定可燃物に該当しない。
船舶安全法・危規則	: 規制されない
航空法・施行規則	: 規制されない
火薬類取締法	: 規制されない
高圧ガス保安法	: 規制されない
輸出貿易管理令	: 規制されない
登録状況	
TSCA	: On or in compliance with the inventory
DSL	: Not in compliance with the inventory
AICS	: On or in compliance with the inventory
KECI(KR)	: Not in compliance with the inventory
ENCS(JP)	: On or in compliance with the inventory
ISHL(JP)	: On or in compliance with the inventory
PICCS(PH)	: On or in compliance with the inventory
IECSC	: On or in compliance with the inventory
REACH(EU)	: Contact us for information
TCSI	: On or in compliance with the inventory

16. その他の情報

免責事項 : 記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡お願いいたします。

香料製品の場合は、化粧品原料として通常の使用では IFRA スタンドに適合しています。詳細については供給者に問い合わせして下さい。

- 引用文献** :
- ・ GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2019)
 - ・ 国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラズガイド
日本語版国立衛生試験所 化学物質情報部編、化学工業日報社、1994 年
 - ・ GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2019

ページプリンタ **XL-4405**
ハードウェアガイド

B5WY-1761-04-00

発行日 2025年4月
発行責任 富士通株式会社

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

